

はじめに

今日の社会経済はあらゆる面が大きく変化しており、アイデアなど知識そのものや人材をめぐる国際競争が加速するとともに、異なる文化との共存や国際協力の必要性が増大しています。そのため、これからの社会を生きていく子どもたちには、自ら考え、判断し、解決していく力が求められていると考えられます。学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成が重視されています。

私たちは、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」をバランスよく育てていくことが大切だと思います。そのために、子どもたちが生き生きと学び、成長できるように安心、安全な教育環境を整備していかなければならないと考えています。

生涯学習の推進については、誰もが豊かな暮らしを求め、夢と活気にあふれる地域社会を築く原動力となるような学びの場を提供するために文化やスポーツに親しめる環境づくりなどに努めてまいります。

個性を生かし多様な能力を育む学校教育、人生を豊かにする生涯学習の推進など、学校、家庭、地域、そして行政が一体となって、豊かな人間性を育むための施策を行っていきます。

最後になりましたが、本書は幸田町における学校教育、生涯学習の取り組みについての概要をまとめたものです。多くの皆様にご活用いただければ幸いです。

平成26年6月

幸田町教育委員会

教育長 小野 伸之

目 次

幸田町の現況	1
幸田町行政組織図	2
教育予算前年度との比較	3
教育委員会	
1 教育委員会委員名簿	4
2 教育委員会施策評価	4
学 校 教 育	
学校教育推進機構	8
教育の指針	9
平成 26 年度児童・生徒数	10
坂崎小学校	11
幸田小学校	14
中央小学校	17
萩谷小学校	20
深溝小学校	23
豊坂小学校	26
幸田中学校	29
南部中学校	32
北部中学校	35
教育相談室・適応指導教室	38
地域に根ざした学校づくり事業	39
幸田町奨学金制度	40
平成 25 年度就学援助費受給者内訳	41
学校給食	42
生 涯 学 習	
生涯学習機構	46
生涯学習	
1 重点目標	47
平成 26 年度生涯学習事業計画	48
2 生涯学習事業の概要	
(1) 生涯学習の推進	49
(2) 生涯学習の観点に立った学習の推進	49
(3) ライフサークル事業の推進	50
(4) 公民館活動	50
(5) 視聴覚教育活動	50

(6) 文化振興・文化財保護活動	50
(7) 幸田町郷土資料館	52
(8) 幸田文化広場・さくら会館	53
(9) 公民館	53
3 幸田町指定文化財一覧表	55
4 平成 25 年度利用実績	
(1) 視聴覚ライブラリー備品貸出件数	56
(2) 中央公民館利用状況	57
(3) さくら会館利用状況	58
(4) 郷土資料館利用状況	59
(5) ライフサークル事業実績	60
5 各種委員名簿	
(1) 生涯学習推進本部委員	60
(2) 社会教育委員	61
(3) ライフサークル事業推進委員	62
(4) 視聴覚ライブラリー運営委員	62
(5) 青少年問題協議会委員	63
(6) 青少年健全育成地域推進員	64
(7) 文化財保護委員，郷土資料館運営委員	64
(8) 子ども読書活動計画推進委員	65
スポーツ	
1 重点目標	66
2 社会体育組織図	66
3 社会体育事業の概要	67
平成 26 年度社会体育事業計画	68
4 平成 25 年度事業実績	
(1) 体育協会の育成	69
(2) スポーツ教室の開設	69
(3) 各種スポーツ大会等の開催	69
(4) 国・県等が開催する大会への参加	70
(5) 体育表彰	71
(6) 学校体育施設一般開放の現況	71
(7) スポーツクラブの現況	71
(8) 社会体育施設の状況	72
① 社会体育施設の建設状況	72
② 社会体育施設の概要と使用料	74
平成 25 年度社会体育施設利用状況	75
平成 25 年度学校体育施設スポーツ開放利用状況	76
5 各種委員名簿	
(1) 体育協会役員	78

(2) スポーツ推進委員	78
(3) 地区スポーツリーダー	79
施設管理	
1 重点目標	80
2 平成 26 年度事業計画	80
3 ハッピネス・ヒル・幸田 施設の概要	
(1) 町民会館	81
(2) 図書館	82
(3) 町民プール	82
(4) 思索の森、センタープラザ及びその他の屋外施設	83
(5) その他	83
4 平成 25 年度実績	
(1) ハッピネス・ヒル・幸田全体	84
(2) 町民会館	88
(3) 図書館	90
(4) 町民プール	92
(5) 文化振興協会	93
5 指定管理者制度導入への経過	94
参 考 資 料	
幸田町子ども読書活動推進計画（概要）	95
幸田町子どもの権利に関する条例（抜粋）	96
いじめ防止対策推進法（抜粋）	98

幸 田 町 の 現 況

幸田町は、中部圏の中核都市名古屋市から45 km圏内にあり、南北10.55 km、東西10.25 km、面積56.78 km²、人口39,155人（平成26年4月1日現在）のまちです。

町の中央部を南東から北西にかけてJR東海道新幹線が通過し、南北にJR東海道本線と国道248号が縦貫し、東西に名豊バイパスが横断し、蒲郡の臨海工業地帯と岡崎・豊田の内陸工業地帯を結ぶ交通の要衝となっており、JR3駅（幸田・三ヶ根・相見）周辺市街地に、ハピネス・ヒル・幸田周辺の地域交流拠点を加えた4極を、都市の骨格を形成する都市核と位置づけています。

本町は、目指す将来像を「人と自然を大切にする緑住文化都市」として掲げ、各種事業を展開し、学校教育面においては、各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育・学校づくりを進め、「生きる力」を育む新しい学校教育を、また生涯学習の面は、国際化や高齢化の進展に伴い、生涯に及ぶ学習要求に対応する機会を提供しながら、町民の人間性を育む環境づくりに努めています。



北部中学校「授業参観」



幸田小学校「学芸会」



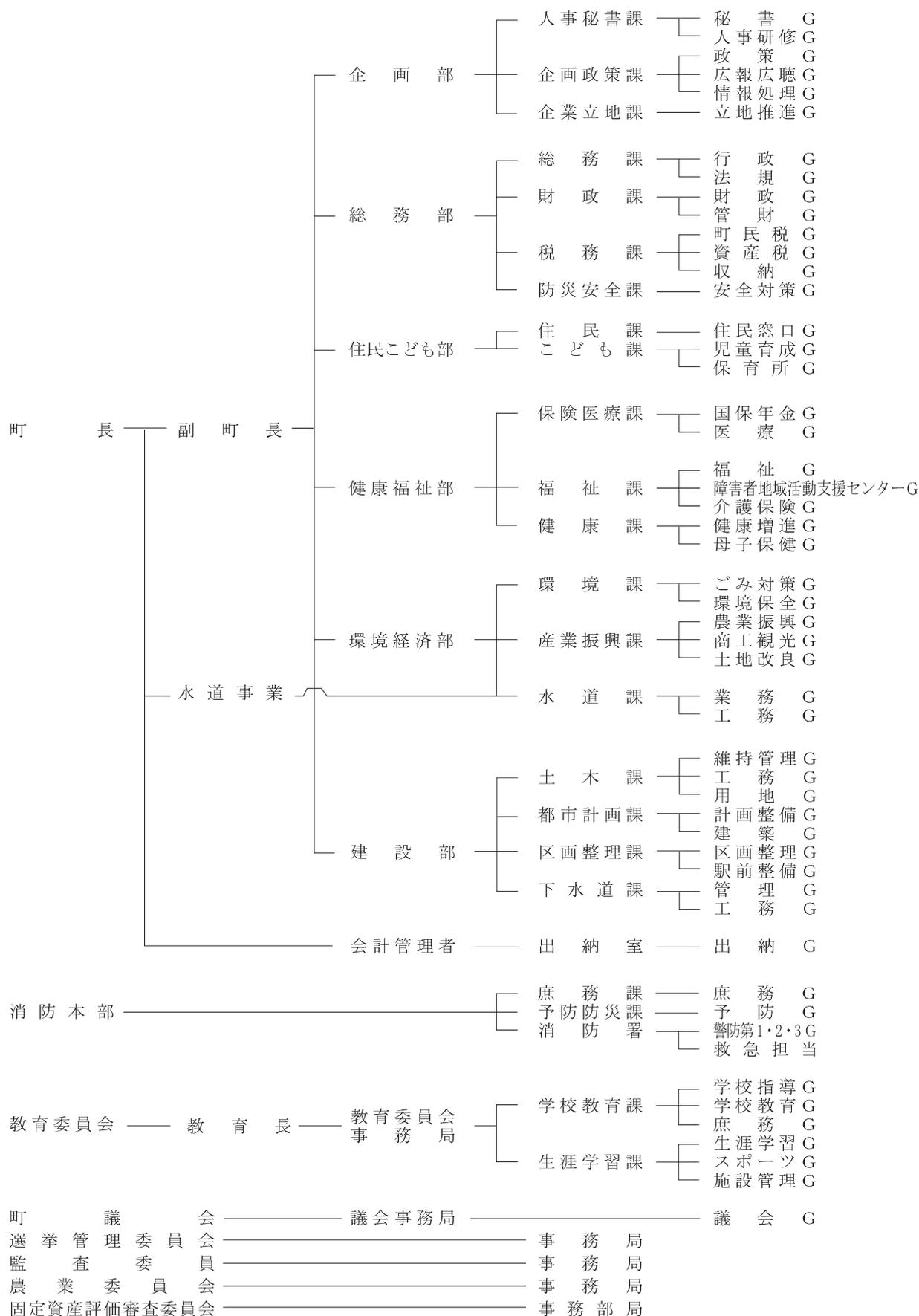
ソフトフーメラン



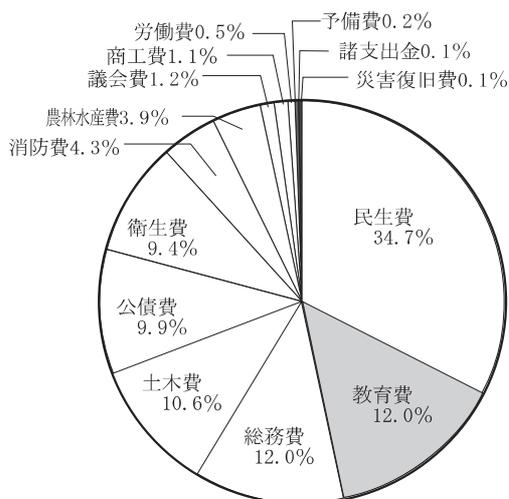
親子ふれあいクリスマス会

幸田町行政組織図

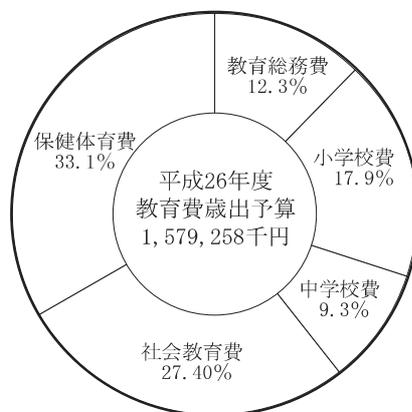
(平成 26 年 4 月 1 日現在)



予算歳出款別構成比



教育費歳出予算項別構成比



教育予算前年度との比較

(単位 千円)

項 目	26年度	25年度	比較増減	伸率(%)
1 教育総務費	193,863	177,196	16,667	9.4%
1 教育委員会費	14,312	13,870	442	3.2%
2 事務局費	118,484	121,333	-2,849	-2.3%
3 幼児教育奨励費	61,067	41,993	19,074	45.4%
2 小学校費	282,942	304,084	-21,142	-7.0%
1 学校管理費	229,122	241,153	-12,031	-5.0%
2 教育振興費	12,820	12,384	436	3.5%
3 学校建設費	41,000	50,547	-9,547	-18.9%
3 中学校費	146,648	139,079	7,569	5.4%
1 学校管理費	133,472	126,919	6,553	5.2%
2 教育振興費	11,176	12,160	-984	-8.1%
3 学校建設費	2,000	0	2,000	—
4 社会教育費	432,537	462,151	-29,614	-6.4%
1 社会教育総務費	76,387	92,152	-15,765	-17.1%
2 公民館費	22,610	19,389	3,221	16.6%
3 町民会館費	208,343	216,629	-8,286	-3.8%
4 図書館費	81,540	99,340	-17,800	-17.9%
5 文化振興費	20,423	21,651	-1,228	-5.7%
6 ライフサークル運動推進費	7,691	7,191	500	7.0%
7 文化広場費	15,543	5,799	9,744	168.0%
5 保健体育費	523,268	510,524	12,744	2.5%
1 保健体育総務費	36,183	36,594	-411	-1.1%
2 保健体育施設費	116,172	109,506	6,666	6.1%
3 給食センター費	370,913	364,424	6,489	1.8%
合 計	1,579,258	1,593,034	-13,776	-0.9%

教 育 委 員 会

1 教育委員会委員名簿

平成26年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期 始
委 員 長	尾 中 明	H23. 10. 1
委員長職務代理者	大 須 賀 勝 之	H24. 10. 1
委 員	谷 川 章 義	H22. 10. 1
委 員	杉 浦 未 央	H24. 10. 1
教 育 長	小 野 伸 之	H25. 10. 5

2 教育委員会施策評価

教育委員会の職務権限などを規定した「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成20年4月から、すべての教育委員会は、毎年、事務の管理と執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出・公表しなければならないこととされた。これを受け、幸田町教育委員会では、町民の視点や中立的、公平な観点から評価するため、教育に関し学識経験を有する委員で構成された、幸田町教育委員会施策外部評価委員会に諮問し、平成22年度～平成24年度の活動内容について点検・評価を行い、次のような報告書を議会へ提出した。

教育委員会施策評価に伴う外部評価委員会委員名簿

任 期	平成23年11月24日～平成26年3月31日		
		氏 名	備 考
委 員 長	愛知教育大学教授 大学院教育実践研究科	添 田 久 美 子	
副委員長	愛知教育大学付属 岡崎中学校 副校長	水 藤 彰 啓	任 期 平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
委 員	前幸田町体育協会理事長	鈴 木 道 夫	
委 員	元こうた女性の会会長	鈴 木 喜 美 子	
委 員	児童生徒保護者代表	近 藤 明	
合 計		5 名	

教育委員会施策評価一覧表

対象事業名	事業の概要	教育的評価	外部評価委員会評価
学力向上推進事業 (少人数指導嘱託教員配置事業)	町内の全小中学校の児童生徒に、基礎基本をはじめとした学習内容の定着を図り、一人一人が学ぶ楽しさやわかる喜びを味わえるように、TTや均等に分けた小集団、習熟度別的小集団による指導など、様々な授業の形態を取り入れて少人数指導を行い、きめ細やかな指導の充実を図る。	A	本事業については、概ね効果があがっていると判断される。費用も多額で、指導体制を編成する学校現場の負担も大きい取組みであり、少人数指導・TTというものが、更に学力向上面で効果をあげるように、より効果的な指導方法・取り入れ方等について研究し、個々の子どもにあった指導が出来るよう努力して欲しい。学校規模の違いを勘案した配置についても、留意を願いたい。
体験活動推進に関する事業 (地域に根ざした学校づくり事業)	小中学校の児童及び生徒の学習意欲の高揚並びに心身の発達に寄与することを目的とし、町の指導方針及び各学校の経営方針に基づき、各学校の伝統、地域性、環境等の特殊性、独自性等を考慮した事業を各学校において実施している。	A	体験活動では、地域人材をどう活用していくかという点がポイントであり、活動に際しての打合わせに十分な時間をかけ、一連の授業の中で、どの場面で地域人材の発言を求めるのかといった具体的な計画をもって臨むよう留意されたい。体験学習の取組みについては、継続していくべきものと考えて、それを教育課程の中にどう位置づけるのかといったことから再度検討し、さらなる定着を図って欲しい。
いじめ不登校対策事業 (不登校対策協議会設置事業) (教育相談事業)	いじめ、不登校問題の指導及び防止の在り方について検討するとともに、相談、助言及び不登校児童生徒に対する学校生活適応指導を行なう。	A	不登校については、件数が非常に低いところで推移しており、十分に対応できていると思われる。いじめについては、アンケート内容の精査や年度・学校間の件数の差異等、さまざまな項目から詳細な検証を進め、早期発見・早期対応に努められたい。いじめが、中学校でたくさん出ているという理解ではなく、小学校のうちから学校全体で指導にあたるということが大切であることに留意し、些細な事象にも、慎重に対応して欲しい。また、研修の活動は、特に教職員を対象とした、より専門性の高い、テーマを絞った内容で計画することも、必要と考える。
図書館教育推進事業 (学校図書館指導員配置事業) (学校図書館蔵書充実事業)	図書の実質(蔵書率100%以上)を図るとともに、書架の整理、読み聞かせ等を行う嘱託員を配置。	A	学校図書館の整備充実、蔵書率・貸出し件数などの数字から、進展しているものと解する。効果を上げている取組については、広く他の学校にも紹介し、図書館教育・運営の充実を図って欲しい。町立図書館と学校図書館では、蔵書内容もおおのずと異なり、両者の連携により、教育的効果を高めることが可能と考える。今後、電子情報と図書の選択活用も視野に入れ、町立図書館を中心とした、生涯学習部門の取組みとも協調し、魅力的な学校図書館運営に努力されたい。
青少年健全育成事業 (青少年育成事業)	非行等の未然防止と早期発見を図るため、パンフや広報誌により、住民への啓発、周知・協力依頼を行う。また、青少年団体に対し活動促進のための補助を行う。	B	青少年健全育成の取組みを、より効果的に展開するため、青少年健全育成地域推進員とPTA・防犯ボランティア等の各団体が連携をとれるようなシステム作りに留意して欲しい。また、活動内容についても「青少年健全育成」という事業目的達成のため、防犯パトロール・声掛け・若者の社会参加機会の創造等、さまざまなアプローチを検討して欲しい。
放課後子ども教室運営事業 (放課後子ども教室推進事業)	放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を順次(H20萩谷、H21幸田、H23中央)設け、子どもたちとともに読書やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを推進することを目的とし、子ども教室を運営している。	A	学習指導面の充実を目指し、運営スタッフについては児童指導に長けた教員資格を持つ人材の確保に努力されたい。また、個々の放課後子ども教室の運営実態に留意し、適正な指導員配置と施設整備を心掛け、安全な教室の運営を確保されたい。福祉部門が所管する、恒常的留守家庭の児童福祉を目的とした「児童クラブ」との関係を整理し、連携をとりながら、「放課後子ども教室」の本旨に則った事業発展を目指して欲しい。
スポーツ教室等体力づくり事業 (少年少女スポーツ教室・町民スポーツ大会・幸田発見ウォーク等、社会体育推進事業)	体育とスポーツの振興を図り、住民の健全な精神の育成と体力の向上及び相互の親睦を図ることを目的に、様々な大会・教室を開催している。	A	現在展開しているスポーツ教室・大会の運営にあたっては、参加者と指導者、双方の利便に配慮し、今後とも、スポーツの振興を図られたい。また、広く町民に対し、スポーツに親しむ機会を提供することに心掛け、誰でも楽しめるようなニュースポーツの推進にも取り組まれたい。
運動場等管理運営事業 (社会体育施設事業)	社会体育推進のため、運動場を始めとした体育施設の維持管理及び設備の充実をはかる。	A	近隣自治体のスポーツ施設と比較し、町の規模に対して高い水準での整備がなされていると評価する。新たな市街地形成も考慮し、総人口並びに、年齢別人口構成の変化等、町の将来を見通した展望をしっかりと定め、施設の適正な維持管理・整備に努めてほしい。
特別支援教育推進に関する事業 (通級指導教室指導教員・日本語指導教員・母国語対応支援員・特別支援介助員・学級補助嘱託教員配置事業)	特別な支援(介助・取り出し指導・日本語教育)を必要とする児童生徒に対し、自立や社会参加に向けた障害の程度に応じた適切な教育的支援を行う。	A	発達障害により通常学区への適応が困難な児童生徒が増えている状況下で、通級指導嘱託教員を始め、個々に支援する体制が出来ていることは、子どもにとっても教員にとっても好ましいことだと思われる。今後とも身体的障害を持った子どもの受け入れについては、幸田町の規模を生かした保育園等との緊密な連携を継続し、就学指導並びに施設改修等、先を見越した対応を心掛けられたい。また、特別な支援を必要とする児童生徒のみならず、周りの子ども並びに保護者の理解を深める取り組みにも留意されたい。現在、専任の特別支援コーディネーターが配置されていないという現実もあり、容易な課題ではないが、教育委員会として特別支援教育をトータルでコントロールするという姿勢が重要であると考えられる。

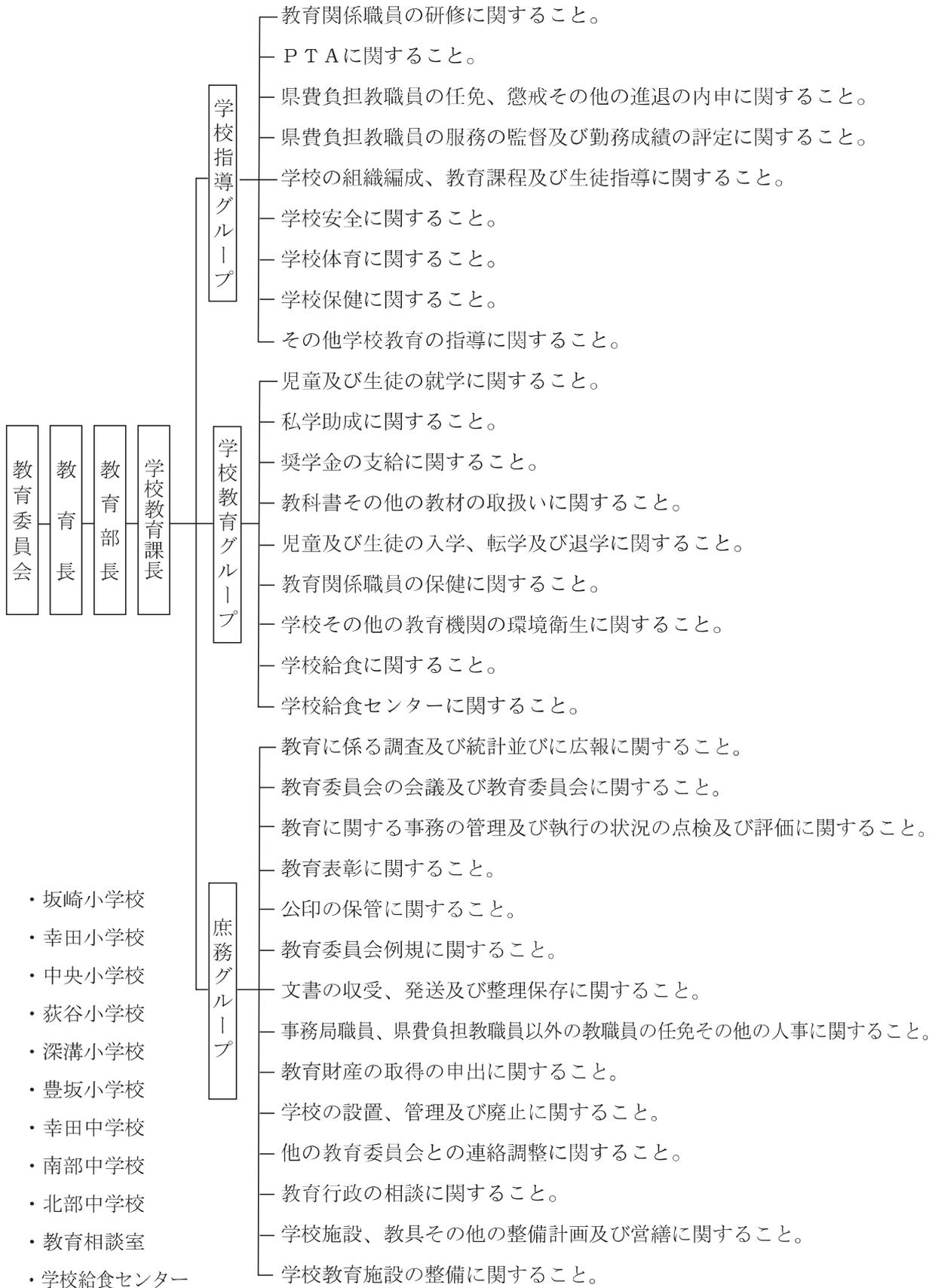
対象事業名	事業の概要	教育的評価	外部評価委員会評価
学校運営推進に関する事業 (学校評議員・学校評価委員制度)	学校、家庭、地域が連携しながら開かれた学校づくりを進めるとともに、学校自らが行う自己評価に対して該当学校の関係者による評価を行い結果を報告する。	A	開かれた学校づくりには、学校が自らを適切に評価することはもとより、その自己評価結果を学校評価委員の検討を経た上で保護者に開示し、併せ、評価結果を踏まえた課題の解決策や目標についての理解と協力を得ることが必要である。また、教員全員が同じ意識で評価に参加し、自分たちの問題として意識し対応していくことが求められる。そして、これに対し、教育委員会としてどういった支援をしていくのかといった点も重要である。なお、学校評議員と学校評価委員の役割分担を踏まえ、極力、両者が兼務とならないような人選にも留意すべきと考える。
安全対策推進に関する事業 (不審者情報提供、防犯ホイッスル配布、緊急メール配信事業)	小中学生に危機意識や危険から自分の身を守るすべを身につけさせ、学校・家庭・地域が、一体となって子どもを守ろうとする機運を高める	A	防犯ホイッスル、緊急メール配信など、安全対策推進の個々の方策に対する検討も必要ではあるが、安全確保の意識を子どもたちのなかでどのようにして育み定着させるのかという、“安全教育・防災教育”といった観点での指導がより重要である。小学校1年生から中学校3年生までの様々な指導の積み重ねの中で、いざという時に自分の身を守るため、それぞれの判断力に応じた対応を的確にとることができる児童生徒の育成に心掛けられたい。
外国人講師活用に関する事業 (外国人英語指導講師委託事業)	小中学生が、外国語を通して積極的にコミュニケーションをとる機会を作り、外国語に慣れ親しませるために、外国語活動の推進を図る。	A	英語教育の更なる推進のため、継続的な取り組みを期待する。有能な外国人英語指導講師を確保するとともに、配置された講師と担任との、さらなる連携が図られた訪問計画作成・指導に努められたい。高額の費用を要する事業であり、事業効果について様々な意見もあると思われるが、外国語に慣れ親しむ機会を設けるという事業目的が達成されれば、十分な成果があるものとする。
学生海外派遣に関する事業 (中学生海外派遣事業)	広い視野に立って郷土の発展を考え、国際感覚と豊かな心を育成するため中学生を海外に派遣する。	A	事業を実施することにより、派遣団に参加した生徒はもとより、参加しなかった生徒においても、派遣者選考過程や相互交流受入事業を通じ、海外へ行ってこんなことをしたい、これを学びたいと思いはせる機会が生まれ、感性の豊かな中学生の時に国際感覚を養うという効果はあるものとする。しかし、公平性・費用対効果の面で、事業実施の妥当性について意見の分かれる事業でもあり、行政が直接行う必要性等については、今後とも総合的な判断によって検討することが必要である。
生涯学習講座・教室開催に関する事業 (親子ふれあい広場・シルバースクール等、生涯学習推進事業)	生涯を通じていつでも自由に学習機会を選択することが出来るよう、各種講座、教室を開催している。	A	幅広い年代のニーズをつかむことに留意し、講座の計画立案に生かされたい。参加者に対するアンケート以外の方法も検討し、生涯学習講座に参加する機会の少ない町民の掘り起しに努められたい。人気の高い講座について、抽選により受講できない町民も多いという状況は好ましくない。民間のカルチャーセンターなどの受け皿もあるが、特に子ども向けの講座では子育て支援の面からも、より多くの希望者を受け入れる努力を望む。また、豊かな生涯学習環境を育てるためにも、講座終了後、同好の者が集まって活動を進めるという形をサポートする体制も必要と考える。今般、社会情勢の変化は急速で、例えば高齢者のくくりそのものも変化してきている。対象とする年代や講座の内容等を常に検討し、変化に対応されたい。
公民館管理運営に関する事業 (中央公民館・地区公民館管理委託等、公民館管理運営事業)	地域の人が、学習拠点として公民館等を広く活用できるように、施設の適正な維持管理を行っている。	A	これからの地区公民館は、社会教育施設として学習活動の場になると共に、地域の憩いの場・交流の場・防災拠点など、様々な活用が期待される。管理を委託している地元役員とは、ソフト面での協議・調整にも留意し、地区公民館が地域活動の中心となるよう指導されたい。また、住民サービスの観点から、各地区に設置された町施設全体を念頭に置き、地域バランスや管理する所管課についての整理検討を行うことも必要に感じる。
町民大運動会開催に関する事業 (社会体育推進事業)	スポーツの普及と健康、体力の増進を通じ、明るく住みよい町づくりに寄与することを目的に、毎年10月に開催している。	A	50年以上も継続され、町民が楽しみにしている事業だと感じた。区対抗・各種団体・自由参加と種目をバランスよく配置し、町民全体が楽しめる内容を今後も目指してほしい。参加者の年齢構成を把握し、比較的参加の少ない年代の参加を促す種目の創設など、あらゆる年齢層が参加できる競技構成の検討に、引き続き配慮されたい。
郷土資料館運営に関する事業 (郷土資料館運営事業)	郷土の歴史研究、民具の収集・展示・保管および資料の調査研究を行う。	A	現在の施設状態でも、町ホームページ等を活用し、収蔵物・展示内容等の情報発信を継続することで、来館者の増加へつなげることも可能と考える。特に、学校教材としての活用を推進するため、一日で教科書の各単元と比較できるような収蔵品リストの作成に取り組みされたい。学習活動の一環として展示品を見学するため館を訪れるだけでなく、収蔵品を可能であれば学校へ貸し出して教材として活用するなどの取り組みも考えられたい。
こうた夏まつり・凧揚げまつり開催に関する事業 (ライフサークル運動推進事業)	ライフサークル運動推進事業の一環として、「こうた夏まつり」、「こうた凧揚げまつり」を実施し、心豊かで、笑いと楽しさあふれる町づくりを目指している。	A	こうた夏まつり・凧揚げまつりとも、実行委員会主催で開催され、多くの町民参加があり、「心豊かで、笑いと楽しさあふれる町づくり」に寄与していると感じた。町民参加のすそ野を広げるため、人から人へ広がりを見せる展開、例えば凧作りの技法を若い人に伝えていくなどの方策が好ましい。今後、町外からの参加者も増加することが予想されるが、町民が積極的に参加していくような働きかけに留意して欲しい。
教育施設設備の整備・充実に関する事業 (地震補強、大規模改造事業・学校整備事業・学校管理一般事業)	児童・生徒に対し、安全で機能的な学習環境を提供するため、学校施設や設備の建築・整備・更新を行う。	A	地震対策としての安全確保のみでなく、プール等の児童・生徒の安全に関わる施設全般の改修及び防災・防犯についても、順次、整備を進めていくこと。また、今後の児童・生徒の増加に伴い、学校施設に対して、今後の状況を見通して早急な整備計画の検討が望まれる。コンピュータ等の機器については、機器の性能等を考慮し計画的な整備に取り組みされたい。

対象事業名	事業の概要	教育的評価	外部評価委員会評価
学校給食の実施に関する事業 (給食センター運営事業)	町内小中学校児童・生徒に対して安全・安心な給食を提供し、児童生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図る。給食の献立から食べ物の栄養や働きを知り、日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、かつ、望ましい食習慣を養う。 学校給食センターの管理・運営を実施し、町内小中学校への学校給食の提供だけでなく、センター見学ホールにおいて児童・生徒・保護者等を受け入れ、施設内見学や食に関する学習を行う。また、地産地消の推進、献立の募集、町広報やホームページで給食や食育に関する活動の紹介等を通じて地域や家庭との連携を充実させる。	A	安全で安心な給食の提供、並びに、食育・地産地消推進等の取り組みについて、評価する。賄材料費として徴収している給食費の滞納については、継続的に解消に努められたい。また、アレルギー対応については、施設及びシステマ的な課題があり、現状は弁当対応であるが、デザート代替制度等の取組を一步步進めると共に、アレルギー対象の児童・生徒が、一品目でも、皆と同じ給食が食べられるような献立の提供に努められたい。
教育委員会会議運営に関する事業 (教育委員会運営事業)	教育委員会の活性化と活発な事業の展開のため、開会冒頭に町長の出席を得て教育に対する情報交換を継続して実施している。 定例会等の会議において重要案件に対し、有益な論議がなされるよう、議事事項区分の見直し等精選を実施している。	A	議事事項の精選により、広く委員の意見聴取の機会を作り、事務スケジュールの調整による議案提出が適期に行われていることを評価する。今後は教育委員会の存在意義を示す上でも、教育委員会会議の開催日・議事内容等について広報に努め、広く町民に教育委員会活動について伝えるよう図られたい。
教職員の研修に関する事業 (初任者研修、教科等指導員研修、小学校外国語活動、養護教諭研修、教員研修、教育論文、現職教育研修事業、事務職員研修)	教職員の資質と力量を向上させるために、教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、これらを基盤とした実践的指導力を高める研修を行う。	A	教職員二一ズに沿った研修内容の精選は不可欠である。各学校の実情に即した研修内容の検討や就業時間内開催といった時間管理にも留意し、有効な研修に努められたい。また、非常勤講師・常勤講師を含む、すべての学校教育に関わる教職員への受講の機会拡大や各校現職教育における取組にも、さらに工夫されたい。
読書推進に関する事業 (子どもの読書活動推進事業)	すべての子どもたちが、本に親しむことのできるような環境を目標とする。「家庭・地域・学校を通じた社会全体での取り組みの推進」「子どもが読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実」「子どもの読書活動に関する理解と関心の普及」を基本方針とした事業を実施する。	A	小中学校、町立図書館等関係機関との体制整備については、評価したい。読書を習慣づける読み聞かせボランティアの各関係機関及び施設への派遣調整は必要である。各施設の蔵書状況検討による施設相互間の蔵書の流通体制を検討していくこと。また、図書館へ赴くことが困難な高齢者等の対策についても検討されたい。
学校体育施設開放に関する事業 (学校体育施設スポーツ開放事業)	町内に在住・在職する2,661名が登録。17種の競技の125団体に対し社会体育の普及のため、123年度から1団体から12,000円/年の使用料を徴収し、幸田町立学校の体育施設(運動場、体育館、武道場、卓球場)を学校教育に支障ない範囲でスポーツ活動等の利用に供している。	A	利用団体もほぼ固定化し、学校施設開放事業も町民に定着していることが伺える。利用時間が学校経営時間外であることから、学校関係者以外での鍵の管理は安全管理上も問題である。今後は鍵を管理する管理指導員を含めた体制の検討が必要である。
新春駅伝・ファミリージョギング大会開催に関する事業 (社会体育推進事業)	小学生(4年生以上)、中学生、一般(高校生以上)、町内在住または在勤者に対してスポーツ愛好の心を養い、心身の健全な発達を促すとともに、冬の体力増進とスポーツの日常化を図る。競技種別は、ジョギングの部、駅伝の部(6部門区対抗、小学生男子・女子、中学生男子・女子、一般)となっている。	A	町冬のスポーツイベントの恒例行事として、参加者の増加傾向の状況を鑑み町民間にも定着していることが伺える。コース延長に伴う経費については、安全対策を考慮のうえ精査が必要である。気温が低い時期での開催のため、問診票の提出、個人負担の保険加入等の参加者に対する安全管理への配慮についても図られたい。
文化財保護に関する事業 (文化財保護事業)	町内文化財や歴史的文化資料を調査し郷土資料館等で公開することにより、地方文化の発展と歴史教育の充実及び郷土に残る文化財の保護・活用を図る。	A	深溝松平家墓所の国史跡指定を目指した本光寺の文化財調査、出土品の町文化財の指定、その他の町文化財の周知活動等により、町民の文化財に対する関心が高まったことは認められる。町文化財全般の保護のみでなく学校教育への活用及び多く町民の目に触れる機会を設けられたい。また、郷土資料館については、来館者の安全対策だけでなく、収蔵物の保管上からも耐震化は必要である。
男女共同参画社会推進に関する事業 (男女共同参画社会テーマイベント)	町民全般を対象とし、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指すために、幸田町男女共同参画プランの推進及び、意識を高めるための啓発活動、テーマイベント等開催に対する支援を行う。女性団体の支援として地域女性団体である「こうた女性の会」に情報提供を行い、活動の活性化を図る。	A	平成25年度から首長部局に所管替えとなり、より広範で多様な面からの活動に期待する。教育委員会として、今後とも、男女共同参画の主旨・理念を引き続き広めるうえでも教育現場・生涯学習と連携した新たな取組の検討が必要である。

今後の課題と対応

今回の評価結果に基づき事業内容の見直しを進め、更なる事業推進に努め、教育行政各施策の効果的な実施を目指す。

学 校 教 育 推 進 機 構



心身ともに健やかな子どもたちの育成をめざして

—幸田の教育の推進—

平成 26 年度 学校教育展開の指針

(1) 家庭や地域に開かれた学校経営を進める。

- ① 保護者・地域が一体となって子どもを育てるという機運を高める。
- ② 学校評議員などの意見も参考にし、開かれた学校経営に努める。
- ③ 学校評価を適切に行い、学校経営の改善に努める。

(2) 確かな学力を育む。(知)

- ① 学習指導要領の内容を踏まえた学習指導に取り組む。
- ② 少人数指導等による個に応じた指導の充実を図り、基礎・基本をはじめとする学習内容の確実な定着を図るとともに、あらゆる学習の基盤となる言語活動を充実させ、思考・判断・表現力の育成に努める。
- ③ 体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、子どもの思考に即した授業を展開するなかで、学習意欲を高め、学ぶことの楽しさと成就感を味わう活動を展開する。
- ④ 学力や学習状況を的確に把握分析し、授業改善に取り組む。
- ⑤ キャリア教育を教育課程に明確に位置づけ、発達段階に合わせて小学校段階から系統的なキャリア教育を推進する。

(3) 豊かな心を育む。(徳)

- ① ふれあい活動を通し、「いのちを大切に作る心」「思いやりの心」等、心を耕す教育を進める。
- ② いじめ、不登校、暴力行為等への予防、早期発見、早期対応に努める。
- ③ 情報化社会に対応するために、保護者との連携を図りながら情報モラル教育を推進する。
- ④ 読書指導の充実を努め、本に親しみ、読書を楽しむ子どもを育てる。

(4) たくましく健康な体をつくる。(体)

- ① 集団で遊ぶ、仲間とともに運動する活動を奨励する。
- ② 体力や運動能力の状況を的確に把握分析し、体力の向上を図る。
- ③ 学校給食を中心に食について総合的に考え、望ましい食習慣の形成に努めるなど、食育の充実を図る。

(5) 特別な支援が必要な子どもへの適切な対応に努める。

- ① 特別支援教育委員会を中心に、特別支援教育に関わる指導体制を充実させ、子どもの特性に応じた適切な支援を推進する。
- ② 通常の学級において、特別な支援が必要な子ども（日本語指導が必要な子どもを含む）に対しては、障害の状態に応じたきめ細やかな指導を通級指導教室等で行い、困難の改善・克服をめざす。

(6) 児童生徒の安全確保に努める。

- ① 各学校の実情に沿った安全教育、防災教育の推進を図る。
- ② 校内の安全確保に努めるとともに、子どもたちに自らを守ろうとする意識や、危機から身を守るすべを付けさせる。
- ③ 学校と地域が一体となって、子どもの安全を確保するという機運を高める。

平成26年度児童・生徒数一覽表

(平成26年5月1日現在)

学年 学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	總計	学校囑託医				
										内科	齒科	眼科	耳鼻	薬剤
坂崎小学校	男	34	23(1)	17(1)	14	15	21(1)	124(3)	127	小原 中央 生	平野 達也	鬼頭 和裕	西山 礼二	鈴木 拾男
	女	20	17	15	26	15	16	109(1)	110					
	合計	54	40(1)	32(1)	40	30	37(1)	233(4)	237					
	学級	2	2	1	1	1	1	8(2)	10					
幸田小学校	男	68(1)	70(1)	62	64	59	60(1)	383(3)	386	山崎 泰爾	渡部 真法	内藤 賢吾	西山 礼二	鈴木 拾男
	女	73	80	56(1)	55	63	63	390(1)	391					
	合計	141(1)	150(1)	118(1)	119	122	123(1)	773(4)	777					
	学級	5	5	3	3	4	4	24(2)	26					
中央小学校	男	46	35(1)	30	34(2)	48	47	240(3)	243	金野 浩二	藤江 豪成	内藤 賢吾	西山 礼二	鈴木 拾男
	女	44(2)	47	40(2)	40	42	39	252(4)	256					
	合計	90(2)	82(1)	70(2)	74(2)	90	86	492(7)	499					
	学級	3	3	2	2	3	3	16(3)	19					
荻谷小学校	男	29(1)	37(1)	36(2)	49	52(2)	32(1)	235(7)	242	富田 博	植田 晃弘	鈴木 裕之	西山 礼二	鈴木 康司
	女	30	28(1)	38	40	33	33	202(1)	203					
	合計	59(1)	65(2)	74(2)	89	85(2)	65(1)	437(8)	445					
	学級	2	2	2	3	3	2	14(2)	16					
深溝小学校	男	25(1)	20(1)	26	21(1)	27	26(1)	145(4)	149	日高 恵一	榊原 泰二	鈴木 裕之	西山 礼二	鈴木 康司
	女	27	27	32(1)	25	29	27	167(1)	168					
	合計	52(1)	47(1)	58(1)	46(1)	56	53(1)	312(5)	317					
	学級	2	2	2	2	2	2	12(2)	14					
豊坂小学校	男	34	26	32(1)	23	26	40(1)	181(2)	183	野々 村仁 志	不破 金好	鈴木 裕之	石田 正人	鈴木 康司
	女	28(1)	33	31	38(1)	28	29	187(2)	189					
	合計	62(1)	59	63(1)	61(1)	54	69(1)	368(4)	372					
	学級	2	2	2	2	2	2	12(2)	14					
小学校計	男	236(3)	211(5)	203(4)	205(3)	227(2)	226(5)	1,308(22)	1,330					
	女	222(3)	232(1)	212(4)	224(1)	210(1)	207	1,307(10)	1,317					
	合計	458(6)	443(6)	415(8)	429(4)	437(3)	433(5)	2,615(32)	2,647					
	学級	16	16	12	13	15	14	86(13)	99					
幸田中学校	男	102(3)	102	116(2)				320(5)	325	神谷 文雅	田所 克裕	内藤 賢吾	石田 正人	鈴木 拾男
	女	91	90(1)	77				258(1)	259					
	合計	193(3)	192(1)	193(2)				578(6)	584					
	学級	6	5	5				16(2)	18					
南部中学校	男	40(1)	41(2)	37(2)				118(5)	123	金子 佳史	武藤 俊一	鈴木 裕之	西山 礼二	鈴木 康司
	女	29(1)	32	23				84(1)	85					
	合計	69(2)	73(2)	60(2)				202(6)	208					
	学級	2	2	2				6(2)	8					
北部中学校	男	70(1)	66	67(2)				203(3)	206	山崎 泰爾	南 鉉	鬼頭 和裕	西山 礼二	森 直之
	女	63(1)	64(2)	52				179(3)	182					
	合計	133(2)	130(2)	119(2)				382(6)	388					
	学級	4	4	3				11(2)	13					
中学校計	男	212(5)	209(2)	220(6)				641(13)	654					
	女	183(2)	186(3)	152				521(5)	526					
	合計	395(7)	395(5)	372(6)				1,162(18)	1,180					
	学級	12	11	10				33(6)	39					
小中学校計	男							1,948(35)	1,984					
	女							1,828(15)	1,843					
	合計							3,777(50)	3,827					
	学級							119(19)	138					

()は特別支援学級児童・生徒数

坂 崎 小 学 校

校長 山 田 富 久

所在地 幸田町大字坂崎字揚り山31番地 電話 62-0115 FAX 62-0197

E-mail sakazaki@town.kota.aichi.jp

校訓

校章

よ い 子

つ よ い 子

か し こ い 子



里山に案内板を設置

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校 訓	め ざ す 子 ど も 像
よ い 子	礼節を重んじ、力を合わせて、心豊かに生活する子 (心)
つ よ い 子	命を尊び、心や体を鍛え、汗を流す子 (体)
か し こ い 子	学ぶ楽しさを求め、深く考え、自ら学ぶ子 (知)

「自分には、自分なりのものがある」という自己価値観の育成

豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる坂崎っ子の育成

(2) 経営方針

- ア 知・徳(心)・体の調和のとれた子どもの成長を目指す。
- イ 学校・家庭・地域が、子どもの健やかな成長と安全を願って協力する。
- ウ 魅力ある教師(情熱と指導力、人間性を備えた教師)になるよう、日々努力する。
- エ 子どもと教職員、地域の方とが信頼し合える環境をつくる。
- オ 「いつでも どこでも 力を出し切れる自分になろう」を合い言葉に、教育活動を推進する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 豊かな心をもつ子ども(よい子)

自然・人・書物などを豊かに感じ、表現する子どもの育成

- ・ あいさつや礼儀を大切にし、教育活動全体で道徳性を養う。
- ・ 豊かに感じる心と素直に表現する心を養う。
- ・ 子どもの心の壁をふるわす体験活動を意図的・計画的に展開する。
- ・ 本に親しみ、読書を楽しむ読書活動を推進する。

イ たくましく生きる子ども(つよい子)

自ら進んで自分を鍛える たくましい心と体の育成

- ・ 5分間完走かけ足と遊育を推進する。
- ・ 欠席0の日更新を目指し、健やかな心と身体を養うと共にいじめ・不登校の早期発見・対応に努める。
- ・ 学校安全・防災の見直しを図ると共に情報交換を密にし、子どもの安全や心身の健康管理に十分気を配る。
- ・ 楽しい会食を通して、望ましい食習慣を形成する。

ウ 目を輝かせて学ぶ子ども（かしこい子）

意欲的に授業に参加する子どもの育成

- ・ 子どもの心と目を惹きつける魅力ある授業づくりに努める。
- ・ 子どもの分かる過程を大切に単元構想・授業展開をする。
- ・ 子どものつぶやき・表情を鋭く感じ取り、指導に生かす教師の感性を磨く。
- ・ 一人ひとりに寄り添い、将来の夢や希望を抱く指導に努める。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究の方針

- ・ 「豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子」の育成をめざし、全教科全領域で魅力ある教材を発掘し、かかわり合いの方策と追究意欲を高める単元構想のあり方を求め、授業研究を推進する。
- ・ 少人数指導や個別の教育支援をより一層充実させ、子どもに生きた時間になるよう、授業形態や指導法の改善、教材・教具の工夫に努め、学力の向上と定着を図る。
- ・ 指導内容の精選と指導法の改善に努め、基礎・基本の定着と学力向上を図る。
- ・ 専門職としてふさわしい力量を身につけるための校内研修の充実を図る。

(2) 研究課題

- 研究主題 「豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子の育成」
— かかわり合いを通して、学ぶ喜びを味わう授業づくり —
- 研究の方法
 - ア 子どもの思いを生かした単元構想を構築し、問題解決型授業の実践をする。
 - イ ひと・もの・こととのかかわり合いを重視した授業を展開する。
 - ウ 「かかわり合い」を通して、お互いの考えを響き合わせ、高めあう授業をめざす。
 - エ 一人ひとりの子どもが生きる指導・評価のあり方を追究する。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員 (主事)	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	9	1	0	1	0	2	2	1	1	(1)	(1)	21

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	2	1	1	1	1	2	10
人数	54	40	32	40	30	37	4	237
実家庭数	34	33	18	33	26	37	3	184

5 クラブ活動の編制状況

(1) 運動系

名 称	球技1	球技2	卓 球
人 数	28	24	20

(2) 文化系

名 称	生け花・茶道	頭脳ゲーム	物作り
人 数	8	14	15

6 教育課程・日課編成上の特色

- 少人数指導 確かな学力を定着させるために、全学年算数の授業において行う。
- 通級指導 生活上、学習上で個別の支援を必要とする児童に行う。
- 委員会 月曜日 第6時限（隔週）4～6年 常時活動を重視する。
- 集会活動 月曜日 8時20分～8時40分（隔週）
- 読み聞かせ 水曜日 8時20分～8時30分
- 読書タイム 火・木・金曜日 8時20分～8時30分
- かけ足タイム 毎日 10時25分～10時30分
- 子どものゆとり 20分放課（午前1回） 20分放課（昼休み）

7 その他特色ある活動

「あいさつ」「思いやり」「自分から」の姿が日常の子どもたちのなかに定着することを目標に、次のような活動を展開する。

(1) 豊かな道徳性の育成を図る体験活動

- ・ 学校田、畑における勤労体験学習
- ・ うさぎや魚などの飼育活動
- ・ 「あいさつ運動」「アルミ缶集め運動」「ペットボトルキャップ集め」などの児童活動
- ・ 縦割り班による清掃活動や集会活動（全校遊びの重視）
- ・ 地域のお年寄りの方々との交流活動
- ・ 病院の方々との交流活動

(2) 学校、家庭、地域が連携した体験活動

- ・ 地域の人を講師にして実践する学習活動
- ・ 家庭教育学級を中心とした親子活動
- ・ グラウンドゴルフ交歓会
- ・ 郷土を見直す親子ふれあい「学区ウォークラリー」
- ・ 保護者・ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 地域の人と連携した里山保全活動

8 P T A の組織（役員・委員の名称及び人数）

〔P T A 役員〕

会 長	1名
副 会 長	3名
書 記	3名
会 計	2名
母 親 代 表	4名
会 計 監 査 事	2名
幹 事	4名

幸 田 小 学 校

校長 林 昭 広

所在地 幸田町大字大草字三ツ石18番地 電話 62-0118 FAX 62-0416

E-mail kotaes@town.kota.aichi.jp

校訓 「きたえ みがく」

校章

健康で、けじめのある学校

(基本的な生活習慣を育成する)

みんなで力を合わせることでできる学校

(共に生きる集団生活の高まりをめざす)

競い合い、励まし合える活気のある学校

(自らをきたえる意欲を高める)



ふれあい集会

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校訓「きたえみがく」のもと、めざす子ども像として「豊かに感じ、考え、表現できる子」を育成する。

(2) 経営方針

- ア 体験的な活動を通して、豊かな感性及び自ら学ぶ態度を育成し、健やかでたくましい児童を育てる。
- イ 温かい人間関係の中で一人一人のよさを伸ばし、「生きる力」を育てる。
- ウ 教師自身が「学ぶ」姿勢をもち、児童のよさを伸ばす指導・支援に努める。
- エ 学校における道徳教育と家庭における躾や心の教育とが互いに響き合い、共通理解のもとで生きる力の基となる基本的な生活習慣の育成に努める。
- オ 家庭及び地域社会が一体となって児童の安全を守り、協力して健全な児童の育成に努める。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる
 - ・ 基本的な生活習慣の育成に向けて、家庭と連携した指導に努める。
 - ・ 安全教育、防災教育を見直し、一体となって子どもの安全確保に努める。
- イ 温かい人間関係や学習の基礎・基本の重視し、確かな学力を育てる（知）
 - ・ 学習指導要領の内容を踏まえた指導に取り組み、学ぶ楽しさと成就感を味わわせる。
 - ・ 個に応じた指導の充実を図り、学習内容の確実な定着を図る。
- ウ 道徳指導や体験的な活動を通して、いのちを大切にす心や思いやりの心を育てる（徳）
 - ・ 飼育栽培活動や仲間とのふれあい活動等、心を耕す教育を推進する。
 - ・ いじめや不登校等子どもに関わる諸問題の早期発見・対応に努める。
- エ 日々の遊びや体育的活動を通して、健やかでたくましい体を育てる（体）
 - ・ 体力や運動能力の状況を把握し、体力の向上に努める。
 - ・ 学校給食を通して、望ましい食習慣の育成に努める。
- オ 好ましい子どもの文化を創造する
 - ・ 「歌声タイム」「ふれあい集会」「縦割り活動」等を通して、楽しい学校づくりに努める。
 - ・ 児童主体の委員会活動を推進し、自主自立の心づくりに努める。
- カ 特別な支援が必要な子どもへの支援を充実させる
 - ・ 子どもの特性や状況を的確に把握し、個に応じた適切な支援に努める。
 - ・ 職員が一体となって支援する指導体制の充実に努める。

2 現職教育の研究課題・研究分野

研究主題 「豊かに感じ、考え、表現できる子の育成」

研究副主題 ～子どもたちが進んで学び合う授業づくりをめざして～

- ・ 「考える足場づくり」を授業に位置づけ、考える足場を意識した設問のあり方を追究していく。
- ・ 自ら考える力を高める方策を追究する。
- ・ 「ペア学習」「グループ学習」を取り入れ、人とかかわり合いながら、自分の考えを深め、それを表現し、伝え合う場面設定を工夫する。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主査)	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	1	1	1	29	1	0	1	2	3	2 (1)	1	2	1	(1)	47

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	5	5	3	3	4	4	2	26
人数	141	149	118	119	122	124	4	777
実家庭数	86	81	80	91	117	121	2	578

5 委員会・クラブ活動の編制状況

(1) 委員会活動

組織 12の委員会を組織し、5・6年全員が参加

内容 日常の委員会活動と、各委員会主催行事の企画運営

活動グループ名	5年	6年	活 動 内 容
企画委員会	8	11	児童会活動の企画、運営、各委員会活動の調整
歌声委員会	10	11	歌声タイムの企画運営、ふれあい集会の進行・歌
放送委員会	11	10	校内放送の企画運営や児童活動の広報、放送当番
図書委員会	11	10	本の紹介、読書活動の企画運営、図書当番
美化委員会	10	10	清掃、勤労奉仕活動の企画運営、清掃道具点検、ごみ分別
保健委員会	10	10	健康に関する活動の企画運営、保健当番
給食委員会	10	12	給食に関する活動の企画運営、配膳室当番
福祉委員会	11	10	福祉活動の企画、アルミ缶リサイクル運動、募金
広報委員会	10	10	掲示に関する企画管理、掲示板・掲示黒板の管理
栽培委員会	11	10	学校花壇の管理、花いっぱい運動の企画
体育委員会	10	11	運動に関する企画運営、体育備品の管理
環境委員会	10	10	「グリーンたっぷりパーク」の整備、遊具の管理点検

(2) クラブ活動

15クラブを設置。4年生以上が全員参加する。年間13回、火曜日第6校時に実施する。

クラブ名	人数(人)				クラブ名	人数(人)			
	4年	5年	6年	合計		4年	5年	6年	合計
ソフト・サッカー	1	6	17	24	昔遊び	8	8	4	20
アウトスポーツ	5	13	14	32	パソコン	4	23	3	30
グラウンドゴルフ	24	0	6	30	茶花	0	3	17	20
ネット	0	13	19	32	絵手紙	11	5	1	17
ユニバーサルホッケー	10	13	9	32	書道	3	0	7	10
雅楽	5	8	0	13	科学・芸術	5	3	8	16
工作り	28	2	0	30	将棋	11	7	12	30
手作り	4	18	8	30	合計	119	122	125	366

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

① 教科学習

話す・聞く力を育て、話し合いや人とのかかわり合うことを大切に学習をする。

② ほなみ学習

教科学習を生かし、総合的な学習の時間・生活科・生活単元学習を軸にした問題解決的な学習をする。

③ 好ましい子ども文化の創造

児童委員会活動やふれあい集会、学芸会などの学校行事を軸にした、児童主体の活動をする。

④ 道徳

思いやりの心を核とした道徳指導、児童委員会の企画による全校活動をする。

(2) 日課の特色

	月	火	水	木	金
いきいきタイム 8:20～8:45	朝会(月1回)	朝の会	朝の会	歌声タイム 朝の会	読み聞かせ 朝の会
1限 8:45～9:30				ふれあい集会 (年間3回)	
2限 9:35～10:20	フレックスタイム第1ユニット				
	のびのびタイム(25分)				
3限 10:45～11:30					
4限 11:35～12:20	フレックスタイム第2ユニット				
12:20～13:10	給食・はみがき				
13:15～13:30	清掃(15分)				
13:30～13:50	放課(20分)				
5限 13:50～14:35					
14:40～14:50	帰りの会	帰りの会	フレックスタイム第3ユニット		
15:05～15:50	職員会 現職教育 15:15～ 職員打合せ	委員会(5・6年) クラブ(4～6年)			
			帰りの会	帰りの会 職員打合せ	帰りの会

7 PTAの組織(役員・委員の名称及び人数)

会 長	1名	教養委員会 15名 保健体育委員会 14名 校外指導委員会 16名
副 会 長	3名	
会 計	2名	学級委員会 48名
庶 務	3名	
母 親 代 表	2名	
教養委員長	1名	
保健体育委員長	1名	
校外指導委員長	1名	

中央小学校

校長 天野 広子

所在地 幸田町大字横落字北門1番地 電話 62-8050 FAX 62-8116

E-mail chuoes@town.kota.aichi.jp

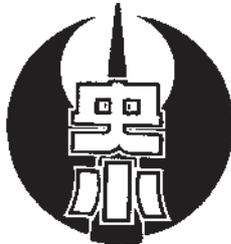
校訓

なかよく

つよく

こんきよく

校章



町行事に参加する三河万歳クラブ

1 教育方針

(1) 教育目標

校訓「なかよく・つよく・こんきよく」のもと、生きる力を育む教育活動を推進し、「自ら学び心豊かにたくましく生きる子ども」を育てる。

(2) 経営方針

ア よりいっそうの地域との連携のもと、地域とともに歩む学校づくり、安全で安心できる学校環境づくりに努める。

イ 子ども一人一人に寄り添った教育活動を推進し、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす。

ウ 教育愛と情熱をもち、常に自己研鑽に励み、指導力向上を図る教師集団をめざす。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 地域とともに歩む学校づくり

- ・教育計画書や通信、ホームページの充実を図り、信頼される学校づくりに努める。
- ・地域との相互交流を取り入れた教育活動、ふるさと学習を推進する。
- ・教育活動や評価を適切に行い、常に学校経営の改善を図る。

イ 安全で安心できる学校環境づくり

- ・防災教育や防犯教育の充実を図り、家庭・地域と一体となって命を守る教育、安全・安心な教育環境づくりを推進する。
- ・危機管理に対応できる組織・連絡体制を整え、迅速な情報の収集・発信に努める。

ウ よく考える子（確かな学力）

- ・わかる・できるまでやりぬく授業づくりを推進し、基礎・基本の定着や学力の向上を図る。
- ・かかわり合うなかで、考えを深めたり、わかる喜びや仲間と学ぶ楽しさを体感したりする授業づくりに努める。

エ 力を合わせる子（豊かな心）

- ・体験活動や地域の方々との交流を通し、思いやりの心や感謝の心を育てる。
- ・発達段階に即したキャリア教育を推進し、自分のよさに気づき、将来の夢や目標に向かい努力をしようとする意欲や態度を育てる。
- ・3つの宝（あいさつ・そうじ・ランニング）磨きを全校児童、教職員が一体となって推進する。

オ 体をつくる子（たくましい体）

- ・食育や健康教育の充実を図るとともに、体育的活動を効果的に実践し、健やかでたくましい体づくりに努める。
- ・全職員の共通理解を図り、子ども理解に努めるとともに、いじめ・不登校および生徒指導上の問題に対して適切な対応に努める。

カ 現職教育の充実と教職員の資質向上

- ・学習指導要領の内容を踏まえ、単元構想を工夫したり教材研究を深めたりして、授業力向上に努める。
- ・個別の支援の必要な子どもへのきめ細かな指導体制の充実を図る。
- ・めざす子どもの実現に向け、一体となって日々努力を重ねていく気運を高める。

2 現職教育の研究課題・研究分野

○ 主 題

「自ら進んで地域とふれあうとともに、基盤となる基礎的な力を身につけ、よりよい生活を創り出そうとする子どもの育成」

○ 研究の方針

- ・家庭・地域とのいっそうの連携を図り、教育活動全般にわたってふるさと学習を推進するなかで、地域との双方向のかかわりを通して、学習意欲を高め、社会性や豊かな心を育む。
- ・3つの宝「あいさつ」「そうじ」「ランニング」を磨く中で、望ましい生活習慣・学習習慣の確立を図り、知徳体のバランスのとれた児童を育てる。
- ・生活や学習の基盤となる基礎力を確実に身につけさせ、それを生かして思考したり、実践したりする力を育てる。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主査)	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	19	1	0	1	0	3	3	1	2	(1)	(1)	34

4 学級編制状況

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
学 級 数	3	3	2	2	3	2	3	19
人 数	90	82	70	74	90	86	7	499
実家庭数	45	56	47	49	84	85	5	371

5 クラブ活動の編制状況

(1) 運動系

名 称	ソフトボール	卓 球	バスケットボール	サッカー	ゲートボール	ユニバーサルホッケー
人 数	18	12	15	18	10	18

(2) 文化系

名 称	三河万歳	凧	和太鼓	絵手紙	茶 道	音 楽	切り絵	図 工	ちぎり絵	囲碁・将棋
人 数	13	18	20	16	12	19	13	16	20	14

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

ア 少人数指導授業、特別支援教育、通級指導、日本語適応指導等の個に応じた教育の充実

少人数指導授業は、第3学年～第6学年の算数で実施。第3・4学年の算数は学級を2分割した均等若しくは習熟度別授業、第5・6学年の算数は学年体制による3コース5グループ（6年は4グループ）の習熟度別授業。

通級指導は、通級指導教室（にこにこ教室）を設置して、個別・グループ別指導を実施。日本語指導は日本語能力や生活経験の差に応じた指導。母国語支援員による個に寄り添った支援。

イ 追究力を育む学習の推進

子どもたちの興味・関心（願い・思い）と教師や教科等のねらいをもとにテーマを決め、追究が持続できる単元構想の工夫と追究意識を深めていけるような問題解決的学習の推進。

(2) 日課の特色

- ・たくましい体と心をつくる業間ランニングとにこにこ班（縦割り）でのなかよし遊び
- ・下校時の安全に配慮した集団下校体制
- ・心を育てる朝の読書、ボランティアによる読み聞かせ

	月	火	水	木	金
朝会・読書・朝の会 8:15～8:35	朝会・集会 朝の会	読書・朝の会	読書・朝の会	読書・朝の会	読書・朝の会
第1限 8:40～9:25	8:55～9:40				
第2限 9:35～10:20	9:50～10:35				
業 間 (30分) 火～木・ランニング、金・にこにこ遊び					
第3限 10:50～11:35					
第4限 11:45～12:30					
給 食 (12:30～13:20) 清 掃 (13:20～13:35)					
第5限 14:00～14:45					
第6限 14:55～15:40	職員会・研修	2・4～6年授業	3～6年授業	クラブ・委員会	3～6年授業
帰りの会 15:40～15:55					
集 団 下 校	1便 (15:15)・2便 (16:15) 月曜日は15:15一斉下校 ※最終下校は、年間を通して16:15 (9月の町体育大会練習時のみ延長)				

7 その他特色ある活動

- 児童会を中心として、3つの宝（あいさつ、そうじ、ランニング）磨きを展開し、子ども自身による基本的な生活習慣の確立をめざしている。
- 地域連携協議会を設立するとともに学校支援ボランティアを募集し、家庭・地域とのいっそうの連携を図る。
- 「三河万歳クラブ」「凧クラブ」「ゲートボールクラブ」「茶道クラブ」「和太鼓クラブ」等で、地域の人材を活用し、交流を図るとともに伝統・文化の継承をめざしている。また、地域の催しへの参加や特別養護老人ホームへの訪問を通して、交流を深めたり、発表をしたりする。
- 「にこにこ遊び」、「にこにこ集会（月曜集会）」「1年生を迎える会」等の「縦割り活動」を実施することで、高学年のリーダーとしての意識を高めるとともに、異年齢の交流を深めている。
- 社会福祉協力校として、家庭や地域とのふれあいを大切にした福祉実践教室等の活動を行い福祉への関心を高めている。
- 「読み聞かせ」「親子ふれあい作業」等の活動を行い、親子のふれあいと奉仕の心を育てている。
- 学級生（保護者）が、全学年で「家庭教育学級」を自主的に企画・運営し、互いの交流と研修の充実に努めている。

8 P T A の組織（役員・委員の名称及び人数）

会 長	1名	委員会委員（代議員）
副 会 長	2名	
書 記	2名	
会 計	2名	
会 計 監 査	3名	
母 親 代 表	2名	
		学級委員 35名

荻谷小学校

校長 山口 明 則

所在地 幸田町大字芦谷字東山1番地 電話 62-0117 FAX 62-0649

E-mail ogiyaes@town.kota.aichi.jp

校訓

かしこい子
あかるい子
げんきな子

きまりよく

校章



芝生アート

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

目指す子どもの姿として、たくましく生きる力を身につけた「かしこい子 あかるい子 げんきな子」を掲げて、次のような児童の育成を図る。

ア 基本的な知識技能を有し、よく考え、判断し、表現できる児童

イ よき生活習慣を身につけた、心豊かな児童

ウ 友とともに自分を鍛え、ものごとをやり抜く児童

(2) 経営方針：「明るく 楽しく 温かく、そして 厳しく」を合言葉に

ア 「分かる・できる」授業づくりを推進し、学力の向上を図る。

・「教室コミュニティ」を基盤とした、つなぎ合い、高め合う授業実践を行う。

・教師の個性や特性を生かし、たゆみない研究・研修と実践に努める。

イ 児童が健康な心身を保持して、安全な学校生活を送ることができる環境づくりを目指す。

・きまりを守った生活、支え合い励まし合う集団づくりを進める。

・楽しく健康づくりを進めるとともに、児童の危機管理能力を高める。

ウ 学校・家庭・地域が連携して教育活動を進め、児童が伸び伸びと育つ教育を推進する。

・芝生の運動場、オープンな図書室等を効果的に使うとともに、「感性や問題意識を高める活動」を通して、児童の学習意欲と感性を高める。

・学校と家庭・地域社会が相互通行できる連携づくりを進める。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 基礎的・基本的なことがらは確実に身につけさせ、学習意欲を高めよう。

・少人数指導やTT指導、通級指導、日本語指導を有効に活用しよう。特別に支援が必要な児童への共通理解を図り、よりきめ細かな指導に努めよう。

・全校読書の時間を充実し、オープンな図書室を積極的に利用させ、児童の読書量の向上を図ろう。

イ 教師の確かな指導力を身につけよう。

・学習指導要領の内容をふまえ、児童の学びの過程を大切に児童が主役の授業「分かる・できる」授業づくりに努めよう。

・研究委嘱校として、現職教育に進んで参加し、授業研究や研修に取り組み、授業力を高めるとともに、研究発表会を成功させよう。

ウ 温かい心の醸成と健康な体づくりへの取組を進めよう。

・「気づき、考え、実行する」児童会活動、「みどりのチーム」での活動を支援し、気づきや思いやりの心を育てよう。また、児童の好ましい人間関係づくりに努め、人権意識の高揚を図るとともに、いじめ・不登校対策に気を配っていこう。

・多様な運動も取り入れた「すこやかタイム」などの毎日の運動や、学校給食を中心とした食育を推進し、児童の健康に対する関心を高めて健康な体づくりをしよう。

エ 児童にとって安全で、生活しやすい学習環境づくりをしよう。

・校内外における安全指導や情報モラル教育、防災教育を推進し、地域と一体となって児童の安全確保に努めよう。

・校内を掃除、整理・整頓するとともに、芝生や樹木の管理を協力して進め、快適で安全な学びやすい環境づくりをしよう。

オ 地域の教育力を十分に活用し、地域とともに歩む教育を進めよう。

- ・家庭教育学級、おやじの会、コミュニティ事業等を有効に活用し、親と教師、地域ならびに保育園・幼稚園・児童クラブが連携して児童を育てよう。
- ・地域のひと・こと・ものに学ぶ「とぼね学習」を充実させよう。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

「協同して問題解決に向かい、学ぶ喜びを感じる子どもの育成」
 一つなぎ合い、高め合う「教室コミュニティ」を基盤として

(2) 研究の重点

- 「協同して問題解決に向かい、学ぶ喜びを感じる子どもの育成」を目指し、以下の観点で授業実践を積み重ね、児童の生きる力（問題解決力）を高める授業づくりを追究する。西三河地方教育事務協議会より委嘱を受けた教育研究校として、3年次の研究を進め、研究発表会でその成果を発表する。
 - ・子どもの思考に寄り添った単元を構想し、共通の体験や活動を土台として個々の学びを関わらせる場を設定することで、協同して問題解決に迫り、学びの達成感を味わい、お互いの成長を認め合って、学ぶ喜びを感じさせる。
 - ・子ども同士が直にお互いの考えを語りあったり、協力して一つのを創り上げたりする場を繰り返し設定し、集団的に思考を深める中で、個の思考力や表現力を高めさせる。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	19	1	1	1	0	1	1 (1)	1	2	1	(1)	32

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	2	2	3	3	2	2	16
人数	59	65	74	89	85	65	8	445
実家庭数	28	35	53	73	80	64	6	339

5 クラブ活動の編制状況

(1) 運動系

名称	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	サッカー	ドッジボール
人数	22	24	20	23	28

(2) 文化系

名称	ゲーム	実験	図工	パソコン	家庭科
人数	16	26	26	29	29

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 教育課程の特色

ア すこやかタイム …… 調和のとれた体力向上を目指し、毎朝8:15～8:25(火～金)の10分間を「すこやかタイム」として、持久力をつけるマラソン(水・金)と敏捷性や平衡性などをつける多様な運動(火・木)を組み合わせ実施する。

イ さわやかタイム …… 8:30～8:45を「さわやかタイム」とし、その中に読書の習慣をつけるための読書の時間を設け、毎週木曜日は読み聞かせの日とする。

- ウ つばきの活動 …… 月曜日の第6時限（15：10～15：55）を、「つばき」の時間として、マーチングと和太鼓に分かれて、1学期は5・6年生を中心に、2学期以降は4・5年生を中心に活動する。学区大運動会などでその成果を発表する。
- エ とぼね学習 …… 各教科の学習などで身につけた力を生かし、自ら学び・考えながら、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。また、地域を学習の場として、地域の「ひと・こと・もの」に学ぶ体験活動を重視する。「自立」と「共生」を目指したキャリア教育を進める。

		月	火	水	木	金
すこやかタイム 8:15～ 8:25 さわやかタイム 8:30～ 8:45	8:20 朝会	すこやかタイム さわやかタイム 朝の歌（5分） 読書タイム（火・水・金） 読み聞かせ（木）（10分）				8:20 集会
第1時限 8:55～ 9:40						
第2時限 9:45～10:30						
		業 間				
第3時限 10:55～11:40						
第4時限 11:45～12:30						
		給食・はみがき（12:30～13:25） 清 掃（13:30～13:45）				
第5時限 14:05～14:50					帰りの会	
第6時限 14:55～15:40	帰りの会			帰りの会 クラブ		
帰りの会 15:45～15:55	つばき (15:10-55)	帰りの会		委員会 (15:10-55)		帰りの会

7 その他特色ある活動

(1) みどりのチーム

全校縦割りのグループを編成し、学級・学年・教科の枠を越えた学習の場とする。

〈主な活動〉

芝生の管理、春の遠足、集会活動、
サツマイモ栽培、収穫祭など

(2) 福祉実践教室

福祉実践協力校として、多くの方々とふれあい、思いやる心や助け合う心を育てる。



みどりのチームでの春の遠足

8 P T Aの組織（役員・委員の名称及び人数）

* 理事会

[役員]		[委員会]	
会 長	1名	書 記	2名
副会長	3名	会計監査	2名
会 計	2名	母親代表	2名
		・会員委員会	13名
		・保体委員会	15名
		・教養委員会	15名
		・広報委員会	14名

* 学級委員会

（各学級の保護者から
選出する）

深溝小学校

校長 山本勝秀

所在地 幸田町大字深溝字南道祖神11番地 電話 62-0119 FAX 62-0958

E-mail fukouzues@town.kota.aichi.jp

校訓

校章

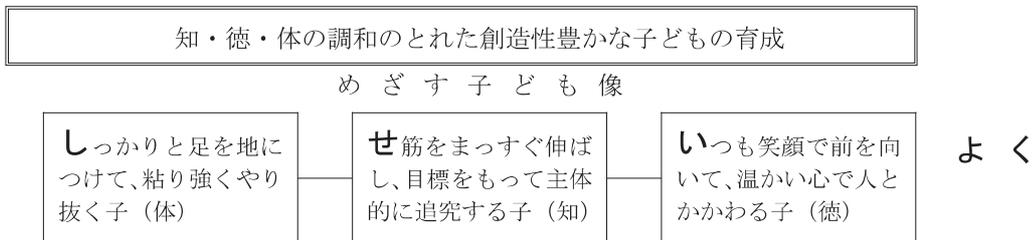
みんななかよく
進んで勉強
健康なからだ
よく考えよく働く



よく見て（理科の観察）

1 教育方針

(1) 本校の教育目標



(2) 経営方針

- ・ 教職員がめざす子ども像を共有し、その個性と学び合い高め合う姿勢を核として、地域から信頼される教職員集団をめざす。
- ・ 子ども同士がお互いのよさを知り、支え合いながら自己実現できる集団づくりをめざすとともに、個別の支援が必要な子どもへの適切な対応に努める。
- ・ 家庭や地域との連携を深め、安心・安全の中で地域全体が教育の場となるよう、開かれた学校づくりを推進する。

(3) 重点努力目標

ア しっかりと足を地につけて、粘り強くやり抜く子（体）

- ① あいさつ運動を柱に、「よい子の一日」の実践に努め、基本的生活習慣の徹底を図る。
- ② 「早寝・早起き・しっかり朝ご飯」運動を推進するとともに、食に関する指導の充実を図る。
- ③ 仲間との戸外での遊びやかけ足運動を奨励し、基礎的な体力と気力を増進する。

イ せ筋をまっすぐ伸ばし、目標をもって主体的に追究する子（知）

- ① 学習指導要領の主旨を踏まえた学習指導の充実と授業改善を常に意識し、子どもの思考に即したどの子にもわかる楽しい授業づくりに取り組む。
- ② 少人数指導、通級指導、日本語指導等、個に応じた指導の充実を図ることにより、基礎的・基本的事項の確実な習得をめざすとともに、学びの障害となる困り感の改善と克服に努める。
- ③ 各教科における言語活動の指導をさらに充実させ、自分の考えや伝えたい思いを適切に表現する力を育てる。
- ④ 深溝学区や幸田町の「ひと・もの・こと」を有効活用し、発達段階に合わせた体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、学ぶ意欲と追究力を育てる。

ウ いつも笑顔で前を向いて、温かい心で人とかかわる子（徳）

- ① 特別活動の充実を図ることで、集団の一員として、よりよい生活や豊かな人間関係を築こうとする自主的、自律的な態度を育てる。
- ② 子ども同士がふれあう場と時間を大切にし、ちがいを認め合い、お互いのよさを学び合えるたて割り活動（異年齢集団活動）を全職員で計画的に推進する。
- ③ 飼育栽培活動・福祉活動・交流活動・道徳の指導等を工夫し、いのちや自然を大切にする心と思いやりの心を培う。
- ④ 毎朝の読書タイムの充実や響き合う歌声の取り組みを通して、明るく豊かな心の醸成を図る。

2 現職教育の研究課題・研究分野

<研究主題>

絆を大切にし、豊かに表現できる子どもの育成
～ なかまとの学び合いを深める活動を通して ～

<本年度の方針>

- ア 学習指導要領を踏まえた教育課程を編成し、実践的に検証、修正を図る。
- イ 教育技術や児童理解の基礎・基本を確認し、個に応じた指導のあり方を研究する。
- ウ 言語活動を重視した授業づくりを通して、豊かに表現できる子どもの育成をめざす。
- エ 体験的な活動や問題解決的な学習を大切にし、学び合う学習集団づくりを進める。
- オ 地域との絆を大切にし、ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育てる。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主事)	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	15	1	0	1	0	3	3	1	1	(1)	(1)	29

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
人数	52	47	58	46	56	53	5	317
実家庭数	24	35	36	36	54	53	5	243

5 クラブ活動の編制状況

(1) 運動系

名称	ソフトボール・サッカー	卓球	ソフトバレー
人数	24	16	18

(2) 文化系

名称	将棋	華道	書道	茶道	和太鼓	百人一首	手芸	ちぎり絵
人数	12	10	10	10	14	12	16	15

6 教育課程・日課編成上の特色

- たて割り活動……1年生から6年生までの異年齢グループをつくり、人間関係能力を高める機会を設けている。毎月1回1時間のたて割り活動を計画し、高学年の児童のリーダー性を養う場としている。
- きめの細かい指導……確かな学力をつけるため、全学年の算教科において、T Tや少人数指導を中心に、個に応じたきめの細かい指導と支援を実施している。また、発達障害や特別な教育的支援が必要な児童に対し、障害の克服に向けた通級指導を実施している。
- 読書タイム……毎朝10分間の読書タイムを設けて読書活動の充実を図り、本好きな子どもを育てている。
- 読み聞かせ……家庭教育学級の「ダンボの会」の協力で毎週木曜日に読み聞かせタイムを設定し、本に親しむ環境の充実を図っている。
- ふれあい学習……身近な地域の自然や社会を教材とし、「ひと・もの・こと」を生かした体験(総合的な学習の時間)的な学習活動を工夫して、自ら学ぶ力の育成を図っている。

学 年 別 学 習 計 画			
学 年	活 動 内 容	関 連	
3 年	地域(地域探検、祭り、児童館など) 防災センター見学	社会、理科	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育 ・キャリア教育 ・食育 ・防災教育 (深溝断層見学)
4 年	自然・環境(ゴミ、水、川など) 災害記事まとめ	社会、理科	
5 年	産業・福祉(ナス作り、福祉センター) 防災(地域ハザードマップの作成)	社会、理科 道徳、家庭科	
6 年	歴史(深溝松平氏・修学旅行の見学先) 防災(三河地震)	社会、理科 道徳	

7 その他特色ある活動

- ビオトープ……自然体験や環境教育の場として環境整備を行うとともに、メダカや草花の観察を進めるなど、学習場面での活用に向けて日常活動を行っている。水車小屋を自然エネルギーの活用を学ぶ場として、整備を押し進めている。
- ナスと米の栽培……地元の方を講師として招き、5年生が苗植えから収穫に至るまでの栽培活動を学んでいる。収穫したナスは豊坂小のナスと共に町内小中学校の給食の食材となっている。
- 福祉体験活動……盲導犬学習、車いす体験、手話講座、福祉施設訪問など、各学年の発達段階に応じて福祉について体験的に学ぶ機会を設け、福祉教育の充実を図っている。

8 P T Aの組織(役員・委員の名称及び人数)

会 長	……	1名
副 会 長	……	2名
書 記	……	2名
会 計	……	2名
会 計 監 査	……	2名
理 事	……	4名
地 区 委 員	……	17名
学 級 委 員	……	24名



ポンツク大会
(7月)



P T A親子活動
(9月)

豊坂小学校

校長 近藤 正義

所在地 幸田町大字野場字鶏島55番地 電話 62-1048 FAX 62-1807

E-mail toyosaka@town.kota.aichi.jp

〈校訓〉

さ と く
正 し く
すこやかに

〈校章〉

豊坂



〈豊坂小のすもう大会〉

1 教育方針

(1) 本校の教育目標

その子のよさを生かして、生きる力を身につけた、たくましい子どもを育成する

校訓	めざす子ども像
さ と く	学ぶ喜びを通して、確かな学力を身につけた子（知）
正 し く	思いやりの心もち、豊かな人間性を身につけた子（徳）
すこやかに	心身ともに健康で、基本的な生活習慣を身につけた子（体）

(2) 経営方針

- ア 知・徳・体のバランスのとれた発達をめざし、子どもの「生きる力」を育む。
- イ 特別な支援が必要な子どもに対しては、保護者と思いを共有して、子どもの特性に応じた適切な支援を推進する。
- ウ 子どもに寄り添った生徒指導を行い、特にいじめや不登校の予防、早期発見、早期対応に努める。
- エ 学校評価を適切に行って学校経営の改善に努めるとともに、家庭・地域に開かれ、ともに歩む学校経営を展開する。
- オ 安全教育や防災教育の見直しを常に行い、家庭・地域・学校が一体となって、子どもの安全を確保する。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 知恵づくり（知）
 - ・ 体験的な活動や問題解決的な学習を重視し、子どもの思考に即した授業を展開して、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせる。
 - ・ 少人数指導等による個に応じた指導やドリル学習の充実を図り、学習内容の着実な定着を図る。
 - ・ 朝の活動を中心に、読む・話す・聞く等の言語活動を充実させ、表現力の育成を図る。
 - ・ 発達段階にふさわしいキャリア教育を推進し、自分らしい生き方を実現させる力を育成する。
 - ・ 学力や学習状況を的確に把握して分析し、授業改善に生かす。
- イ 心づくり（徳）
 - ・ 認め合い、学び合う人間関係づくりを通して、「自己有用感」を体得させる。
 - ・ 福祉活動や栽培活動、環境教育等を通して、感動を味わい、生きることの楽しさを体感させる。
 - ・ 読書時間の確保や読み聞かせ活動との連携等を通して、読書への意欲を高め、子どもの豊かな感性を育む。

ウ 体づくり (体)

- ・ 食育活動を中心に、基本的な生活習慣の確立を図り、自己の健康を育む力を高める。
- ・ 駆け足やなわとびの体力チャレンジ等を通して、自らの体力を自ら高める意識を育てる。
- ・ 相撲大会、マラソン大会等の伝統行事を通して、たくましく生きる力の増進を図るとともに、地域と連携して運動に親しむ意欲を高める。

2 現職研修の研究課題・研究分野

学習指導要領の主旨を踏まえ、「生きる力」に必要な「自己有用感」をもたせるために、研究主題を「自己有用感をもち、たくましく生きる子の育成」として研究に取り組む。特に、各教科・道徳・特別活動・とよさかタイム（総合的な学習）において、授業展開の工夫や教師支援のあり方に視点をあてた実践的な研究を行う。

また、確かな学級経営を基盤とした、「共に認め合う学び合い」の場を重視し、友達によさに気づいたり、互いに学び合ったりできるような教師支援のあり方について探る。

3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主任)	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	15	1	1	1	0	2	2 (1)	1	1	(1)	(1)	28

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
人数	62	59	63	61	54	69	4	372
実家庭数	27	35	40	41	51	67	2	263

5 クラブ活動の編制状況

(1) 運動系

名称	球技	室内球技A	室内球技B	伝承遊び
人数	27	21	21	21

(2) 文化系

名称	家庭科	ハンドメイド	工作	絵画	音楽
人数	26	21	23	15	11

6 教育課程・日課編成上の特色

<朝の会>

朝の会を30分確保し、今月の歌・読書・健康観察・スピーチ・ドリル等を行い、子ども同士のかかわり合いの基盤づくりの場とする。

<スピーチ>

朝の会の中で15分間行う。「聞く」「話す」等の基礎的な言語力をつけ、授業でのかかわり合いに生かしたり、子どもの表現力を高めたりすることを目標にしている。

<体力チャレンジ(第2時と第3時の業間)>

「相撲大会」「なわとび大会」に向けての技術向上や、「校内マラソン大会」に向けての体力づくりをめざして活動する。異学年間のふれあいを大切にしたい場でもある。

<とよさかタイム（総合的な学習）>

子どもが地域・自然・社会とかがわる大切な時間と位置づけている。

学年	主な活動内容（テーマとのつながり）	他教科等との関連
3年	ナスを育てよう（自然・環境）	国語・社会・理科
4年	かがやく命（環境・福祉）	国語・社会・理科
5年	わたしのお米を育てよう（自然・共生）	国語・社会・理科・家庭科
6年	豊坂ナスを育て地域の味を広めよう（福祉・共生・自然）	国語・道徳・図工・家庭科・社会

<縦割り活動>

全校を24班に分け、6年生を班長として、1年生から6年生までの15～16名で1班をつくる。毎日のそうじをはじめとした諸活動で互いのかかわりを深める。

<児童会活動>

4～6年生が代表委員会を中心とし、9つの委員会に分かれて活動する。子ども自らが学校生活上の問題改善に向けて自主的に取り組むことで、子どもの自浄力・自治活動力を育てる。

7 その他の特色ある活動

<ナスの栽培>

学級園でナスの栽培を始めて今年で14年目になる。地域の方を講師に招き、3・6年生を中心に苗植えから栽培、収穫までを行っている。収穫したナスは給食センターに運び、町内小中学校の給食の食材としていただいている。

<読み聞かせ（てんとう虫の会）>

毎週木曜日に、本校の保護者によるボランティア「てんとう虫の会」によって全学年で読み聞かせを行っている。また、1年生は月に1回、じっくり本に親しむ「ほんほんタイム」を実施している。

<親子観劇会>

学区コミュニティとの共催で行っている。地域が育む心の教育の場をねらいとして、小学校の児童・保護者、地域の方々が参加して観劇している。

<相撲大会>

26代木村庄之助の出身がこの豊坂学区であったことと、もともと相撲熱が高かったことから、昭和57年に土俵がつくられた。これを利用して毎年、9月～10月に相撲大会を行っている。学区全体に参観を呼びかけているので、お年寄りの参観も多い。

<ビオトープ>

本校は、昭和52年に「豊坂みどりの少年団」を結成して以来、自然を大切に活動活動を続けている。14年前に、地区の多くの方の協力を得て完成した本校のビオトープは、植物や生き物などの自然にふれあう憩いの場になっている。ビオトープを生活科・社会・理科・総合的な学習などで活用し、ESD（持続発展教育）の充実に努めたい。

8 P T Aの組織（役員・委員の名称及び人数）

[P T A 役員]				[P T A 委員会]	
会 長	1 名	会 計 監 査	2 名	総務委員会	10名
副 会 長	2 名	母 親 代 表	2 名	広報委員会	8 名
書 記	2 名	幹 事	14名	環境委員会	17名
会 計	2 名			保健委員会	8 名
				教養委員会	8 名

幸 田 中 学 校

校長 伊 藤 映 充

所在地 幸田町大字菱池字黒方19番地 電話 62-0043 FAX 62-0210

E-mail kotajh@town.kota.aichi.jp

校訓

ほがらかに
清 潔 に
よ く 考 え
よ く 働 く

校章

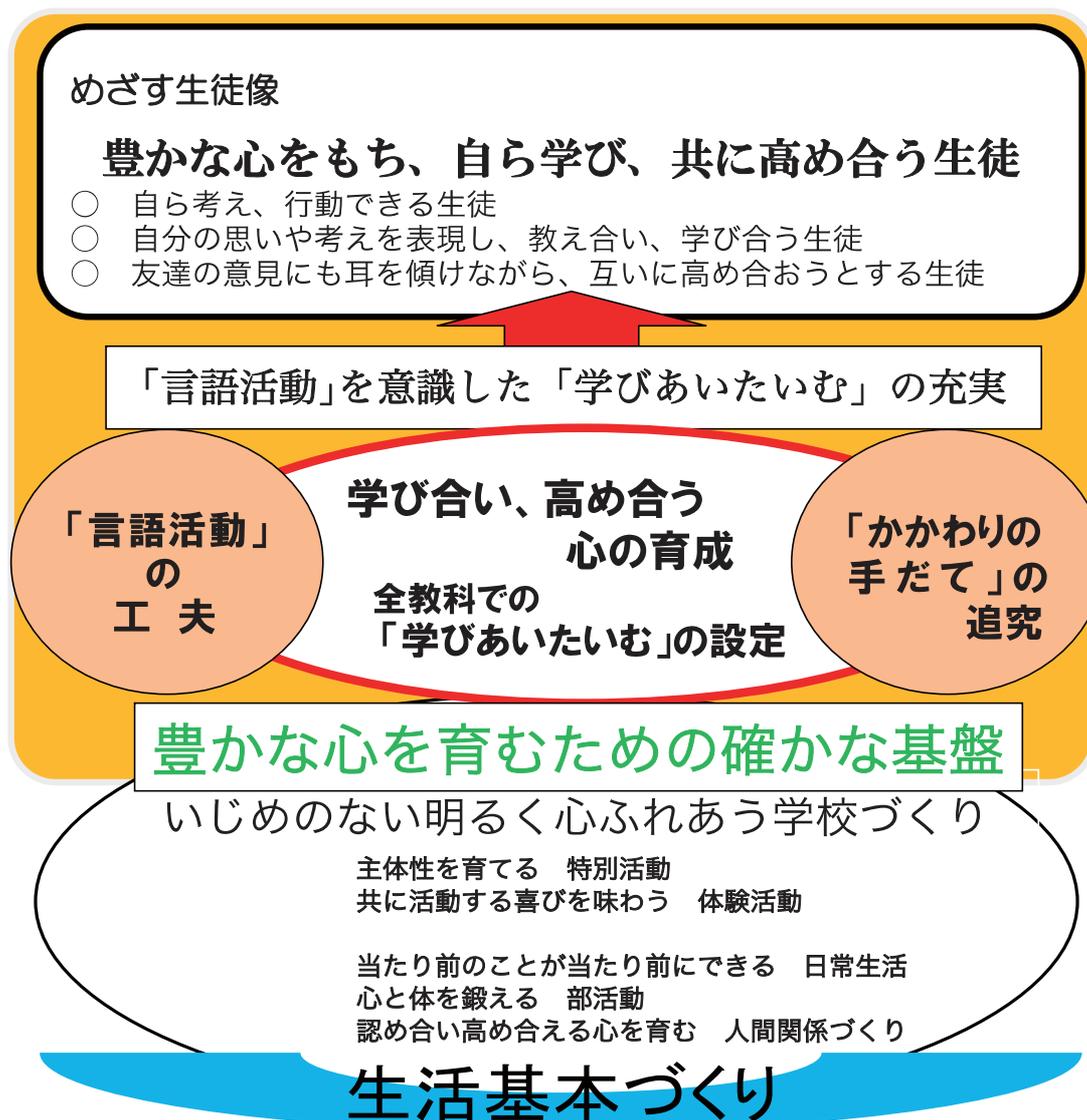


心響き合う幸中（岡幸大会激励会）

1 教育方針

- (1) 教育目標 「文武両道～知・徳・体 調和のとれた生徒の育成～」一心響き合う幸中一
- 知
 - ・基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。
 - ・自己の課題を設定し、解決する力の育成に努める。
 - 徳
 - ・自らを律しつつ、礼節を重んじる態度の育成に努める。
 - ・他を思いやる心、人権を尊重する心、美しいものや自然に感動する心、公共に尽くそうとする心の育成に努める。
 - 体
 - ・自他のいのちを大切にし、運動に励み、勤労を重んじる態度の育成に努める。
 - ・生涯を通じて、健康・安全で活力ある生活を送ろうとする態度の育成に努める。
- (2) 本年度の重点努力目標
- ア 確かな学力の定着をめざす 学習指導
 - ・友達と学びを高め合う「言語活動を意識した『学びあいたいむ』」の充実
 - ・「聞く力」「書く力」「話す力」の向上を図る授業づくり
 - ・学習習慣を身につける家庭学習の充実
 - イ 心と体を鍛える部活動
 - ・所属感、連帯感のあるチーム・仲間づくり
 - ・達成感、成就感を味わえる目標設定
 - ・確かな技術・技能の習得をめざす活動
 - ウ 主体性を育てる特別活動
 - ・生徒の手による月曜集会の企画・運営
 - ・学年を超えた一体感のある縦割り団活動
 - ・学校生活の活性化を図る生徒会活動
 - エ 豊かな心を育む活動
 - ・心響き合う全校合唱・ダンス、学年・学校行事
 - ・心を耕す「朝の読書」と「幸中生に贈る111冊」の活用
 - ・「すてきハート」を育むあいさつの実践と充実
 - オ 当たり前のことが当たり前に見える日常
 - ・生活基本七訓を心がけた規律正しい日常生活
 - ・学校を休まない健やかな心と体
 - ・いじめのない明るく心ふれあう学級・学年・学校生活
 - カ 家庭と地域に開かれた学校
 - ・地域との繋がりを深める「花いっぱい運動」と委員会活動
 - ・心を通わすあいさつ・ふれあい・ボランティア活動
 - ・情報を分かりやすく伝える学校だよりやホームページ
 - キ 教員の力量を高める現職教育
 - ・教育への見識を高め、指導技術を磨き、教員の資質を高める授業研究の推進
 - ・特別支援を必要とする生徒への理解と適切な対応への共通理解
 - ・いじめ防止、安全・防災・キャリア教育等への研修及び推進

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	総括事務長	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	全教職員
人数	1	1	1	0	1	1	26	1	0	0	3	2 (2)	1	0	1	(1)	39

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	6	5	5	2	18
人数	193	192	193	6	584
実家庭数	138	185	192	5	520

5 部活動等の編制状況

(1) 運動系

名 称	野 球	ソフトボール	テニス	卓 球	バレーボール	バスケットボール	剣 道	弓 道
人 数	46	23	50	70	74	61	41	95

(2) 文化系

名 称	科 学	吹奏楽	工 芸
人 数	37	70	17

6 教育課程・日課編成上の特色

(1) 3Tタイム

総合的な学習の時間をその活動内容や目標をイメージでき、親しみやすいように「3Tタイム」と名付けて取り組んでいる。3Tとは「Theme」「Together」「Technique」の頭文字をとったもので、自らテーマを設定し、共同で学び方を学習するという意味である。1年生では「環境・福祉」を、2年生では「生き方」を、3年生では「防災」を中心に、福祉・生き方・防災の3つの分野について、ESD（持続発展教育）の視点も加えた単元構想を考え、追究を深め、学習成果を発表し、発信する機会を積極的に取り入れていく計画である。

(2) 学校と家庭・地域を結ぶ活動

ア 「学校の方針を示す」取り組み

本年度の教育目標、重点努力目標とその活動の目的や内容、年間活動計画について掲載した『幸中カレンダー』を年度始めに生徒の家庭や学区の関係者に配布し、基本的な学校の方針についての共通理解を図る。

イ 「学校から発信する」取り組み

『月報幸中タイムズ』を毎月1回発行し、学校生活の様子を家庭や地域に発信する。また、ホームページの更新回数を増やし、内容の充実を図るなど、積極的な情報発信に努める。

ウ 「学校を開く」取り組み

「学校公開の日・授業参観日」を設定し、生徒が学校生活をどのように送っているか、直接生徒の姿を見ていただく機会を増やす。教科等の授業公開（4月・6月・11月・2月）、部活動の公開（5月）、校内体育大会（9月）、文化祭（10月）の7回を平日や土曜日に開催し、保護者や地域の関係者に公開する。

エ 「学校と共に活動する」取り組み

生徒の安全確保のために、学校と家庭・地域が一体となった安全対策を推進する。また、地域や保護者の声を生かす「学校診断」を実施し、教育活動の改善を図る。

7 P T Aの組織（役員・委員の名称及び人数・教職員数を含む）

会 長	1名	—	会員研修委員会	15名
副 会 長	2名		保健体育委員会	16名
書 記	3名		校外補導委員会	15名
会 計	3名			
会 計 監 査	2名			
母 親 代 表	2名			

南 部 中 学 校

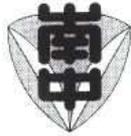
校長 丹 羽 雅 英

所在地 幸田町大字深溝字舟山5番地5

電話 62-6811 FAX 62-6990

E-mail nanbujh@town.kota.aichi.jp

校 章



校 訓

鍛 磨
探 究
友 情



南中ソーラン



平成26年度生徒会スローガン発表

1 教育方針

教育目標 「人間味があり、たくましく生きぬくことのできる生徒の育成」

開校精神 「やりぬく心」

めざす生徒像

一流の南中生

自ら進んで 全員で
声を出し 知恵を出し 汗を出して やりぬく南中生

(1) 経営方針

本校の教育の伝統を継承するとともに、新学習指導要領の趣旨をふまえ、よりいっそうの人間教育の充実をめざす。

- ①校訓「鍛磨・探究・友情」のもと、開校精神「やりぬく心」を念頭に、知・徳・体の調和のとれた人格形成と生涯学習の基礎づくりに努める。
- ②南中「確かな日常」をもとに、日々の生活の積み重ね、学校生活の基盤づくりに努める。
- ③基礎・基本の確実な定着、個性の伸長を図り、「生きる力」の育成に努める。
- ④教職員の資質向上を図り、「思いやりと活力に満ちあふれた学校」づくりに一丸となって努力する教師集団をめざす。
- ⑤家庭・地域との連携のもと、安全・防災教育を推進し、生徒の安全確保に努める。

(2) 重点努力目標

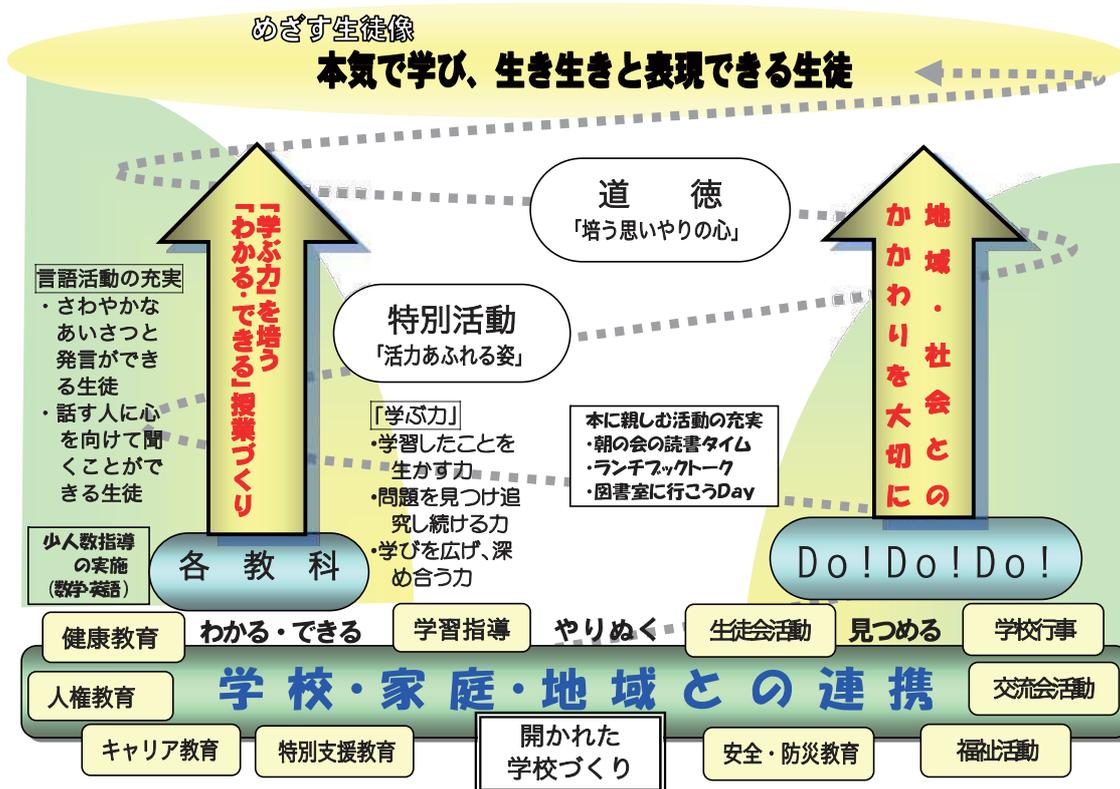
- ①学びをみがき、確かな学力の育成に努める
 - ・一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導を展開し、基礎学力の定着を図る。
 - ・感動ある体験的な学習や問題解決的な学習を重視した学習活動を展開する。
 - ・教師の力量を高め、授業力向上を図るとともに「わかる・できる」授業づくりをめざす。
 - ・生徒の「読む」「聞く」「書く」「話す」力を高め、学ぶ力の基礎を築く。
- ②心をみがき、人間性豊かな生徒の育成に努める
 - ・「あいさつ・福祉・歌声」を柱にした生徒会活動の充実を図る。
 - ・委員会活動を中心に読書活動の充実を努め、本に親しむ態度や読書習慣を身につけさせる。
 - ・保護者との連携を図りながら、情報モラル教育の推進を図る。
 - ・生徒理解に努め、個性の伸長を図るとともに、思いやりの心を育む道德教育を推進する。
- ③健康や体力をみがき、たくましく生きる生徒の育成に努める
 - ・特別活動や部活動を通して、互いに協力する態度ややりぬく強さを育てる。
 - ・食育をはじめ健康教育を推進し、健康な心身をつくるための望ましい生活習慣を形成する。
 - ・いじめ、不登校、問題行動の早期発見、早期対応に努め、相談活動の充実を図る。
- ④生き方をみがき、キャリア教育の充実を努める
 - ・望ましい勤労観や職業観を育成し組織的、系統的なキャリア教育を推進する。
 - ・生徒一人一人の将来を見据えた進路相談活動や職場体験活動などの充実を図る。
 - ・生徒が自分の将来への夢を抱き、進路について主体的に自己決定できるように指導する。

- ⑤地域とともに歩む開かれた学校づくりを推進する
- ・地域の方とのふれあいを大切にした交流会活動や福祉活動等の教育活動を推進する。
 - ・安全・防災教育を見直しながら、家庭や地域と一体となって生徒の安全確保に努める。
 - ・授業や部活動等の終日公開、ホームページや通信、学校新聞等を通して、本校の取り組みを紹介し、家庭や地域の理解を得ていく。
 - ・教育活動の評価を適切に行い、常に学校経営の見直しや改善を図る。

2 現職教育の研究課題・研究分野

研究主題 「本気で学び、生き生きと表現できる生徒の育成」

～「学ぶ力」を培う「わかる・できる」授業づくりを核として～



3 教職員構成

名称	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	事務職員(主査)	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	0	1	1	12	1	0	1	0	2	1 (2)	1	0	1	(1)	23

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	特別支援	計
学級数	2	2	2	2	8
人数	69	73	60	6	208
実家庭数	60	70	60	5	195

5 部活動の編制状況

H26.5.8 現在

名称	野球	卓球	バレーボール	剣道	弓道	弦楽	科学	工芸
人数	35	51	16	24	37	27	13	5

6 特色ある活動

○生徒会活動 《 突き進め! 「一流」への道 自ら輝け! 208の声 》

自分から、208名全員で本気で一流の中学生をめざす

- ・これまでの取り組みをさらに質の高い活動にしてめざす活気あふれる学校

◇あいさつ

- ・心を開きあうあいさつ運動 ・地域の人々とのあいさつによる心のつながり

◇福祉

- ・「ちょボラ募金」「アルミ缶回収運動」「エコキャップ回収運動」……各方面への援助活動

◇歌声

- ・さわやか歌声タイム……朝の会・帰りの会、各集会等での歌声
- ・南中祭（合唱コンクール）や交流会等での歌声活動…地域へのさわやかな歌声の発信

○交流会活動（年4回計画）

- ・地域から講師の先生を招き、全校生徒が共通の目的や関心をもって自主的に参加する活動
- ・地域の方々から文化だけではなく『生き方』についても学ぶ活動
ハンドクラフト・ゲートボール・陶芸
将棋・粘土・和太鼓・茶道・華道
ぞうり作り・ちぎり絵・福祉スポーツ
手話 ※12講座実施予定

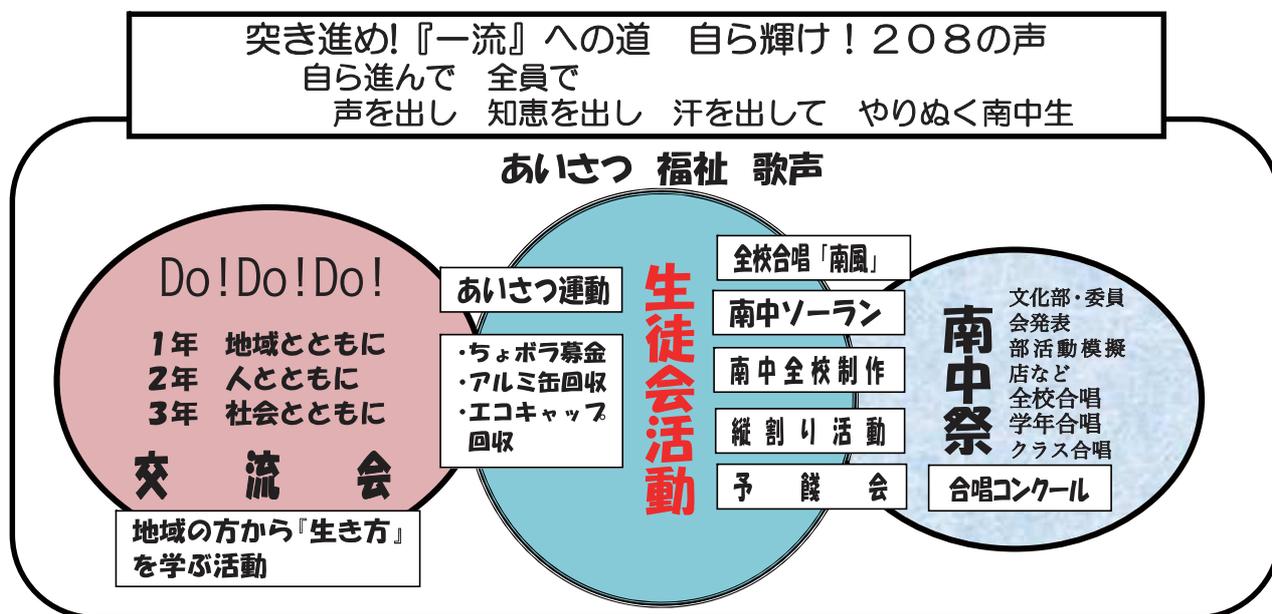
た 高らかに 歌声を響かせよう
し 真剣に 清掃をしよう
か 固い絆をつくる 温かい言葉遣いをしよう
な 南中生らしい 身なりをしよう
に にこやかな あいさつと返事をしよう
ち チェックして 忘れ物をしないようにしよう
じ 時間を守って チャイムスタートをしよう
よ よく話を聞き 考えを伝え合おう
う 動き出すぞ! 南中

○南中「確かな日常」

- ・日々の生活や学習を大切に、勢いのある、温かな「南風」を吹かす活動

○総合的な学習の時間（Do!Do!Do!）テーマ「ともに生きる」

- ・自ら計画を立てて、主体的に課題を追究し、納得のいくまで学習をやり遂げる活動
- ・自分の学び方を工夫して仲間に伝え、学びを生かし、自己の生き方を考えさせる活動



7 PTAの組織（役員・委員会の名称及び人数）

〔PTA役員会〕				〔PTA委員会〕	
会 長	1名	副 会 長	3名	会 員 研 修 委 員 会	9名
書 記	3名	会 計	3名	生 徒 育 成 委 員 会	8名
会 計 監 査	2名	母 親 代 表	2名	安 全 福 祉 厚 生 委 員 会	8名

校訓

志を高く
学 び
修 め て
健やかに

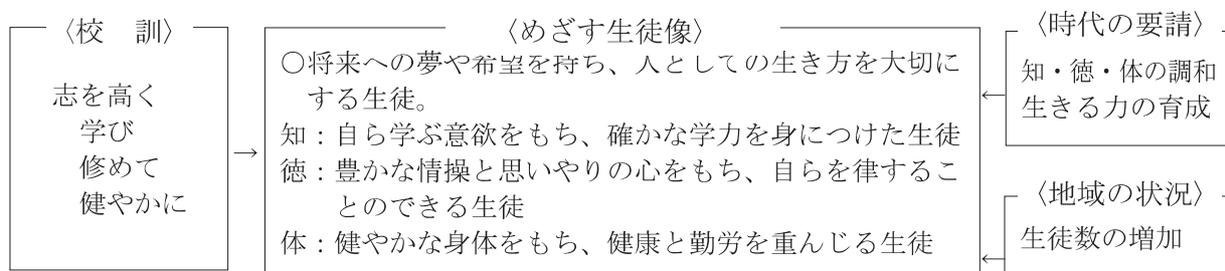
校章



新入生歓迎レクの応援より

1 教育方針

(1) 教育目標



↓

教育目標：知・徳・体の調和のとれた、向上心あふれる生徒の育成
キャッチフレーズ：「今日より、明日」

(2) 経営方針

- 信頼を基盤とし、生徒と教職員が高め合える学校づくり
 - ア 生徒が行きたくなる学校
 - イ 家庭・地域と共に歩む学校
 - ウ 教職員にとって、やりがいのある学校
- 「確かな日常」を確立するなかで、生徒の力を引き出す学校運営
 - ア 取り組みの過程を重視する。
* 努力の過程を加点評価し、ある程度の失敗は容認しつつ生徒の成長を待つ。
 - イ 日常生活での努力の積み重ねを重視する。
 - ウ 生徒自らの力を生かす。
* 「生徒訓」や「生徒会の柱」を全面に押し出し、生徒自らの力で学校生活が向上できるよう積極的に支援する。
 - エ 教えることと考えさせることを区別し、結果を見届ける。

(3) 本年度の重点努力目標

- ア 確かな学力を育む学習指導の充実
 - ・ 生徒の思考に沿った単元構想や連続性に配慮した授業展開に心がけ、問題解決能力や思考力の向上を図る。
 - ・ ドリル学習、習熟度別学習等を効果的に取り入れるとともに、定着度合を確認し、基礎・基本の確実な定着を図る。
- イ 豊かな心を育む活動の充実
 - ・ 生徒の心に響く体験活動を計画的に展開し、豊かな情操を養う。
 - ・ 学級・学年が心をつなげて取り組む活動を重視し、仲間意識を育てる。
 - ・ 生徒訓（スローガン）や生徒会3本柱を中心に据えた生徒会活動の充実を図るとともに、生徒会役員と1～3年の正副学級委員長が共に考える機会（リーダー会）を積極的に設け、生徒自らの力で学校の改善を図る機運を高めるとともに自主性を養う。
 - ・ 生徒会との連携を図りながら、生徒の心に働きかける積極的な生徒指導を展開して、生徒の自治意識を高める。

ウ 健やかな身体を育む活動の充実

- ・食育や健康教育の充実を図り、自らの健康への関心を高める。
- ・生徒増を踏まえ、部活動の新設（H27）を検討する。

エ いじめや不登校に対する指導の充実

- ・いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止に努める。
- ・スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、不登校対策に努める。特に、一人目の不登校生徒を出さないよう迅速な初期対応に心がける。

オ 特別な支援を要する生徒への指導の充実

- ・新たに配置された町の通級指導教員との連携を図る。
- ・みあい特別支援学校との連携を図り、指導方法の向上を図る。

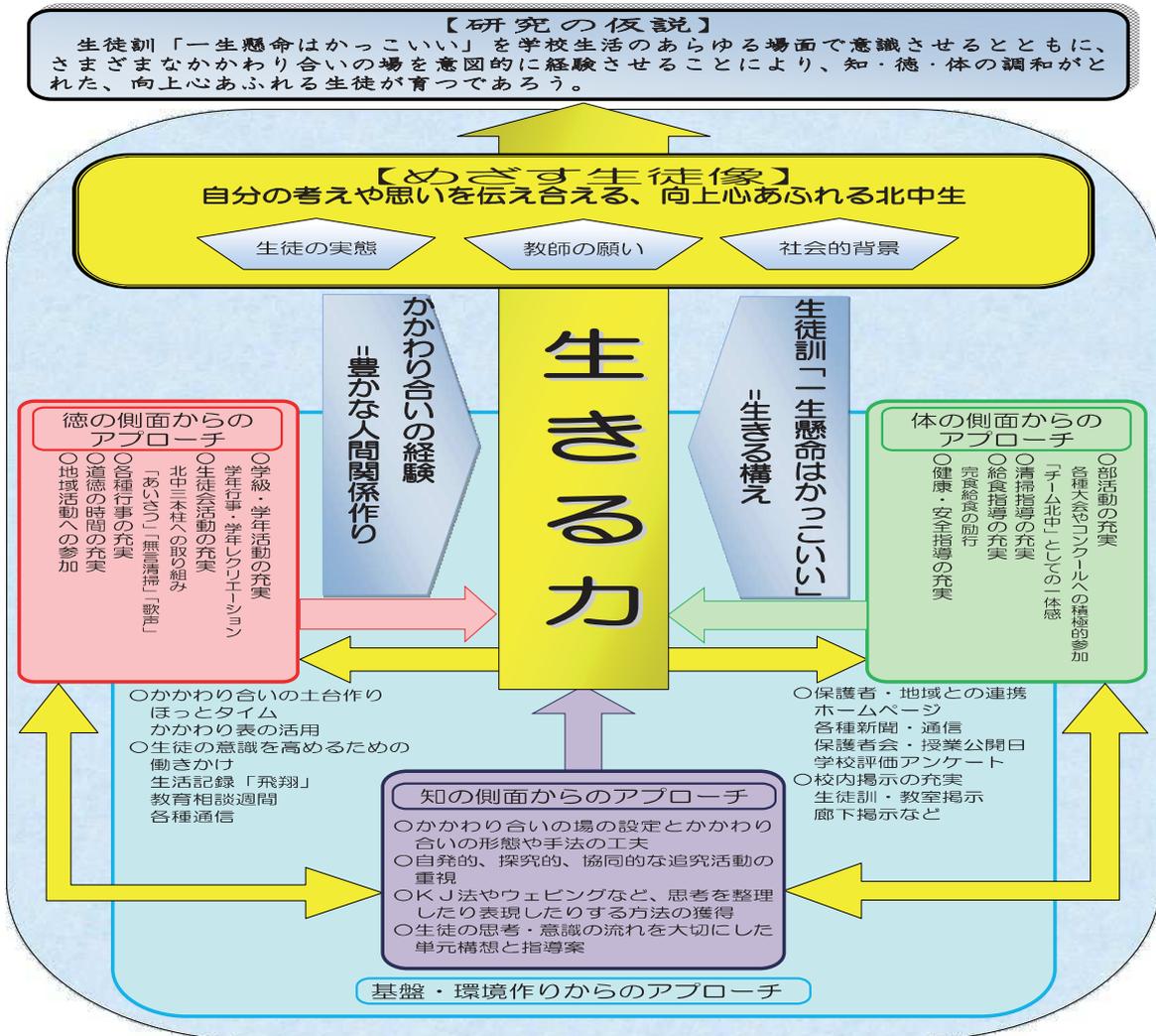
カ 安全の確保

- ・常に生徒の安全を第一に考え、地震・火災・不審者に対する避難訓練を行う。特に地震発生時には、必要に応じて幸田高校への二次避難を行う。

キ 家庭地域との連携

- ・教育活動説明会や学校評価アンケートを行い、家庭・地域の考えを学校運営に反映させる。
- ・学校新聞・PTA新聞・学年通信・保健だより・学級通信・ホームページ・緊急メール等を活用し、保護者・地域への情報発信を行う。

2 現職教育の研究課題・研究分野



3 教職員構成

名称	校長	教頭	総括事務長	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師	養護教諭	栄養教諭	任期付任用	県費非常勤	町費非常勤	用務員	介助員	Sカウンセラー	図書館指導員	教職員計
人数	1	1	1	0	1	1	19	1	0	0	3	1(1)	1	0	1	(1)	31

4 学級編制状況

学 年	1 年	2 年	3 年	特別支援	計
学 級 数	4	4	3	2	13
人 数	135	132	121	6	388
実家庭数	112	128	120	6	360

5 部活動の編制状況

名称	野 球	ソフトボール	ソフトテニス	卓 球	バレーボール		バスケットボール	剣 道	弓 道	吹奏楽	コンピュータ
	(男)	(女)	(女)	(男)	(男)	(女)	(女)	(男・女)	(男)	(男・女)	(男・女)
人数	43	20	41	38	35	24	17	23・15	39	16・50	12・15

6 教育課程の特色

(1) 総合的な学習の時間

ア 学校のテーマ 「未来をよりよく生きる力を身につけよう」

イ ねらい

- ・ 自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、よりよく課題を解決する資質や能力を育てることによって生きる力を培う。
- ・ 学び方やものの考え方を身につけ、課題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができる生徒を育てる。

ウ 各学年の内容

1年：「いろいろな人たちの生き方に学ぼう」 地域を中心に、様々な方面で活躍する方々から話を聞いたり、体験活動をしたりして、将来を見つめるきっかけ作りとする。

2年：「開け!明日への扉～職業・生き方～」 職場体験学習や、専門家や達人の話を聞く活動等を通して、その道で生きる人の姿や考えに学び、自分の生きる道を考える。

3年：「夢の手がかりをさがして」 修学旅行先で、見学や体験することで、将来に対する視野を広げ、今後の生き方を考える。(1学期)

学校生活や地域でのくらしを見つめ直し、学校や学区、幸田町のよりよいあり方について考える。(2～3学期)

(2) 地域講師さんから学ぶ

ア 「いろいろな人たちの生き方に学ぼう」

地域を中心に、様々な方面で活躍する方々から話を聞く。

イ 音楽の授業で、学年別に講師を招聘し、全学級で合唱力向上に努めていく。

ウ 総合的な学習の時間に講話を聞いたり、体験的な活動をしていく。

7 その他特色ある活動

ア 福祉活動

- ・ 生徒会の委員会を中心としてペットボトルのキャップを集め、ワクチンにかえて、発展途上国におくことで社会貢献の意識を養う。
- ・ 福祉施設へ訪問し、交流活動や奉仕活動をしていく。
- ・ 「こうた夏まつり」などの地域の行事に、ボランティアとして参加していく。

イ 読書に親しむ活動

- ・ 多目的ホールに図書館の分室(読書の森)を設置している。
- ・ 朝の会に読書タイムを設け、読書の習慣化を図っている。

ウ 学年の日

- ・ 1年に1回、学年ごとに内容を工夫し、終日をのびのびと活動させる。
- ・ 2年生は「立志ふるさとウォーク」を実施し、立志の会を行う。

エ 学校保健委員会活動

- ・ 各学年ごとに年間1回ずつ、外部講師を招聘して、生徒と保護者を対象にした保健学習会を開催する。

オ 生徒会縦割り活動

- ・ 生徒会や学年リーダー会の呼びかけで、異学年交流を深めていく。
- ・ 北中タイム、陸上大会、文化祭で交流する。

8 P T A の組織 (役員・委員の名称及びその人数)

[P T A 役員]

会 長	1名	副会長	2名
書 記	3名	会 計	3名
会計監査	2名	母 親 代 表	2名

[P T A 委員会]

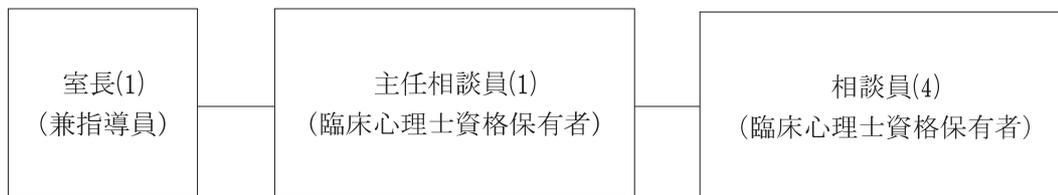
広 報 委 員 会	8名
研 修 委 員 会	8名
保 健 委 員 会	8名
生 活 委 員 会	8名

幸田町教育相談室・適応指導教室

1 設置目的

悩み等の相談及び助言並びに不登校で悩む児童生徒等に対する個々の状態に応じた指導を行うことにより、非行を防止し、集団生活に適応できるよう、自立や学校生活へ復帰及び援助を図る。

2 職員



※ () 数字は人数

3 活動時間

火曜日から金曜日と室長が別に定める土曜日の午前 10 時～午後 6 時

4 活動場所

幸田町大字菱池字黒方78番地 幸田町中央公民館

5 活動業務

- (1) 相談室での個別による助言及び指導に関する事。
- (2) 適応指導教室による適応指導に関する事。
- (3) 訪問又は訪問依頼等による個別の助言及び指導に関する事。
- (4) 不登校となる原因並びに問題の究明及び解消のための必要な措置に関する事。
- (5) 不登校の予防のための活動に関する事。
- (6) 相談内容に応じた関係学校との連絡調整及び関係機関の紹介等に関する事。
- (7) その他教育相談事業に関する事。

6 平成25年度の月別相談者数

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実数
小学生	22	25	31	32	47	21	39	27	30	29	29	39	371	52
中学生	37	38	43	45	22	55	63	49	39	46	45	24	506	12
保護者	小	14	19	13	19	22	24	15	27	21	28	36	268	78
	中	9	8	6	7	3	6	5	3	9	5	8	75	23
教員	17	17	13	14	6	13	15	8	8	9	10	10	140	26
その他	5	6	1	4	5	2	2	4	6	4	5	1	45	13
計	104	113	107	121	105	121	139	118	113	121	133	110	1405	204

地域に根ざした学校づくり事業

1 事業目的

本町の学校教育の指導方針及び各学校の経営方針に基づき、各学校の伝統、地域性、環境等の特殊性、独自性等を十分に考慮し、児童及び生徒の学習意欲の高揚及び心身の発達に寄与する事業を展開する。

2 平成25年度事業実績

学 校 名	事 業 内 容
坂 崎 小	テーマ 坂崎を愛する子どもの育成 学校生活や地域での活動を通して、ふるさと坂崎を愛する心をもった子どもを育てた。 ① 学区の里山整備活動に協力し、間伐材を利用して遊歩道に案内看板を設置した。 ② 米、野菜の栽培と調理を行い、感謝の気持ちを伝えた。 ③ 地域のお年寄り、保育園児、岡田病院の方々との交流を繰り返し行った。 ④ 学区の方を招いて、「夏祭り」「筆柿クリスマス」を開催した。 ⑤ 地域の方の指導のもと、環境学習を全校で推進した。
	テーマ 感性豊かな子どもの育成 ～体験活動を通して～ 体験活動を通して「豊かに感じ、考え、表現できる子」を育成した。 ① 「花いっぱい運動」を計画し、パンジーの「一人一鉢運動」を実施した。 ② 総合的な学習の時間に、菜の花からの搾油体験等に取り組んだ。 ③ 「ほなみ親の会」において、恒例となった「最明山登山」を実施した。 ④ 親子奉仕作業を充実させた。
中 央 小	テーマ ①中央小(学区)の自然や人々とふれあい、積極的に地域に貢献しよう ②伝統文化「三河万歳」「三州凧」「茶道」を継承しよう。 ① 学区の自然や地域の人々と交流を図る活動を展開した。 ・ 農産物の栽培活動に取り組み、地域の方から学んだ。 ・ 木材を利用してベンチを制作し、地域に寄贈した。 ② 伝統芸能継承のため、クラブ活動の時間に講師を招いて指導を受けた。 ・ 三河万歳クラブは、創立30周年記念の会を開催した。 ・ 凧クラブは町の凧揚げまつりに参加し、茶道クラブは愛知県茶会に参加した。
	テーマ 緑いっぱい 笑顔いっぱい 荻谷っ子 ① 地域の方や子どもたちが自然と触れ合う校内自然環境を整備し、充実させた。 ・ 校庭の芝生管理のための器具の整備。 ・ 校内の花壇やプランターでの花の栽培。 ・ 「荻谷の森」の整備。 ② 全校、地域に向けて、「荻谷っ子」の活動の様子を発信した。 ・ 掲示板の活用。
深 溝 小	テーマ 笑顔・元気・優しさあふれる深溝小児童の育成 ① たて割り、集会活動の充実 ・ 異年齢グループにおける人間関係を深め、高学年児童のリーダー性を養った。 ② 地域学習素材の整備 ・ 歴史学習、防災学習の効果を高めるために学習の機会を設定した。 ③ 教育環境の整備 ・ 芝生化、ビオトープ周辺整備および地域講師を招いてのナス栽培を実行した。

学 校 名	事 業 内 容
豊 坂 小	テーマ 見つけよう！豊坂小の宝物 体験活動を中心にした学習活動を展開した。 ① 地域を見つめる体験活動 ・ ナスや米の栽培。ナスを給食センターに提供。 ② 校内の環境をよりよくする活動 ・ 鉢花づくりや花壇等の整備。 ③ 子どもたち同士でよりよい演技や練習ができるための活動 ・ 講師の演技指導を受け、学芸会の場で発表した。
	テーマ 心響き合う「幸中すてきハート」を目指して ① 合唱コンクールのレベル向上をめざして、各学年一人ずつ講師を依頼した。 ・ どの学年も完成度の高い合唱を作り上げることができた。 ② 「すてきハート」づくりの一環として、全校生徒で「花いっぱい運動」に取り組んだ。 ③ 「幸中カレンダー」を作成し、各家庭・地域に配布し、生徒の健全育成に努めた。
南 部 中	テーマ 踏み出せ一歩「一流」への挑戦 ～豊かな感性を育み、自己のよりよい生き方を追求できる生徒の育成～ ① 交流会活動 ・ 地域の方々から多様な趣味と幅広い知識を学んだ。 ② 生き方講演会 ・ 腰塚勇人氏を招き「命の授業」の講話を聞いた。 ③ 南中祭 ・ 生徒会活動の柱として、合唱コンクールや学習活動の発表を行った。 ④ 地域活動の企画・参加 ・ 全校「心をはぐくむ俳句」講座を地域の方を講師に招いて開催した。
	テーマ 築こう「北中文化」～知・徳・体の調和のとれた生徒の育成～ ① 歌声の響く学校を目指し、全校で合唱に取り組んだ。 ・ 地域の講師を指導者として招聘し、各クラス・学年の合唱力を高めた。 ② 理科の出前授業で日本最先端の研究をしている先生から直接授業を受けた。 ③ たてわり活動、合唱コンクールを通し、生徒同士の団結を高めることができた。 ④ 学校の環境美化に努め、生き生きと活動できる環境を整えた。 ・ 地域の方から花の育て方を学んだ。

幸田町奨学金制度

1 目的

高等学校や専修学校等に在学し、心身が健全で且つ修学の意欲があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難なかたに対し、奨学金を支給することによって、教育の機会均等及び有能な人材を育成支援することを目的とする。

2 奨学金の額

月額 5,000 円（奨学金支給審査委員会による審査により支給を決定し、8月と10月に支給）

3 実績

	件 数	支 給 額
H 2 4	1 6	930,000 円
H 2 5	1 8	1,080,000 円

平成25年度 就学援助費受給者内訳表

1 学年別内訳

(平成26年3月31日現在) (人)

学校 \ 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
坂崎小	3	1	1	2	2		9
幸田小	4	5	9	7	9	9	43
中央小	9	3	4	5	9	5	35
荻谷小	2	6	1	6	1	5	21
深溝小	6	7	3	8	8	3	35
豊坂小	2	4	1	5	4	5	21
小学校計	26	26	19	33	33	27	164
幸田中	14	13	14				41
南部中	6	5	8				19
北部中	14	11	9				34
中学校計	34	29	31				94
						合計	258

2 申請理由別

(人)

学校 \ 申請番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
坂崎小			6			1			2	9
幸田小			6			31			6	43
中央小			19			9			7	35
荻谷小			10		2	7			2	21
深溝小	5		11		3	9			7	35
豊坂小			5		1	4			11	21
小学校計	5		57		6	61			35	164
幸田中			10		3	17			11	41
南部中	1		3			7			8	19
北部中	1		5		1	21			6	34
中学校計	2		18		4	45			25	94
									合計	258

母子家庭:196 その他:62

申請理由番号	1 生活保護	4 固定資産税減免	7 生活福祉資金貸付
	2 生活保護停止・解除	5 国民年金掛金等減免	8 職業安定所登録日雇労働者
	3 市町村民税非課税	6 児童扶養手当支給	9 その他(生活困窮)

3 新規・継続認定者／認定者世帯数

	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	幸田中	南部中	北部中	計
合計	9	43	35	21	35	21	41	19	34	258
新規	8	12	16	4	12	4	6	3	1	66
継続	1	31	19	17	23	17	35	16	33	192
世帯数	4	32	27	14	25	16	36	18	30	202
	小学校世帯:118		中学校世帯:84		全世帯数(小中全体)				202	

4 認定者累計／解除者数

(人)

	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	幸田中	南部中	北部中	計
認定者累計	9	44	36	22	35	21	44	19	35	265
解除者数		1	1	1			3		1	7

学 校 給 食

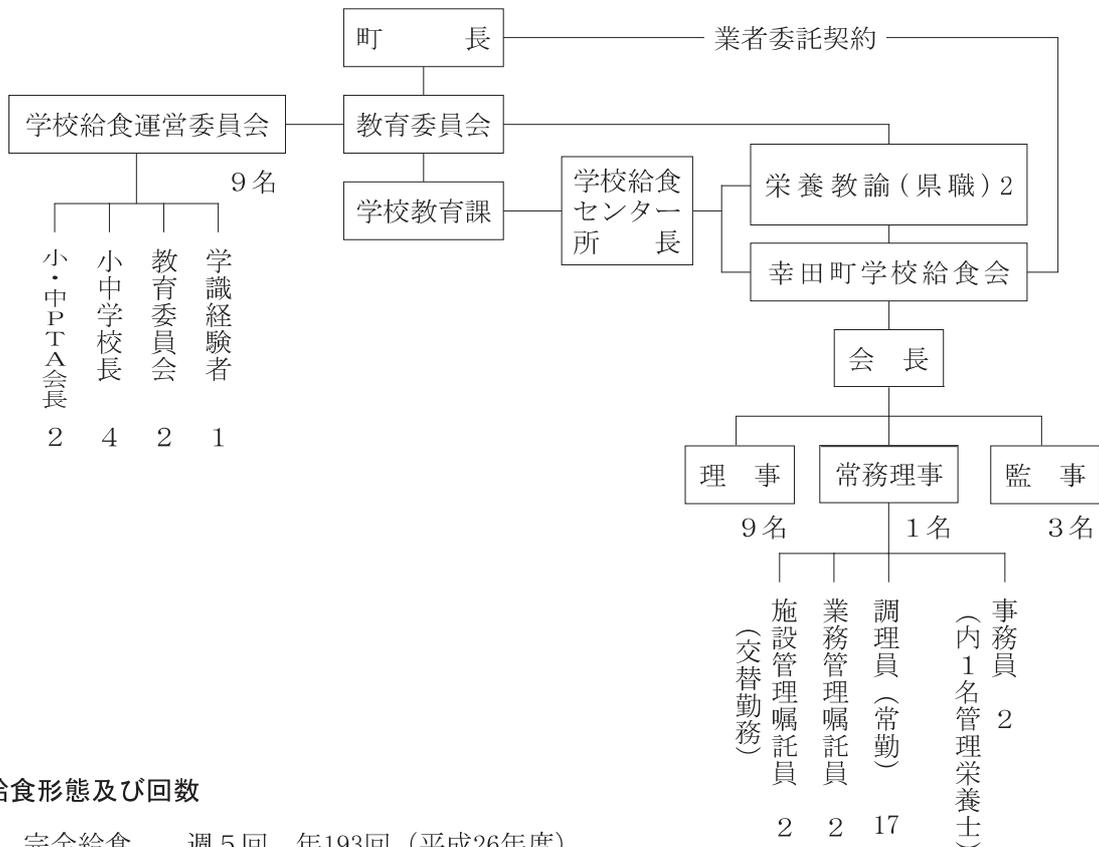
1 施設概要

名 称 幸田町学校給食センター
 所在地 〒444-0113 幸田町大字菱池字桜塚180番地
 電話62-6681
 開 設 平成21年 7月22日
 面 積 敷地 4,691,00m²
 建物、下水排水

種 別	構 造	面 積
本 館 棟	鉄骨造 2階建	2,404.37m ²
機 械 棟	鉄骨造平屋建	84.00m ²
駐 輪 棟	鉄骨造平屋建	14.14m ²
厨房除外排水		75.00m ² / 日
生ゴミ処理排水		9.00m ² / 日

給食能力 4,000食/日 (将来5,000食/日)
 配 送 2 t車 3台
 発電装置 太陽光発電設備 10.08kW/h

2 組 織



3 給食形態及び回数

完全給食 週5回 年193回 (平成26年度)
 (内 米飯給食 週3.5回程度)

- 4 運営目標 (1) 衛生管理の徹底
 (2) 給食多様化
 (3) 職員の資質向上
- 5 給食費 小学校 240円 (1食あたり) 中学校 270円 (1食あたり)
- 6 給食数 (平成26年5月1日現在)

	学校数	児童生徒数
小学校	6校	2,647人
中学校	3校	1,180人

○ 学校給食の推移

昭和 52年 4月	給食センター業務開始 小学校(5校)の共同調理
52年 9月	中学校(1校)の共同調理
53年 5月	小学校のみ弁当持参給食開始 実施日:(第2・第4水曜日)
53年 9月	中学校弁当持参給食開始 小中学校とも 実施日:(毎週水曜日)
53年 12月	弁当箱保温庫導入(小中学校各教室へ設置)
54年 5月	愛情弁当 週2回実施 実施日:(毎週水曜日・金曜日)
55年 4月	委託米飯実施 小学校のみ(6校) 実施日:(第2・第4火曜日)
55年 6月	中学校委託米飯開始 実施日:(第2・第4火曜日)
59年 4月	委託米飯 週1回実施(毎週火曜日)
平成 9年 3月	持参弁当廃止
9年 4月	委託米飯週3回実施(毎週火・木・金曜日)
21年 7月	新給食センター竣工式(業務開始)

○ 学校給食費の推移

年 月	給食単価 (円)	
	小学校	中学校
昭和 52年 4月	115	単独調理 135
52年 6月	120	
52年 9月	120	145
53年 5月	135	160
55年 10月	150	175
57年 4月	160	185
61年 4月	170	195
平成 5年 4月	200	230
11年 4月	220	250
21年 4月	240	270

平成 26 年度 幸田町学校給食 主食別実施計画表

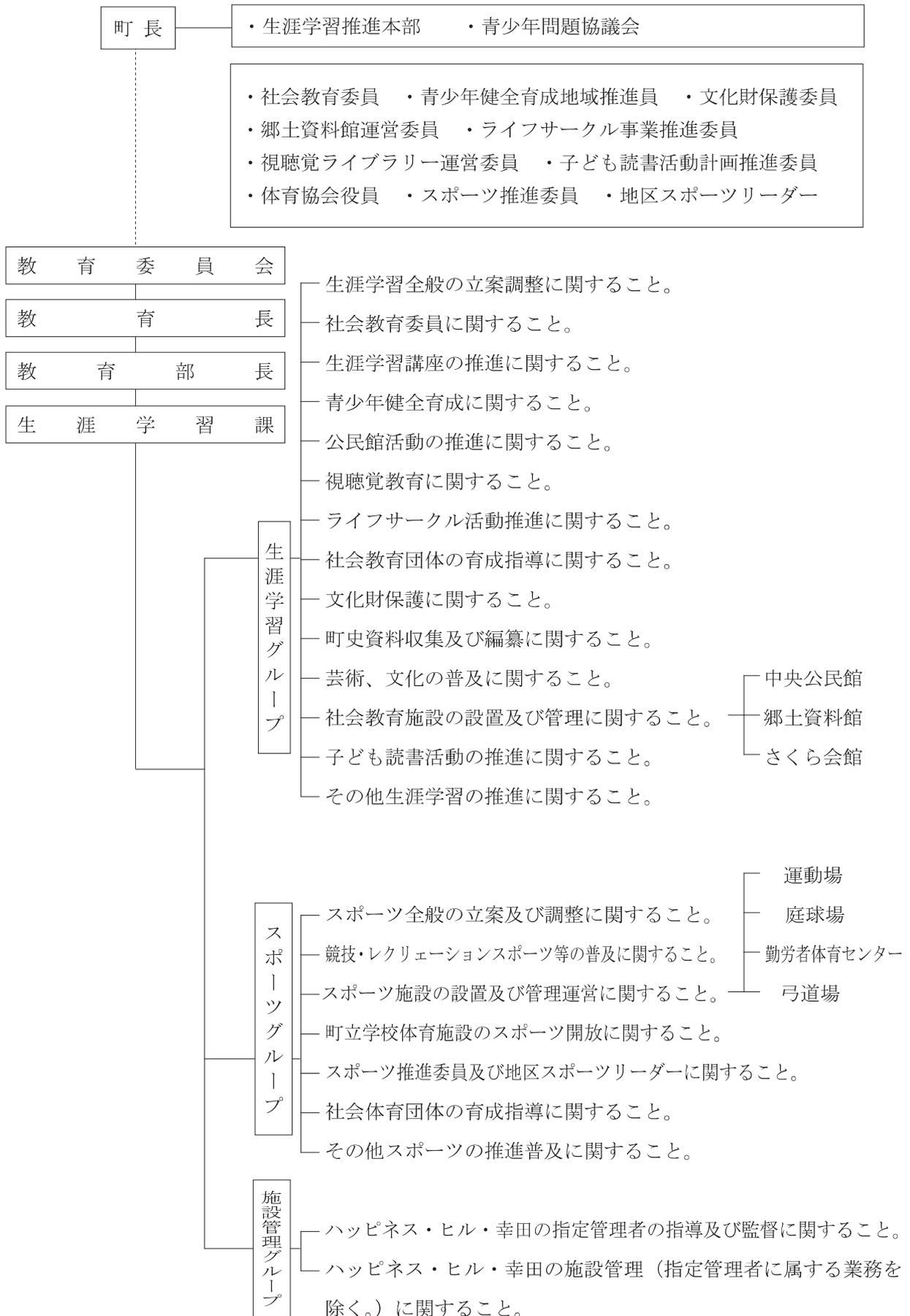
幸田町学校給食センター

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
4月								Ⓢ 白飯	クロスロール 飯	白飯	白飯			ミルクロール 飯	白飯	白飯	白飯	白飯		スライスパン 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯			サンドロール		白玉うどん		16		
5月	白飯	白飯					黒ロールパン 飯	白飯	麦飯			小型ロール 飯	白飯	ソフトめん 飯	白飯	麦飯			サンドパンズ 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯			バターロール 飯	ソフトめん 飯	白飯	麦飯		20		
6月		ミルクロール 飯	白飯	白玉うどん 飯	白飯	麦飯			スライスパン 飯	白飯	わかめ飯	白飯	麦飯			サンドロール 飯	白飯	ソフトめん 飯		麦飯			小型ロール 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯			黒ロールパン		21	
7月	白飯	白飯	白飯	白飯			白飯	ソフトめん 飯	白飯	白飯	白飯			クロワッサン 飯	白飯	中華めん 飯	白飯															13	
9月			サンドパンズ 飯	白飯	白飯			スライスパン 飯	白飯	中華めん 飯	白飯	白飯				白飯	小型ロール 飯	白飯	麦飯			スライスパン 飯		ソフトめん 飯	白飯	麦飯			バターロール 飯	白飯		18	
10月	白飯	白飯	麦飯			黒ロールパン 飯	白飯	ソフトめん 飯	白飯	麦飯				白飯	白飯	白飯	麦飯			ミルクロール 飯	白飯	白玉うどん 飯	白飯	麦飯			りんごパン 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯	22	
11月				白飯	バターロール 飯	白飯	麦飯			ツイストロール 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯			小型ロール 飯	白飯	ソフトめん 飯	白飯	麦飯				白飯	白飯	白飯	麦飯				18	
12月	黒ロールパン 飯	白飯	ソフトめん 飯	白飯	麦飯			サンドロール 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯			ミルクロール 飯	白飯	白玉うどん 飯	白飯	白飯	白飯													15
1月									白飯				白飯	ソフトめん 飯	白飯	麦飯			サンドパンズ 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯			あいの米粉パン 飯	白飯	きしめん 飯	白飯	麦飯	15		
2月		ミルクロール 飯	白飯	わかめ飯	白飯	麦飯			スライスパン 飯	白飯	白飯	麦飯				小型ロール 飯	白飯	白玉うどん 飯	白飯	白飯	麦飯			黒ロールパン 飯	白飯	中華めん 飯	白飯	麦飯				19	
3月		白飯	白飯	赤飯	白飯	麦飯			サンドロール 飯	白飯	ソフトめん 飯	白飯	麦飯			クロスロール 飯	白飯	白飯	白飯	麦飯			白飯									16	
備考	主食別回数 米飯……………137回 (米飯実施率 71%) パン…………… 37回 ソフトめん…… 10回 白玉うどん…… 5回 中華めん………… 3回 きしめん………… 1回 給食予定実施回数 193回																																

平成25年度 栄養摂取状況（喫食前）

小学校	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン				食物繊維 g	食塩 g	中学校	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄分 mg	ビタミン				食物繊維 g	食塩 g
						A μg	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg									A μg	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg		
4月	664	26.2	16.1	396	4.0	401	0.48	0.52	31	5.7	2.7	4月	849	31.8	23.5	441	5.4	496	0.68	0.58	37	7.4	3.3
5月	672	27.1	20.9	371	3.2	358	0.51	0.53	28	5.0	2.7	5月	853	32.7	24.0	412	4.2	413	0.68	0.74	33	6.3	3.2
6月	642	26.1	19.2	366	3.3	239	0.48	0.50	28	6.2	2.6	6月	832	31.8	23.0	442	4.8	277	0.66	0.58	31	7.6	3.1
7月	667	25.5	21.2	353	2.8	224	0.49	0.51	32	4.9	2.6	7月	850	30.9	24.9	407	3.8	249	0.66	0.81	35	6.0	3.1
9月	658	25.7	20.2	356	3.2	233	0.45	0.49	31	5.5	2.5	9月	858	31.6	24.2	407	4.3	271	0.62	0.74	33	6.9	3.0
10月	658	26.0	19.7	369	3.5	359	0.53	0.53	27	5.5	2.6	10月	850	31.6	22.8	415	4.7	421	0.71	0.74	33	6.9	3.0
11月	648	25.2	20.7	352	3.1	291	0.48	0.49	22	5.2	2.2	11月	836	30.7	24.0	410	4.5	451	0.66	0.55	33	6.8	2.6
12月	636	25.7	19.2	361	3.6	414	0.46	0.52	26	5.2	2.3	12月	823	31.4	22.9	416	4.9	486	0.63	0.58	31	6.4	2.8
1月	673	27.6	20.3	398	3.0	217	0.50	0.49	21	5.2	2.5	1月	848	32.9	23.0	435	4.0	242	0.67	0.74	33	6.4	3.0
2月	668	26.9	20.7	373	3.1	266	0.47	0.53	31	5.9	2.6	2月	846	32.3	23.7	412	4.0	309	0.63	0.59	33	7.2	3.1
3月	653	26.2	19.4	387	4.1	196	0.44	0.50	29	5.2	2.6	3月	833	31.2	22.1	417	5.1	223	0.60	0.55	33	6.4	3.1
合計	7239	288.2	217.6	4082	36.9	3198	5.29	5.61	306	59.5	27.9	合計	9278	348.9	258.1	4614	49.7	3838	7.20	7.20	365	74.3	33.3
平均	658	26.2	19.8 27.1%	371	3.4	291	0.48	0.51	28	5.4	2.5	平均	843	31.7	23.5 25.0%	419	4.5	349	0.65	0.65	33	6.8	3.0
基準値	640	24.0	エネルギー の25~30%	350	3.0	170	0.40	0.40	20	5	2.5	基準値	820	30.0	エネルギー の25~30%	450	4.0	300	0.50	0.60	35	6.5	3.0

生涯学習機構



生涯学習

1 重点目標

国民総生涯学習時代を迎え、社会教育の指針である「幸田町民憲章」をもとに、近年の国際化、高齢化及び多様化に伴い、生涯にわたる学習要求に対応する生涯学習推進体制、学習場所等を提供し、人間性豊かな生活を求め社会教育の推進を図る。

(1) 生涯学習の推進

生涯学習推進体制の充実

(2) 生涯学習の観点に立った学習計画の推進

- ① 生涯学習講座の充実
- ② 地域での学習活動の推進

(3) 青少年健全育成の推進

- ① 家庭教育の充実
- ② 青少年団体の育成
- ③ 青少年健全育成事業の充実

(4) 女性教育の推進

- ① 女性団体の育成
- ② 女性活動の推進

(5) 文化の振興及び文化財保護推進

- ① 町内文化財保護推進
- ② 埋蔵文化財の調査
- ③ 郷土資料館の施設充実
- ④ 町史資料編販売促進
- ⑤ こうたの民話販売促進

(6) 視聴覚教育の促進

視聴覚教材の充実及び利用促進

(7) 心豊かで、ふれあいのある町づくりの推進

ライフサークル事業の充実

(8) 社会教育施設の整備充実

公民館等の充実と利用促進

平成26年度 生涯学習事業計画

月	生涯学習・総務一般	家庭教育	青少年育成
4		家庭教育学級 (6小学校)(年間)	「家庭の日」啓発 (毎月) 防犯パトロール (随時) 青少年健全育成 地域推進員会議 (第1回)
5	第1回社会教育委員会 子ども読書活動計画推進委 員会 (第1回)	親子ふれあいひろば(春の部) (未就園児とその保護者) 5月～7月 2教室 40組	青少年非行防止啓発活動 (小学校運動会にて実施)
6			
7		こうたっ子の発行	啓発事業(彦左まつり歩行者天 国)7/28(土)
8			
9	文化講演会 講師 金澤泰子・金澤翔子 9/18(土) 子ども読書活動計画推進委 員会 (随時)	親子ふれあいひろば(秋の部) (未就園児とその保護者) 9月～11月 2教室 40組	成人式運営委員会 (随時)
10		キッドビクス親子クラス 10月～12月 2教室 50組	青少年健全育成地域推進員会議 (第2回) 啓発事業(町民大運動会) 10/26(日)
11			啓発事業(健康ウォーキング) 11/16(日)
12		親子ふれあいクリスマス会 12/5(金) こうたっ子の発行	
1			成人式 1/12(月・祝)
2	第2回社会教育委員会	親子ふれあい春まつり 2/26(木)	
3			

月	生涯学習講座	視聴覚ライブラリー	ライフサークル事業	文化振興
4	簡単ヨガ講座 4月～6月 (全10回)	運営委員会 (随時)	ライフサークル事業推進委 員会	文化財保護委員会 (年4回以 上随時) 郷土資料館企画展 (端午の 節句) 4月～6月
5	シルベスターズ 5月～11月 (全6回)			古文書講座 5月～12月 (全15回)
6			ホテルを観る会 6/6(金) (深溝学区)	
7	夏休み子ども教室 7月～8月 全5教室 歴史講座 7月～9月 (全3回)			文化振興展 7/12(土)～7/21(月)
8	勾玉教室 8月、12月 (全4回)		こうた夢フェスタ 8/16(土)	
9	実用筆講座 9月～11月 (全10回)			
10	秋の幸田中央公園を描く会 ※10/18(土)予備日19日(日)			
11	たるみ解消!ぶる肌復活講 座 (全2回)			
12				
1			第18回こうた風揚げまつり 1/11(日)	郷土資料館企画展 (おひなさま) 1月～3月
2	愛知大学短期大学部公開講座 2月～3月(全4回)			
3				

(3) ライフサークル事業の推進

心豊かで笑いと楽しさいっぱいの町づくり運動事業を推進する。

平成26年度ライフサークル事業計画

事業名	期日(予定)	会場	対象
ホテルを観る会	6月6日(金)	拾石川周辺	深溝学区
こうた夢フェスタ	8月16日(土)	ハピネス・ヒル・幸田	町民一般
こうた凧揚げまつり	1月11日(日)	菱池地内	町民一般

(4) 公民館活動

町民ふれあいの場及び生涯学習の拠点となる公民館活動の充実を図る。

1) 地区公民館講座

① 簡単ヨガ講座 4月～6月 全10回 50名

2) 公民館サークル活動の育成

3) 楽しく気軽に集まれる公民館の整備及び充実

(5) 視聴覚教育活動

1) 視聴覚機材の充実及び視聴覚教材の促進を図る。

町民会館(幸田町大字大草字丸山60番地 電話63-1111)

☆スライド映写機 1台	☆オーバーヘッドプロジェクター(OHP) 1台
☆三脚 3台	☆デジタルビデオカメラ 2台

図書館(幸田町大字大草字丸山8番地 電話63-0001)

☆ビデオテープ 530本	☆レーザーディスク 54本
☆16ミリフィルム 108本	☆8ミリフィルム 103本
☆液晶プロジェクター 2台	☆16ミリ映写機
☆8ミリ映写機	☆スクリーン 2台
☆スピーカー	

2) 事業の概要

視聴覚教材、フィルムの貸出し

(6) 文化振興、文化財保護活動

豊かな個性と創造性の育成及び町独自の生活、文化の土壌を培う文化財の保存並びに活用を図り、文化財保護意識の高揚に努める。

1) 文化財保護(幸田町の文化財)

① 国指定重要無形民俗文化財「三河万歳」

幸田町三河万歳保存会

指定年月日 第324号 平成7年12月26日

② 国指定史跡「島原藩主深溝松平家墓所」

指定年月日 財第362号 平成26年3月18日

③ 県指定天然記念物「三河地震による地震断層」

深溝断層 1,806m²

指定年月日 天第60号 昭和50年12月26日

④ 町指定文化財 …… 幸田町指定文化財一覧表参照

2) 深溝松平文化財の調査

史跡島原藩主深溝松平家墓所の保存整備委員会を立ち上げ、平成26年度中に保存管理計画を策定する。

3) 文化振興展の開催

- ① 平成26年度予定事業 内容 : 「大名家の家訓－島原藩主深溝松平家墓所の成り立ち－」
会期 : 平成26年7月12日(土)～7月21日(月・祝)

② 実績

文化振興展入館実績

回数	年度	内容	期間	来館者数	会場
第1回目	平成10年	幸田の文化財展	5日間	1,270	図書館ギャラリー
第2回目	平成11年	99美へのいざない	6日間	1,050	図書館ギャラリー
第3回目	平成12年	蘇る原始・古代・中世の幸田	8日間	1,504	図書館ギャラリー
第4回目	平成13年	菱池とその周りに生きた人々	7日間	682	図書館ギャラリー
第5回目	平成14年	暮らしの流れをみつめて	7日間	1,094	図書館ギャラリー
第6回目	平成15年	世界の昆虫展	5日間	3,550	図書館ギャラリー
第7回目	平成16年	魅力いっぱい凧の世界	9日間	1,117	図書館ギャラリー
第8回目	平成17年	深溝断層－三河地震の遺した爪痕－	8日間	1,104	図書館ギャラリー
第9回目	平成18年	こうた焼き物一万年	42日間	398	郷土資料館
第10回目	平成19年	幸田の文化財展	6日間	842	図書館ギャラリー
第11回目	平成20年	「書」美へのいざない	6日間	685	図書館ギャラリー
第12回目	平成21年	深溝本光寺は墳墓の地なり	3日間	3,791	図書館ギャラリー
第13回目	平成22年	南城坊－瑠璃山浄土寺－	8日間	1,112	図書館ギャラリー
第14回目	平成23年	菩提寺と廟守－深溝松平家の葬儀事情－	11日間	1,055	図書館ギャラリー
第15回目	平成24年	岩堀万歳から三河万歳へ－伝承される祝福芸－	9日間	962	図書館ギャラリー
第16回目	平成25年	むかしそのむかし－幸田の民話と伝承－	9日間	1,441	図書館ギャラリー

4) 町史資料編の販売促進

- ① 第1巻「中・近世」(文治元年～明治4年) 発刊 …… 平成6年8月
4,000円/冊
- ② 第2巻「近代」(明治5年～昭和19年) 発刊 …… 平成7年10月
5,000円/冊
- ③ 第3巻「現代」(昭和20年～昭和64年) 発刊 …… 平成8年11月
5,000円/冊

- 5) 民話、文化財調査報告書販売促進
- ①「こうたの民話」(32話) 発刊……………平成8年8月
2,000円/冊
- ②「松平忠雄墓所発掘調査報告」 発刊……………平成25年3月
3,100円/冊
- ③「瑞雲山本光寺文化財調査総合報告」 発刊……………平成25年3月
3,600円/冊
- 6) 文化財紹介冊子等販売促進
- ①「幸田文化財めぐり」 発刊……………昭和59年12月
200円/冊
- ②「史跡 島原藩主深溝松平家墓所」 発刊……………平成26年3月
100円/冊
- ③「こうた文化財ウォーキングマップ」 ……………平成26年3月
50円/冊

コース一覧

No.	コース名	主な見どころ	難易度
1	前方後円墳と城館跡コース	坂崎陣屋跡、青塚古墳	初級 ☆
2	山寺めぐりコース	正楽寺、大草神社	中級 ☆☆
3	菱池東部と深溝街道コース	鷲田神明宮、熊野神社	上級 ☆☆☆
4	幸田駅前から地元発見コース	玄好寺、旗本内藤屋敷	中級 ☆☆
5	六栗の浜道コース	明善寺、六栗八幡宮	中級 ☆☆
6	野場の浜道コース	丸山古墳、野場西城土塁	上級 ☆☆☆
7	資料館から歴史入門コース	深溝城、長満寺	初級 ☆
8	墳墓の地と平坂街道コース	本光寺、深溝松平家墓所	中級 ☆☆
9	断層と三ヶ根山麓コース	深溝断層、御祖神社	上級 ☆☆☆
10	伝説の墳墓発見コース	蘇美天神社、敬覚寺	初級 ☆

(7) 幸田町郷土資料館

- 1) 所在地 幸田町大字深溝字清水36番地1 電話62-6682
- 2) 開館時間 午前10時～午後5時
- 3) 休館日 毎週月・木曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の最初の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 4) 入場料 無料
- 5) 館内展示物
- ① 考古資料 東光寺遺跡出土品等 約10点
- ② 農機具 機織り機 ふいご 畜力用 田船 足踏み脱穀機
ずりまんが いくぐるま 万石等 約50点

③ 昔の台所 農家のたんす 飯びつ入れ 洗面器等 約50点

6) 館外常設展示場

- ① 蒸気機関車主動輪 ② 菱池排水ポンプ
③ 広報用航空機H-13 (ヘリコプター「ひばり」) ④ MK-2型航空機
⑤ 機材展示機 (F86Fジェット機) ⑥ 潜水艦「おやしお」イカリ、スクリュー
⑦ 105mm無反動砲 外

7) 郷土資料館季節展示

① 「端午の節句」 平成26年4月1日(火)～6月1日(日)

② 「おひなさま」 平成27年1月24日(土)～3月15日(日)

③ 実績 (単位:人)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
端午の節句	469	150	152	1,108	1,101	344	401
おひなさま	153	294	437	720	524	1,358	2,103

8) 建築年度及び面積 昭和52年度 438㎡

(8) 幸田文化広場・さくら会館

- 1) 所在地 幸田町大字芦谷字蒲野25番地1 電話 62-7080
2) 開館時間 午前9時～午後10時
3) 休館日 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の最初の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)
4) 主な施設 さくら会館 希望の塔 テニスコート(照明付)2面 はなの木広場
5) 建築年度及び面積 昭和58年度 560㎡

(9) 公民館

- 1) 中央公民館
① 所在地 幸田町大字菱池字黒方78番地 電話 63-1618
② 開館時間 午前9時～午後10時
③ 休館日 毎週月曜日(ただし、祝日の場合は翌日以後の最初の休日でない日)
年末年始(12月28日～1月4日)
④ 建築年度及び面積 平成19年度 1,416.1㎡

2) 地区公民館

建築年度	公民館名	所在地（幸田町大字）	構造	面積(m ²)
昭和47	須美公民館	須美字向屋敷88番地2	R C	386.08
48	鷺田公民館	菱池字野々宮102番地1	R C	580.38
49	坂崎公民館	坂崎字御屋敷22番地1	R C	624.10
50	芦谷公民館	芦谷字神ノ前27番地3	R C	545.09
51	六栗公民館	六栗字本郷5番地1	R C	510.48
58	市場公民館	深溝字会下後37番地	R C	446.71
60	海谷公民館	深溝字上一木16番地	R C	473.13
平成 2	岩堀公民館	菱池字昆沙門1番地1	R C	1,046.53

3 幸田町指定文化財一覧表

平成 26 年 4 月現在

番号	指 定 物 件			所 有 者		
	種別	物 件 名	員数	所在地	氏 名	住 所
1	絵画	松平紀伊守 源光重像	1 幅	大草字寺西6 (正楽寺)	宗教法人 正楽寺 代表役員 天野信行	大草字寺西6
2	歴史資料	足 役 御 免 状	1 通	深溝字誉師9	池 野 茂 次	深溝字誉師9
3	彫刻	木 造 薬師如来坐像	1 軀	大草字山寺3 (浄土寺)	宗教法人 浄土寺 代表役員 飯田大全	大草字山寺3
4	工芸	懸 仏	1 面	菱池字鷺取1 (鷺田神明宮)	鷺田神明宮 代表役員 大須賀久人	岡崎市上地町字 宮脇57
5	彫刻	木 造 阿弥陀如来坐像	1 軀	久保田字下田23 (西方寺)	宗教法人 西方寺 代表役員 中村潤翁	久保田字下田23
6	工芸	鱒 口	1 口	深溝字清水33 (三光院)	宗教法人 三光院 代表役員 加藤健祐	深溝字清水33
7	史跡	青 塚 古 墳	501㎡	坂崎字弁天12	幸 田 町	菱池字元林1-1
8	史跡	須美6号墳 (平松)	33㎡	須美字平松6-1	佐 野 亀 吉	須美字下野38
9	絵画	紙本著色 蓮如上人絵伝	2 幅	荻字下66 (玄好寺)	宗教法人 玄好寺 代表役員 山科知端	荻字下66
10	絵画	家忠・忠利 ・忠一像	3 幅	深溝字内山17 (本光寺)	宗教法人 本光寺 代表役員 鶴田悦章	深溝字内山17
11	絵画	京洛諸国名所図 一日暮屏風一	1 双	深溝字内山17 (本光寺)	宗教法人 本光寺 代表役員 鶴田悦章	深溝字内山17
12	彫刻	木 造 阿弥陀如来坐像	1 軀	須美字遺水1 (如意寺)	須 美 区	
13	史跡	百 皿 古 窯 跡 群	2 窯	久保田字百皿41-2 久保田字一ノ小屋2-4	杉 浦 敏 治 鈴 木 光 明	久保田字本郷36 久保田字柴崎45
14	史跡	野 場 西 城 土 塁	1 基	野場字城10・11・12	伊 沢 泉	野場字城12
15	史跡	丸 山 古 墳	1,208㎡	野場字大岩11-1	左 右 田 和 夫	野場字清水60
16	彫刻	木 造 十二神将立像	1 2 軀	大草字山寺3 (浄土寺)	宗教法人 浄土寺 代表役員 飯田大全	大草字山寺3
17	古文書	中根家所蔵文書	134通	横落字郷中42	中 根 秋 男	横落字郷中42
18	工芸	大 太 刀	1 振	高力字熊谷67 (高力神明宮)	高力神明宮 代表役員 大須賀吉政	岡崎市上地町 字宮前35-50
19	絵画	西 郷 稠 頼 像	1 幅	大草字寺西6 (正楽寺)	宗教法人 正楽寺 代表役員 天野信行	大草字寺西6
20	古文書	大久保彦左衛門忠教の自筆 釈教和歌釈義及び和歌二首	1 幅	久保田字本郷50-2	大 久 保 忠 恭	久保田字本郷 50-2
21	工芸	梵 鐘	1 口	深溝字内山17 (本光寺)	宗教法人 本光寺 代表役員 鶴田悦章	深溝字内山17
22	絵画	春 日 曼 荼 羅 図	1 幅	深溝字内山17 (本光寺)	宗教法人 本光寺 代表役員 鶴田悦章	深溝字内山17
23	史跡	日 向 山 古 墳	400㎡	深溝字日向山 47・48・49・54	本多敏浩・幸南工業(株)・ 長谷安雄・長谷藤一	芦谷字仲田154・六栗字八幡1-8 深溝字寺田19・深溝字長田4
24	工芸	子 持 ち 壺	1 口	菱池字元林1-1	幸 田 町	菱池字元林1-1
25	考古	青塚古墳出土品	一括	深溝字清水36-1	幸 田 町	菱池字元林1-1
26	考古	松平忠雄墓所 出土品一括	162種類 841点	深溝字内山 17	松 平 忠 貞	東京都世田谷区玉 川田園調布1-11-9

4 平成 25 年度利用実績

(1) 視聴覚ライブラリー備品貸出件数

(単位：回数)

月	教材フィルム・ソフト			機 材										小計	前年度	前年比較			
	16mm	8mm	ビデオ	LD	映写機	ビデオカメラ	プロジェクター	スクリーン	スピーカー	DVDデッキ	LD	OHP	スライド				トランシーバー	デジタルビデオカメラ	付属機材
4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	±0
5	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6	-4
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	-7
7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	-7
8	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	-1
9	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	7	-5
10	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	8	-4
11	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	4	11	-7
12	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	13	-11
1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	+1
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	5	-3
3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	-1
計	1	0	0	0	0	0	12	2	6	0	0	0	0	0	2	2	25	74	-49
前年度	0	0	0	0	0	0	31	17	8	0	0	0	1	0	0	15	74		
前年比較	+1	±0	±0	±0	±0	-2	-19	-15	-2	±0	±0	-1	±0	+2	-13	-49			

※付属機材は、編集機材、三脚、ビデオウォークマン

(2) 中央公民館利用状況

(上段：利用団体数 下段：利用人数)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1会議室	団体	20	25	24	23	19	18	21	17	20	29	28	269
	人数	196	223	232	235	211	191	236	151	179	305	276	2,675
第2会議室	団体	17	19	20	22	15	15	15	15	20	18	17	212
	人数	185	229	251	208	188	233	159	150	210	183	188	2,415
第3会議室	団体	21	22	22	22	18	15	16	17	23	19	20	238
	人数	220	236	276	219	231	227	180	173	235	179	241	2,682
第5会議室	団体	13	17	24	19	15	20	23	31	16	21	20	243
	人数	115	144	246	127	182	194	225	233	178	175	183	2,254
研修室	団体	12	13	16	17	9	14	25	10	13	11	11	159
	人数	140	192	361	214	121	219	518	228	217	131	150	2,612
託児室	団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防音室	団体	31	29	25	20	21	22	27	31	31	33	36	331
	人数	231	209	213	164	146	173	205	197	188	219	217	2,309
講座室	団体	0	0	0	0	1	1	2	0	2	0	0	6
	人数	0	0	0	0	40	10	56	0	20	0	0	126
ホールA	団体	30	41	38	30	30	33	33	31	32	33	43	403
	人数	483	596	540	1,050	513	716	547	461	491	518	619	6,978
ホールB	団体	48	55	48	36	43	45	48	53	50	50	58	581
	人数	850	830	781	1,142	753	966	826	740	754	620	807	9,793
ギャラリ一	団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	55
合計	団体	192	221	217	189	171	183	212	223	207	214	233	2,444
	人数	2,420	2,659	2,900	3,359	2,385	2,929	3,007	2,614	2,472	2,330	2,681	31,899

(3) さくら会館利用状況

(上段：利用団体数 下段：利用人数)

室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1研修室	21	19	24	19	19	21	25	17	8	6	13	8	200
団体人数	308	589	682	368	383	550	639	355	196	189	343	218	4,896
第2研修室	19	11	8	15	11	10	12	10	6	7	6	7	122
団体人数	313	94	124	177	100	124	150	154	45	75	70	103	1,529
椿の間	20	27	23	21	22	21	27	24	23	18	19	20	265
団体人数	229	233	251	194	173	159	197	177	218	143	160	150	2,284
計	60	57	55	55	52	52	64	51	37	31	38	35	587
団体人数	926	916	1,057	739	656	833	986	686	459	407	573	471	8,709
ふれあいホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修・会議	7	17	15	22	21	14	26	15	12	7	12	8	176
文化教室	53	40	40	33	31	38	38	36	25	24	26	27	411
合計	60	57	55	55	52	52	64	51	37	31	38	35	587

注) 団体及び人数は利用実績

(単位：人)

人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第1研修室	384	589	682	368	383	550	639	355	196	189	343	218	4,896
第2研修室	313	94	124	177	100	124	150	154	45	75	70	103	1,529
椿の間	229	233	251	194	173	159	197	177	218	143	160	150	2,284
計	926	916	1,057	739	656	833	986	686	459	407	573	471	8,709
ふれあいホール	19,425	423	355	285	287	258	405	299	265	242	265	869	23,378
研修・会議	69	208	170	265	219	141	282	134	185	50	150	49	1,922
文化教室	857	708	887	474	437	692	704	552	274	357	423	422	6,787
合計	20,351	1,339	1,412	1,024	943	1,091	1,391	985	724	649	838	1,340	32,087

注) 人数は利用実績

人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
多目的広場	57,875	967	543	442	406	458	769	531	415	408	516	1,647	64,977

注) 人数については、目視により計算

(4) 郷土資料館利用状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
館内	小・中学生	9	53	18	23	13	17	5	11	12	69	177	33	440	
	男														
	女	6	32	11	16	8	8	3	9	10	74	189	36	402	
	高・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	6	
	男														
	女	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	6	
館外	一般	61	89	131	59	27	42	45	49	34	44	483	179	1,243	
	男														
	女	41	91	85	20	25	15	29	42	12	58	536	252	1,206	
	計	117	266	246	118	73	82	82	82	111	71	251	1,386	500	3,303
	小・中学生	10	67	23	7	9	166	13	17	10	23	157	38	540	
	男														
女	9	54	11	3	7	151	5	11	9	24	144	35	463		
館外	高・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	6	
	男														
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	5	
	一般	50	68	133	60	19	151	48	72	25	33	524	174	1,357	
	男														
	女	23	48	95	21	17	120	27	60	14	47	429	210	1,111	
計	92	237	263	91	52	588	93	160	61	133	1,255	457	3,482		

小・中学計	34	206	63	49	37	342	26	48	41	190	667	142	1,845
高・大学計	0	1	2	0	0	0	0	0	6	12	2	0	23
一般計	175	296	444	160	88	328	149	223	85	182	1,972	815	4,917
合計	209	503	509	209	125	670	175	271	132	384	2,641	957	6,785

注) 人数については、目視により計算

(5) ライフサークル事業実績

事業名	期 日	会 場	事業内容
ホタルを観る会 (参加者 約500名)	平成25年6月7日(金) PM7:30~PM8:40	深溝小学校 拾石川周辺	深溝小学校体育館にてホタルの話、拾石川沿いを歩きホタル観察
こうた夏まつり (来場者約30,000人)	平成25年8月17日(土) PM2:00~PM8:30	ハッピーネス・ヒル 幸田	ステージアトラクション、町民総踊り、打上げ花火等の催し物を実施
こうた凧揚げまつり (来場者約18,000人)	平成26年1月12日(日) AM9:00~PM1:30	菱池地内	凧揚げ競技、ステージイベント写真コンテスト等を実施。 大中小全国凧合わせて 189基参加

5 各種委員名簿

(1) 生涯学習推進本部委員

〔任期〕 平成25年4月1日～平成27年3月31日

氏 名	所 属	同 職 名
神 尾 義 貴	学 識 経 験 者	
黒 柳 恵 子	幸 田 町 国 際 交 流 協 会	代 表
貝 吹 成 子	幸 田 文 化 協 会	会 計
林 昭 広	幸 田 小 学 校	校 長
丹 羽 雅 英	南 部 中 学 校	校 長
星 野 末 夫	幸 田 町 体 育 協 会	副 理 事 長
岩 淵 初 子	幸 田 町 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 会	代 表
春 日 井 奈 緒 子	菱 池 保 育 園	園 長
坂 本 肖 子	保 育 園 父 母 の 会	代 表
市 川 正	幸 田 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会	会 長
稲 吉 基 宏	ラ イ フ サ ー ク ル 事 業 推 進 委 員 会	副 委 員 長
近 藤 美 代 子	幸 田 町 中 央 公 民 館	代 表

(2) 社会教育委員

〔任期〕 平成25年4月1日～平成27年3月31日

氏 名	所 属	同 職 名
林 昭 広	幸 田 小 学 校	校 長
丹 羽 雅 英	南 部 中 学 校	校 長
吉 田 正 義	幸 田 高 等 学 校	校 長
壁 谷 昭 代	幸 田 保 育 園	園 長
林 伸 行	幸田あけぼの第二幼稚園	園 長
児 玉 竜 也	幸田町子ども会連絡協議会	会 長
本 多 日 出 男	幸田町身体障害者福祉協会	代 表
土 屋 善 也	ライフサークル事業推進委員会	委 員 長
黒 柳 恵 子	幸 田 町 国 際 交 流 協 会	代 表
市 川 正	幸 田 町 老 人 クラフゝ 連 合 会	会 長
山 本 晴 彦	幸田町小中学校PTA連絡協議会	会 計 監 査
長 谷 禎 子	こ う た 女 性 の 会	会 長
羽 根 渕 悟	幸 田 町 体 育 協 会	理 事 長
高 須 悟	幸 田 文 化 協 会	会 長
浦 山 岩 夫	幸 田 町 スポ ー ツ 推 進 委 員 会	委 員 長
伊 與 田 伸 吾	幸 田 町 区 長 会	会 長
神 尾 義 貴	学 識 経 験 者	

(3) ライフサークル事業推進委員

〔任期〕 平成25年4月1日～平成27年3月31日

学 区	氏 名	備 考
坂 崎 学 区	釜 本 俊 行	
坂 崎 学 区	石 川 敏 夫	
坂 崎 学 区	林 幸 博	
幸 田 学 区	亀 山 勤	
幸 田 学 区	谷 川 治	
幸 田 学 区	西 田 照 実	
中 央 学 区	松 田 保 市	
中 央 学 区	清 水 勝 利	
中 央 学 区	土 屋 善 也	委員長
荻 谷 学 区	山 登 一 臣	副委員長
荻 谷 学 区	山 崎 勝 利	
荻 谷 学 区	兼 原 栄 一	
深 溝 学 区	齋 藤 國 一	
深 溝 学 区	保 田 正 一	
深 溝 学 区	鈴 木 澄 彦	
豊 坂 学 区	田 境 文 一	
豊 坂 学 区	稲 吉 基 宏	副委員長
豊 坂 学 区	市 川 道 男	

(4) 視聴覚ライブラリー運営委員

〔任期〕 平成25年4月1日～平成27年3月31日

学 区	氏 名	備 考
坂 崎 小 学 校	野 中 慎 一	
幸 田 小 学 校	加 納 美 樹 雄	
中 央 小 学 校	稲 垣 守	
荻 谷 小 学 校	長 坂 重 徳	
深 溝 小 学 校	伊 藤 健 太 郎	
豊 坂 小 学 校	鈴 木 拓 実	

(5) 青少年問題協議会委員

〔任期〕 平成25年4月1日～平成27年3月31日

氏 名	所 属	同 職 名
大 須 賀 一 誠	幸田町	町 長
伊 與 田 伸 吾	幸田町区長会	会 長
尾 中 明	幸田町教育委員会	委 員 長
近 藤 正 義	豊坂小学校	校 長
丹 羽 雅 英	南部中学校	校 長
吉 田 正 義	幸田高等学校	校 長
谷 川 明 実	西三河児童・障害者相談センター	児 童 福 祉 士
弓 場 光 寿	岡崎警察署生活安全課	課 長 代 理 警 部
長 谷 禎 子	こうた女性の会	会 長
墨 江 善 浩	幸田町小中学校PTA連絡協議会	会 長
足 立 和 彦	幸田町民生児童委員協議会	会 長
志 賀 竜 市	幸田町青少年健全育成地域推進員	副 委 員 長
三 浦 敏 男	人権擁護委員協議会	委 員 長
加 藤 雅 敏	幸田更正保護会	保 護 司

(6) 青少年健全育成地域推進員

〔任期〕 平成25年4月1日～平成27年3月31日

役職名	学 区	氏 名	備 考
委 員	坂 崎	山 本 優 裕	
委 員		黒 柳 浩	
委 員	幸 田	林 久美子	
委 員		石 川 次 雄	
委 員	中 央	加 藤 勝	
委 員		池 田 準 次	
委 員	荻 谷	榊 原 正 樹	
委 員		押 田 幸 己	
副 委 員 長	豊 坂	志 賀 竜 市	
委 員		左 右 田 文 芳	
委 員 長	深 溝	三 浦 敏 男	
委 員		村 越 浩 幸	

(7) 文化財保護委員、幸田町郷土資料館運営委員

〔任期〕 平成25年4月1日～平成27年3月31日

役 職	氏 名	備 考
委 員 長	貝 吹 敏 行	
副 委 員 長	齋 藤 忠 雄	
委 員	藪 田 清 参	
委 員	神 尾 義 貴	
委 員	吉 本 一 三	
委 員	志 賀 秀 夫	
委 員	前 原 隆 一	

(8) 子ども読書活動計画推進委員

〔任期〕 平成26年4月1日～平成27年3月31日

役 職	氏 名	所 属	同 職 名
委 員 長	伊 藤 秀 雄	町 立 図 書 館	館 長
委 員	内 藤 美 貴 子	町 立 図 書 館	グ ル ー プ リ ー ダ ー
委 員	長 谷 川 三 重 子	読 み 聞 か せ グ ル ー プ	図 書 館 ボ ラ ン テ ィ ア
委 員	山 田 富 久	小 学 校	坂 崎 小 学 校 長
副 委 員 長	丹 羽 雅 英	中 学 校	南 部 中 学 校 長
委 員	加 納 達 朗	教 育 研 究 会	図 書 主 任
委 員	岡 田 真 理	教 育 研 究 会	図 書 主 任
委 員	尾 崎 三 千 代	学 校 図 書 館	嘱 託 指 導 員
委 員	竹 本 弥 生	保 育 園	深 溝 保 育 園 長
委 員	岩 崎 倫 子	子 育 て 支 援 セ ン タ ー	所 長 補 佐
委 員	鋤 柄 晶 子	児 童 館	児 童 厚 生 員
委 員	松 井 伸 市	幸 田 あ け ぼ の 第 一 幼 稚 園	園 長

3 社会体育事業の概要

(1) スポーツ教室の開催

① 種目別スポーツ教室の開催

(硬式テニスナイター初級、硬式テニスナイター、卓球、バドミントン、ソフトテニス、弓道)

② 少年少女スポーツ教室の開催

(2) 各種スポーツ大会の開催

① 第48回町民スポーツ大会

(軟式野球、ソフトボール、卓球、バレーボール、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、弓道、柔道、少林寺拳法、グラウンド・ゴルフ、サッカー、ソフトバレーボール、組討道(空手道))

② 第59回町民大運動会

③ 第37回新春駅伝・ファミリージョギング大会

④ レディース大会の開催(ソフトボール)

⑤ 第40、41回ユニバーサルホッケー大会、第10回やろまいペタンク大会、第9回幸田発見ウォーク、スポーツカーニバル2014

(3) スポーツ団体の育成

① 加盟団体の育成強化

(軟式野球、ソフトボール、卓球、バレーボール、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、弓道、剣道、柔道、少林寺拳法、グラウンド・ゴルフ、サッカー、組討道(空手道))

③ 未組織スポーツクラブの育成

④ 少年スポーツクラブの育成(剣道、柔道、少林寺拳法、サッカー、組討道(空手道))

(4) 県が主催する大会への参加等

① 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2014西三河地区大会への参加

② 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2014西三河地区大会のグラウンド・ゴルフ大会開催

③ 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2014県大会への参加

④ 愛知万博メモリアル第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会への選手団参加

(5) その他

① 地区スポーツ大会等の奨励、助成

② 学校体育施設のスポーツ開放 町内小中学校、県立高校

平成26年度 社会体育事業計画

月	日	曜日	行 事 名	月	日	曜日	行 事 名
4	5	土	スポーツ推進委員・体育協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議	21	土		バドミントン教室(毎週土曜日、勤休)全10回、11/22まで
	5	土	硬式テニスナイター初級教室(毎週土曜日、雨天順延、豊坂)全8回、5/31まで	29	日		第9回幸田町発見ウォーク
	6	日	学校体育施設スポーツ開放利用代表者会議	29	日		第48回町民スポーツ大会(サッカー=幸田中央公園、予備日10/5 少林寺拳法=幸中 柔道=北部中 軟式野球=坂崎G・とぼねG予備日10/5)
	10	木	体育協会常任理事会(総会・夏休みスポーツ教室について)	4	土		第10回やろまいベタンク大会(幸田中央公園、予備日10/11)
	13	日	スポーツ推進委員定例会	5	日		第48回町民スポーツ大会(硬式テニス・シングルス=豊坂・文化広場、予備日10/19 軟式野球準決・決勝=坂崎G、予備日10/12)
5	10	土	ソフトテニス教室(毎週土曜日、雨天順延、文化広場)全8回、6/28まで	5	日		スポーツ推進委員定例会
	10	土	体育協会総会	11	土		第59回町民大運動会区対抗種目別組合せ抽選会
	11	日	第48回町民スポーツ大会(グラウンド・ゴルフ=大日蔭GG場、大日蔭G 予備日5/17)	11	土		第59回町民大運動会運営委員打合せ会
	11	日	卓球教室(毎週日曜日、幸中)全8回、6/28まで	12	日		第48回町民スポーツ大会(硬式テニス・一般ダブルス=豊坂・文化広場 予備日10/19)
	11	日	スポーツ推進委員定例会	18	土		第48回町民スポーツ大会(硬式テニス・小学生シングルス=豊坂・文化広場 予備日11/1)
	25	日	第38回レディースソフトボール大会(深溝G予備日6/1)	25	土		第48回町民スポーツ大会(硬式テニス・小学生ダブルス=豊坂・文化広場 予備日11/1)
6	1	日	スポーツ推進委員定例会	26	日		第59回町民大運動会(幸田中央公園、予備日なし)毎年第4日曜日開催
	3	火	弓道教室(毎週火・金曜日、町弓道場)全16回7/25まで	2	日		第48回町民スポーツ大会(ソフトテニス(中学生以上)=幸中・文化広場 予備日11/16、ソフトボール男女=とぼねG・深溝G 予備日11/9、弓道=町弓道場)
	13	金	学校体育施設スポーツ開放運営委員会	8	土		スポーツ推進委員・体育協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議(新春駅伝・ファミリージョギング大会について)
	15	日	第48回町民スポーツ大会(ソフトバレーボール=デンソー体育館、抽選会6/8)	9	日		第48回町民スポーツ大会(ソフトテニス(小学生)=文化広場、予備日11/23、卓球=幸中)
7	5・6	土・日	第40回ユニバーサルホッケー大会(豊坂小学校体育館・勤休) 7/5(土):3・4年、5・6年 7/6(日):1・2年、中学生、ジュニア、シニア	16	日		スポーツ推進委員定例会
	6	日	スポーツ推進委員定例会	16	日		第48回町民スポーツ大会(組討道(空手道)=北部中)
	12	土	第15回レディースカップソフトボール大会(とぼねGナイター、予備日8/2)	22	土		愛知万博メモリアル 第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会下見会&結団式(愛・地球博記念公園)
8	夏季休業中		夏休み少年少女スポーツ教室(軟式野球=とぼねG、卓球=勤休、バレーボール=幸中、サッカー=坂崎G、ソフトテニス=文化広場、剣道=幸中、柔道=南中、少林寺拳法=幸中、バスケットボール=荻小、硬式テニス=豊坂、組討道(空手道)=岩堀老人憩の家)	23	日		第48回町民スポーツ大会(バドミントン=幸中)
	10	日	スポーツ推進委員定例会	6	土		愛知万博メモリアル 第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会(愛・地球博記念公園)
	16	土	硬式テニスナイター教室(毎週土曜日、雨天順延、豊坂)全8回、10/4まで	12	13・14	土・日	第41回ユニバーサルホッケー大会(豊坂小学校体育館・勤休) 13(土):3・4年、5・6年 14(日):1・2年、中学生、ジュニア、シニア
9	6	土	スポーツ推進委員・体育協会常任理事・地区スポーツリーダー合同会議 (町民大運動会・町民スポーツ大会について)	14	日		スポーツ推進委員定例会
	7	日	第48回町民スポーツ大会(バレーボール男女=豊坂小・勤休)	17	土		第37回新春駅伝・ファミリージョギング大会運営委員打ち合せ会
	7	日	スポーツ推進委員定例会	18	日		スポーツ推進委員定例会
	11	木	体育協会常任理事会(体育表彰について)	25	日		第37回新春駅伝・ファミリージョギング大会(幸田中央公園 予備日なし)
	13	土	スポーツカーニバル2014(幸田中央公園)	4	木		体育協会常任理事会
	13	土	愛知スポーツレクリエーションフェスティバル2014西三河地区大会(グラウンド・ゴルフ=大日蔭GG場 予備日9/14)	8	日		スポーツ推進委員定例会
	20	土	愛知万博メモリアル 第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会 幸田町代表選手選考会(幸田中央公園)予備日9/21	14	土		学校体育施設スポーツ開放利用登録(次年度)
				3	8	日	スポーツ推進委員定例会
				春季休業中			春休み少年少女スポーツ教室(柔道=南中、少林寺拳法=幸中、剣道=幸中 組討道(空手道)=岩堀老人憩の家)

子ども会ドッジボール大会6/8(日)・11/2(日)、ソフトボール大会(とぼね)7/20(日)・27(日)・予備日8/3(日)
彦左まつり7/26(土)・予備日7/27(日)、夢フェスタ8/16(土)・予備日8/17(日)、防災訓練9/6(土)、
ソフトボールジュニア大会(とぼね)11/23(日)・11/30(日)・予備日12/7(日)、凧揚げまつり1/11(日)、成人式1/12(月)

4 平成25年度事業実績

(1) 体育協会の育成

① 加盟団体の育成強化

幸田町軟式野球連盟、幸田町ソフトボール協会、幸田エイティ、幸田バドミントン協会、
幸卓会、幸田町バレーボール連盟、幸田町弓道連盟、幸田ローンテニスクラブ、
幸田町グラウンド・ゴルフ協会 計9団体

② 少年スポーツクラブの育成

幸田町剣道スポーツ少年団、幸田町柔道会、幸田町少林寺拳法協会、幸田Jr. FC
幸田町組討道会 計5団体

(2) スポーツ教室の開設

① 夏休み少年少女スポーツ教室 (403名) [柔道、組討道 (空手道) 5日間、その他各8日間]

軟式野球 (41名)、バレーボール (72名)、卓球 (50名)、バスケットボール (31名)

柔道 (1名)、ソフトテニス (48名)、少林寺拳法 (15名)、サッカー (71名)

硬式テニス (30名)、剣道 (14名)、組討道 (空手道) (30名)

② 硬式テニスナイター初級教室 (30名) [4月13日～8日間]

③ 硬式テニスナイター教室 (30名) [8月17日～8日間]

④ 卓球教室 (29名) [5月12日～8日間]

⑤ ソフトテニス教室 (11名) [5月18日～8日間]

⑥ 弓道 (11名) [6月4日～16日間]

⑦ バドミントン教室 (20名) [9月21日～10日間]

⑧ 春休み少年少女スポーツ教室 (30名) [各5日間]

剣道 (6名)、柔道 (2名)、少林寺拳法 (9名)、組討道 (空手道) (13名)

(3) 各種スポーツ大会等の開催

① 第47回町民スポーツ大会

- ・グラウンド・ゴルフ 5月12日 (383名) ・少林寺拳法 9月29日 (78名)
 - ・硬式テニス 一般シングルス 10月6日 (38名) 一般ダブルス 10月13日 (58名)
 - 小学生シングルス 10月19日 (25名) 小学生ダブルス 10月26日 (10名)
 - ・軟式野球 9月29日 (118名) ・ソフトボール男子 11月8日 (130名)
 - ・ソフトボール女子 11月3日 (76名) ・バレーボール男子 9月22日 (42名)
 - ・バレーボール女子 9月8日 (84名) ・卓球 11月10日 (78名)
 - ・ソフトテニス 11月3日・10日・24日 (110名) ・弓道 12月8日 (132名)
 - ・柔道 9月22日 (80名) ・バドミントン 11月24日 (90名)
 - ・サッカー 9月29日 (100名) ・ソフトバレーボール 6月16日 (221名)
- 以上総参加数 (1,853名)

② レディーススポーツ大会

- ・第37回レディースソフトボール大会 4月28日 2チーム (37名)
- ・第14回レディースカップソフトボール大会 7月2日 4チーム (63名)

- ③ ペタンク大会
10月5日 21チーム(63名)
- ④ ユニバーサルホッケー大会
・第38回大会 7月6日・7日 110チーム(848名)
・第39回大会 12月14日・15日 109チーム(832名)
- ⑤ 第58回町民大運動会
10月27日 幸田中央公園にて実施(参加者約8,000名)
- ⑥ 第36回新春駅伝・ファミリージョギング大会
平成26年1月26日 駅伝の部 200チーム(1,200名)
ジョギングの部 (830名)
- ⑦ スポーツカーニバル2013
9月14日 23名(中央公園)
- ⑧ 幸田発見ウォーク
9月29日 13名
- ⑨ 愛知万博メモリアル 第8回愛知県市町村対抗駅伝競走大会
12月7日(土) 参加チーム:54チーム(愛知県内全市町村)
成績:町村の部5位(タイム:1時間40分26秒)
区間・距離:9区間・29.4km
選手団

監督 羽根潤 悟 コーチ 鴨下 克巳、岡田 雅春

第1区 2.9km 中学生女子 澤田 桃香 安村 真緒

第2区 4.8km ジュニア男子 渡邊 康介 金澤 雄紀

第3区 4.0km 40歳以上 平田 誠 村越 好晴

第4区 1.1km 小学生女子 荻野 紗綾 田畑 琳香

第5区 3.3km 中学生男子 手嶋 力也 江尻 郁也

第6区 1.1km 小学生男子 湯野澤太陽 平野 史也

第7区 3.3km 一般女子 大竹 可純 岡出 紀久

第8区 4.0km ジュニア女子 中嶋友里彩 小松 佳純

第9区 4.9km 一般男子 平岩 篤弥 稲吉 悠多

幸田町代表選手選考会 9月21日 幸田中央公園にて開催(125名)

- ⑩ 講習会
・ソフトバレー審判講習 6月9日(30名)
・ユニバーサルホッケー審判講習 6月30日(29名)、7月5日(33名)
12月8日(24名)、12月13日(26名)

(4) 国、県等が開催する大会への参加

愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル2013西三河地区大会への参加

軟式野球、卓球、バトミントン、硬式テニス、弓道

グラウンド・ゴルフ、ソフトボール女子

以上148名

(5) 体育表彰

- ・ 特別栄光章（国際競技大会などに出場、全国大会で3位以内に入賞された選手及び監督）
上田恭裕、矢吹晴奈、柴田歩乃佳、林美穂、三浦宏保、竹岡順子、鳥居正二、寺田健人
- ・ 栄光章（県または東海大会で優勝または全国大会に出場された選手）
矢吹仁奈、伊藤早里菜、山下楓葵、浦山妃菜、五島菜々花、五島妃菜、浦山美妃、五島加菜美、稲葉めぐみ、池田素、榊原真優、平野朱夏、伊藤梨奈、中島舞桜、稲葉理恵、大西亜弥、稲吉悠多、藤多瑞希、松本佳倫、京極大亮、本間蒼生、井上拓海、粉川斐成、中村彰利、朝倉竜也、山本采和、岡田奈津希、秋田恵、竹谷圭祐、長井稜太、朝岡大樹、平松佑一、平野生耶、押田有加、田口水葉、藤森咲帆、板垣晏奈、中村真歩、大須賀梨浦、市川正、斉藤純子、斉藤ユリ子、高井千代子、川端潔、中根梅一、中根明、三浦竜樹、三浦竜磨、三浦杏友
- ・ 奨励賞（全都道府県が行っていない競技で全国大会3位以内に入賞された選手）
加藤忠之、小林香捺斗、梅村匠、畔柳拓郎、小林神、柴田達希、鈴木勇人、福井涼一、福尾優悟、近堂彩、鈴木蘭菜、三浦文佳、三浦真理、石橋宗馬、梅田侑輝、越山遥斗、角田偲湧聖、中野颯太、古橋大地、水谷優生、飯塚奏音、磯部美桜、稲吉いあん、坂本七海、手嶋咲月、大須賀道弘、加藤大晴、北澤雪斗、鈴木隼、角田聖虎、近藤凌太、坂本真来、稲吉佑紀、榊原由衣、薮下綾乃、長谷美希、近藤直輝、大須賀祐哉、山路心、高谷実莉

以上97名

(6) 学校体育施設一般開放の現況

① 利用状況（平成25年度）

P76 参照

② 学校体育施設のスポーツ開放に関する規則の制定

昭和54年6月1日

③ 学校体育施設利用登録スポーツ団体数及び登録人数

(平成26.4.1現在)

学 校	坂崎小	幸田小	中央小	荻谷小	深溝小	豊坂小	幸田中	南部中	北部中	計
登録団体数	6	8	11	11	6	9	14	14	12	91
登録人数	259	154	190	209	222	343	875	277	284	2,813

※子ども会、各区・学区のスポーツ推進委員は除く

(7) スポーツクラブの現況 体育協会加盟団体人数 総計2,145名

(平成26.4.1現在)

種 目	軟式野球	バレーボール	柔 道	少林寺拳法	ソフトボール	バドミントン	剣 道
チーム数	18	22	1	1	22	7	1
人 数	332	461	28	82	413	90	25

種 目	ソフトテニス	硬式テニス	弓 道	卓 球	グラウンド・ゴルフ	サッカー	組討道(空手道)
チーム数	1	1	1	1	1	1	1
人 数	32	75	40	56	429	65	17

(8) 社会体育施設の状況

① 社会体育施設の建設状況

竣工年度	施設名	内容
昭和48年度	坂崎運動場	造成・建設
53年度	坂崎運動場	ナイター照明設置
54年度	中央運動場・横落公共広場	造成・建設
55年度	勤労者体育センター	造成・建設
57年度	文化広場庭球場	造成・建設
〃	豊坂庭球場	造成・建設
61年度	とぼね運動場・庭球場	造成・建設
62年度	とぼね運動場	管理棟建設
平成元年度	とぼね運動場	ナイター照明設置
2年度	勤労者体育センター	休憩室増設
3年度	坂崎運動場	倉庫・トイレ改修
5年度	とぼね運動場	Bコートダッグアウト建設
6年度	坂崎遊水地	県河川敷借地
〃	文化広場庭球場	ナイター照明設置
9年度	文化広場庭球場	砂入人工芝張
10年度	坂崎運動場	バックネット改修
12年度	豊坂庭球場	砂入人工芝張、ナイター照明設置
〃	中央運動場・横落公共広場	廃止
13年度	とぼね運動場	第2駐車場新設、倉庫・トイレ新設
〃	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	造成・建設
15年度	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	トイレ・東屋新設、調整池埋め立て
16年度	勤労者体育センター	管理移管、豊坂小体育館との連絡通路新設
17年度	弓道場	造成・建設
18年度	大日蔭運動場	用地測量
19年度	深溝運動場	造成・建設
20年度	大日蔭運動場	倉庫新設
〃	深溝運動場	倉庫新設
〃	豊坂庭球場	人工芝張替え
〃	勤労者体育センター	音響設備設置
〃	弓道場	観覧席防矢ボード設置、進入路舗装
〃	坂崎運動場	ネットフェンス設置
21年度	とぼね運動場	電気設備改修
〃	勤労者体育センター	補修工事（床、小窓等）
22年度	とぼね運動場	キュービクル内主幹開閉器取付、Aコートバックネット塗装
〃	坂崎運動場	照明灯不点修繕、防球ネット塗装
〃	豊坂庭球場	防風ネット設置

竣工年度	施設名	内容
23年度	とぼね運動場	音響設備設置
〃	文化広場庭球場	コート修繕工事
〃	豊坂庭球場	フェンス修繕工事
〃	勤労者体育センター	休憩室床張り替え
〃	勤労者体育センター	カーテン取り替え
24年度	坂崎運動場	防球フェンス支柱補強工事
〃	大日蔭グラウンド・ゴルフ場	休憩用日除け設置工事
〃	勤労者体育センター	メッシュフェンス改修工事
25年度	坂崎運動場	ベンチ屋根改修工事
〃	坂崎・とぼね運動場	ネット修繕工事
〃	文化広場庭球場	外周フェンス補修工事

② 社会体育施設の概要と使用料

名 称	内 容	使 用 料
坂 崎 運 動 場	坂崎字天神山23-1	1 面につき 3 時間で 1,000円 夜間照明時 坂 崎=6,000円 とぼねA=8,000円 とぼねB=7,000円
	延面積18,642㎡ 軟式野球1面 ソフトボール1面 (サッカーも可) ナイター可	
とぼね運動場	荻字奥入61-1 TEL62-9150	
	延面積28,277㎡ 軟式野球1面 ソフトボール1面 ナイター可	
大日蔭運動場	野場字大日蔭33	
	延面積12,000㎡ ソフトボール1面 (サッカーも可)	
大日蔭グラウンド・ゴルフ場	延面積31,800㎡ グラウンド・ゴルフ場：80ホール常設(5面)	専用貸し出しは3時間で1,300円 ただし、20人以上の団体に限る 南芝生広場2ホールは専用貸し出しをせず 一般開放
とぼね庭球場	延面積2,032㎡ クレークコート2面	1 面につき 2 時間で 400円 夜間照明時 3 時間で 1,600円
文化広場庭球場	芦谷字蒲野25-1	
	延面積1,732㎡ 砂入人工芝2面 ナイター可	
豊 坂 庭 球 場	野場字井戸田57-1	
	延面積1,675㎡ 砂入人工芝2面 ナイター可	
坂 崎 遊 水 地	坂崎字馬頭90	無料
	延面積18,000㎡ サッカー・グラウンドゴルフ	
勤 労 者 体 育 セ ン タ ー	野場字鶏島50-1 TEL62-2684	9:00～12:00 700円(半面350円) 13:00～15:00 500円(半面250円) 15:00～17:00 500円(半面250円)
	延面積720㎡ バレーボール2面 バスケットボール1面 バドミントン3面	17:00～19:00 1,000円(半面500円) 19:00～22:00 1,500円(半面750円)
弓 道 場	菱池字黒方46-10 TEL63-2005	9:00～12:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
	延床面積423.69㎡ 和弓近的(距離28m) 6人立ち	12:00～15:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
		15:00～18:00 専用利用 1,500円 個人利用 小人150円 大人200円
		18:00～21:00 専用利用 2,500円 個人利用 小人200円 大人300円
※半面専用利用の場合は専用使用料の半額 「小人」は中学生以下、「大人」は高校生以上		
深 溝 運 動 場	深溝字大池 8	1 面につき 3 時間で1,000円
	延面積 13,446㎡ ソフトボール2面 ※平成20年9月1日より供用開始	

平成25年度 社会体育施設利用状況

(単位：回、人、円)

施設名	面数	区分	回数												合計	H24年度 回数	前年度比
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
坂	2面	昼間	44	44	51	47	63	37	30	62	34	23	13	35	483	448	107.8
		ナイター	756	680	715	500	520	415	550	950	533	248	325	434	6,626	6,564	100.9
と	2面	昼間	230	288	175	539	494	155	161	363					110	98	112.2
		ナイター	53	34	58	58	75	58	29	57	44	54	32	53	605	580	104.3
と	2面	昼間	1,056	401	1,140	1,757	830	1,162	267	1,230	310	380	203	789	9,525	10,890	87.5
		ナイター	5	7	4	13	20	4	6	14					73	75	97.3
坂	2面	昼間	100	127	80	324	511	85	120	370					1,717	1,744	98.5
		ナイター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	20.0
大	1面	昼間	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	0	0	100	148	67.6
		ナイター	8	21	21	24	22	22	11	18	10	23	7	15	202	187	108.0
場	3面	昼間	340	510	525	590	381	850	160	510	115	500	325	185	4,991	5,973	83.6
		ナイター	22	50	45	29	11	40	59	66	48	17	17	28	432	474	91.1
深	2面	昼間	1,001	1,586	1,950	1,425	388	1,424	2,285	2,286	1,885	918	738	1,316	17,202	19,079	90.2
		ナイター	29	17	28	10	20	39	14	26	10	8	10	23	234	329	71.1
小	計	昼間	270	370	560	235	358	820	205	945	115	235	283	347	4,743	6,687	70.9
		ナイター	156	166	203	168	192	196	143	229	146	125	79	154	1,957	2,023	96.7
と	2面	昼間	3,423	3,547	4,890	4,507	2,577	4,671	3,467	5,921	2,958	2,281	1,874	3,071	43,187	49,341	87.5
		ナイター	15	21	13	34	38	15	15	32					183	173	105.8
と	2面	昼間	330	415	255	863	1,005	240	281	733					4,122	4,443	92.8
		ナイター	34	52	55	37	54	44	46	52	45	45	21	52	537	463	116.0
文	2面	昼間	123	192	221	165	178	160	207	191	149	156	67	194	2,003	1,586	126.3
		ナイター	127	147	162	140	133	142	141	164	178	176	132	168	1,810	1,801	100.5
ス	2面	昼間	487	544	614	567	518	650	726	743	738	737	610	639	7,573	6,424	117.9
		ナイター	36	20	18	30	30	21	29	35					219	245	89.4
コ	2面	昼間	170	111	98	178	168	110	250	224					1,309	1,745	75.0
		ナイター	127	146	140	139	133	140	141	121	124	115	77	142	1,545	1,499	103.1
ー	2面	昼間	489	537	607	543	526	554	596	523	508	506	318	605	6,312	5,245	120.3
		ナイター	28	35	41	39	37	33	36	31					280	283	106.5
ト	計	昼間	288	345	357	316	320	326	328	337	347	336	230	362	3,892	3,763	103.4
		ナイター	1,099	1,273	1,442	1,275	1,222	1,364	1,529	1,457	1,395	1,399	995	1,438	15,888	13,255	119.9
小	計	昼間	64	55	59	69	67	54	65	66					499	508	98.2
		ナイター	386	346	385	495	538	380	566	391					3,487	3,715	93.9
総	計	昼間	444	511	560	484	512	522	471	566	493	461	309	516	5,849	5,786	101.1
		ナイター	4,522	4,820	6,332	5,782	3,799	6,035	4,996	7,378	4,353	3,680	2,869	4,509	59,075	62,596	94.4
体	2面	昼間	79	76	72	103	105	69	80	98					682	681	100.2
		ナイター	716	761	640	1,358	1,543	620	847	1,124					7,609	8,158	93.3
育	2面	合計	523	587	632	587	617	591	551	664	493	461	309	516	6,531	6,467	101.0
		使用料金(円)	5,238	5,581	6,972	7,140	5,342	6,655	5,843	8,502	4,353	3,680	2,869	4,509	66,684	70,754	94.3
館	2面	合計	506,350	533,950	402,700	471,250	538,250	425,000	529,050	402,250	233,000	293,000	257,750	441,050	5,033,600	4,834,100	104.1
		使用料金(円)	82	131	165	118	112	214	122	126	119	102	115	125	1,531	1,418	108.0
勤	2面	合計	1,082	1,486	2,438	1,772	1,123	1,838	1,309	1,722	2,195	1,180	1,203	1,682	19,030	19,909	95.6
		使用料金(円)	65,800	95,550	70,100	70,000	73,050	107,850	81,300	75,300	56,400	103,200	92,450	88,950	979,950	988,360	99.2

弓道場	個人		回数												合計	前年対比			
	小人	大人	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			1月	2月	3月
幸田町弓道場	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回数	15	12	13	5	5	5	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	12
	人数	25	13	13	5	5	5	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	12
小計	回数	15	12	13	5	5	5	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	12
	人数	25	13	13	5	5	5	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	12
半面専用	回数	8	9	2	6	9	8	9	2	6	9	8	5	7	8	6	8	11	87
	人数	26	53	5	14	45	48	33	39	36	32	37	48	416	737	56.5	100.4	279	100.4
全面	回数	20	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
	人数	480	708	794	798	611	551	549	602	504	417	460	603	7,077	7,108	99.6	74.1	495	95.5
小計	回数	28	35	28	32	36	29	32	29	30	27	27	34	367	495	74.1	72.7	88	72.7
	人数	506	761	799	812	656	599	582	641	540	449	497	651	7,493	7,845	95.5	73.9	583	95.2
合計	回数	43	47	41	37	41	31	32	29	32	29	28	41	431	583	73.9	86.3	88	86.3
	人数	531	774	812	817	662	601	582	641	543	451	498	663	7,575	7,958	95.2	86.3	88	86.3
総利用回数	使用料金(円)	51,000	50,450	36,500	40,900	60,950	46,900	57,000	50,250	42,900	48,900	46,700	49,250	581,700	673,800	95.2	86.3	88	86.3
総利用人数	総利用回数	648	765	838	742	770	836	705	819	644	592	452	682	8,493	8,468	100.3	100.6	98	100.6
	総利用人数	6,851	7,841	10,222	9,729	7,127	9,094	7,734	10,865	7,091	5,311	4,570	6,854	93,289	98,621	94.6	94.6	98	94.6

注) 本表において屋外施設は、雨天等の利用中止分を除き、利用申請書を集計したものです。屋内施設は、利用実績を集計したものです。

平成 25 年度学校体育施設スポーツ開放利用状況

(単位:人、回)

学校名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H24年度	前年対比
坂崎小学校	体育館	22	36	34	38	20	34	38	15	33	34	34	30	368	356	103.4%
	運動場	402	977	771	844	354	662	686	255	653	638	624	651	7,517	8,359	89.9%
幸田小学校	体育館	81	0	560	473	271	368	494	322	460	357	368	460	4,214	5,168	81.5%
	運動場	42	45	53	48	38	40	43	29	30	36	37	25	466	484	96.3%
中央小学校	体育館	805	930	1,185	998	726	756	991	637	682	796	690	562	9,758	8,786	111.1%
	運動場	0	5	19	16	16	11	15	17	18	14	16	19	166	164	101.2%
荻谷小学校	体育館	43	45	45	51	61	52	48	34	48	45	43	25	540	518	104.2%
	運動場	1,029	1,026	1,431	1,029	1,282	1,221	1,124	923	1,099	892	1,078	619	12,783	11,144	114.7%
深溝小学校	体育館	13	19	37	44	25	22	17	18	12	14	16	24	261	323	80.8%
	運動場	143	229	909	1,076	703	652	443	494	324	386	432	616	6,407	8,488	75.5%
深溝小学校	体育館	36	36	42	28	18	29	23	15	34	29	36	16	342	403	84.9%
	運動場	637	657	2,866	510	383	593	484	297	901	572	791	338	9,029	7,073	127.7%
深溝小学校	体育館	0	7	15	14	19	20	15	23	19	17	18	19	186	193	96.4%
	運動場	0	287	615	574	839	810	505	806	639	572	673	634	6,954	5,837	119.1%
深溝小学校	体育館	27	38	38	31	44	37	40	24	39	29	34	36	417	422	98.8%
	運動場	667	835	995	649	893	911	827	575	712	645	745	625	9,079	9,434	96.2%
深溝小学校	体育館	1	1	13	10	10	11	7	9	11	10	9	12	104	122	85.2%
	運動場	101	101	563	469	362	501	589	384	371	450	293	422	4,606	5,652	81.5%

学 校 名	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	H24年度	前年対比
豊坂小学校	体育館	回数 32	43	42	32	38	43	46	28	36	40	38	34	452	462	97.8%
	人数	1,056	1,417	1,304	1,083	1,158	1,385	1,304	905	1,013	1,257	1,316	1,088	14,286	13,736	104.0%
	運動場	回数 6	13	15	12	14	16	16	16	16	13	13	18	165	170	97.1%
	人数	288	488	584	457	536	570	668	668	668	448	484	484	644	6,319	7,619
幸田中学校	体育館	回数 35	36	40	37	34	41	36	38	30	37	27	33	424	391	108.4%
	人数	596	538	672	573	511	625	628	606	495	509	396	578	6,727	6,231	108.0%
	運動場	回数 19	16	21	22	20	20	23	21	19	16	18	19	234	218	107.3%
	人数	734	688	799	935	866	850	811	777	744	494	628	674	9,000	9,405	95.7%
南部中学校	卓球場	回数 9	9	10	10	13	11	12	12	12	7	10	14	130	121	107.4%
	人数	269	279	340	296	313	346	362	357	353	187	310	444	3,856	3,939	97.9%
	運動場	回数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
北部中学校	体育館	回数 28	32	34	37	31	38	36	36	30	33	25	26	386	314	122.9%
	人数	457	497	567	589	487	658	574	656	641	491	387	429	6,433	5,741	112.1%
	運動場	回数 12	9	12	12	9	10	12	11	9	9	7	13	125	132	94.7%
	人数	203	159	202	185	139	170	197	154	118	136	89	184	1,936	2,754	70.3%
合計	卓球場	回数 4	3	5	3	6	13	10	9	10	9	6	12	90	48	187.5%
	人数	43	31	50	30	60	134	110	101	112	98	67	132	968	527	183.7%
	運動場	回数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
豊坂小学校	体育館	回数 29	32	34	30	28	30	28	30	26	25	25	27	344	316	108.9%
	人数	608	513	587	552	534	560	595	512	485	455	438	501	6,340	5,647	112.3%
	運動場	回数 10	10	14	12	10	12	13	12	12	9	9	14	137	210	65.2%
	人数	245	209	321	294	208	313	249	276	367	230	200	340	3,252	5,776	56.3%
北部中学校	卓球場	回数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0.0%
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	0.0%
	運動場	回数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	体育館	回数 294	343	362	332	312	344	338	249	306	308	299	252	3,739	3,666	102.0%
	人数	6,257	7,390	10,378	6,827	6,328	7,371	7,213	5,366	6,681	6,255	6,465	5,421	81,952	76,151	107.6%
	運動場	回数 41	35	47	46	39	42	48	44	44	34	34	46	496	560	88.6%
	人数	1,182	1,056	1,322	1,414	1,213	1,333	1,257	1,207	1,229	860	917	1,198	14,188	17,935	79.1%
総計	卓球場	回数 13	12	15	13	19	24	22	21	23	16	16	26	220	176	125.0%
	人数	312	310	390	326	373	480	472	458	465	285	377	576	4,824	4,547	106.1%
	運動場	回数 21	45	109	104	85	88	79	90	83	75	80	102	961	1,050	91.5%
	人数	613	1,320	3,940	3,705	3,367	3,357	3,156	3,201	2,800	2,683	2,746	3,365	34,253	38,188	89.7%
総計	回数 8,364	10,076	16,030	12,272	11,281	12,541	12,098	10,232	11,175	10,083	10,505	10,560	135,217	136,821	98.8%	

(注) 本表において屋外施設は、利用申請を集計したものです。屋内施設は、利用実績を集計したものです。

(1) 体育協会役員 (21名)

(平成26年度)

※任期 平成25年5月11日～ 2年間

職 名	所 属 等	氏 名	備 考
会 長	町長	大須賀 一 誠	
副 会 長	町議会議長	大 嶽 弘	
〃	教育長	小 野 伸 之	
〃	校長会代表	天 野 広 子	
理 事 長	幸卓会	羽 根 渕 悟	
副理事長	幸田町軟式野球連盟	星 野 末 夫	
〃	幸田町少林寺拳法協会	須 原 清 俊	
会 計	幸田町剣道スポーツ少年団	夏 目 守 雄	
常任理事	幸田町ソフトボール協会	小 山 忠 義	
〃	幸卓会	野 田 英 樹	
〃	幸田町バレーボール連盟	鳥 居 靖 久	
〃	幸田エイティ	足 立 恵 美	
〃	幸田バドミントン協会	川 口 佳 男	
〃	幸田町柔道会	志 賀 孝 吉	
〃	幸田ローンテニスクラブ	大 浦 裕	
〃	幸田町弓道連盟	越 山 和 紘	
〃	幸田町グラウンド・ゴルフ協会	河 田 敏 男	
〃	幸田 J r . F C	露 重 一 雄	
〃	幸田町組討道会	近 藤 真 吏	
監 事	幸田バドミントン協会	伊 藤 敏 彦	
〃	幸田ローンテニスクラブ	古 本 邦 博	

(2) スポーツ推進委員 (18名)

〔任期〕 平成26年 4月 1日～平成28年 3月31日

学 区	氏 名	経験年数	備 考
坂 崎	中 村 祐 治	14	
	金 子 忠 則	2	
	畔 柳 会 里 子	2	
幸 田	羽 根 渕 恵 子	14	
	清 水 圭 司	8	
	中 根 義 夫	0	
中 央	竹 下 清 孝	12	
	神 谷 昌 美	6	
	山 崎 多 恵 子	4	
荻 谷	岩 渕 初 子	18	
	平 岩 政 昭	14	
	浦 山 岩 夫	10	
深 溝	宇 都 聖 子	2	
	笹 野 英 一	0	
	蜂 谷 浩	0	
豊 坂	天 野 福 三	16	
	杉 浦 由 美	2	
	加 藤 利 明	0	

学区	地区名	正・副	氏名	学区代表	学区	地区名	正・副	氏名	学区代表
坂 崎	長嶺	正	藤江大輔	◎	荻 谷	荻	正	香村英志	
		副	吉野直仁				副	佐野直人	
	久保田	正	柴田晃弘			芦谷	正	高橋理一郎	
		副	山本秀徳				副	鈴木建宏	
	坂崎	正	鈴木嘉			幸田	正	今井勝利	◎
副		堀内泰志		副			山本天彦		
幸 田	大草	正	榊原進介			桜坂	正	鈴木賢	
		副	天野了輔				副	国弘直樹	
		副	平野健治			里	正	岩瀬幹生	
	高力	正	谷川明宏				副	伊藤嘉規	
		副	小野達弘		深 溝	市場	正	稲吉茂樹	◎
	鷺田	正	小笠原啓				副	清家京介	
		副	三浦雅鉄		海谷	正	野畑久良		
		副	鈴木紀彦			副	岩瀬逸行		
	新田	正	本多友和	◎	逆川	正	稲吉雄一		
		副	都築元弘			副	稲吉敏光		
副		早坂明德		豊 坂	野場	正	手嶋徳弘		
岩堀	正	山本秀幸	◎			副	牧野正晃		
	副	大坪裕明			永野	正	山本富雄		
	副	加藤信一				副	山本隆幸		
横落	正	馬崎政俊			須美	正	佐野修		
	副	池田裕史				副	杉浦貴行		
	副	清家貴弘			六栗	正	水野博司		
上六栗	正	大須賀俊樹	◎			副	新井哲也		
	桐山	正	長谷英樹			副	永井康之		
副		平井俊夫							

施 設 管 理

1 重点目標

ハッピネス・ヒル・幸田（町民会館、図書館、町民プール並びに屋外施設）は、幸田町の総合的な文化・体育の拠点空間として中心的役割を担っています。多くの人に利用いただけるよう質の高いサービスの提供、多様なニーズへの柔軟な対応、施設間の連携を持ちながら一体的な効率運営を図るため、平成18年度から指定管理者制度を導入しました。施設の適正な管理運営への評価及び今後の指定管理の在り方を念頭に指定管理者への検査・指導等を行っていきます。

また、公の施設として安全かつ利用しやすい施設を目指し、ハッピネス・ヒル・幸田の修繕工事を行います。

2 平成26年度事業計画

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| (1) 町民会館管理運営事業 | ・ 指定管理者指定管理料(181,000,000円) |
| (2) 図書館管理運営事業 | ・ 指定管理者指定管理料(78,000,000円) |
| (3) 町民プール管理運営事業 | ・ 指定管理者指定管理料(61,000,000円) |

3 ハッピーネス・ヒル・幸田 施設の概要

(1) 町民会館

施設概要

施設名称	幸田町民会館		地下1階	1,694.19㎡
所在地	幸田町大字大草字丸山60番地		地上1階	5,557.94㎡
電話	63-1111		地上2階	2,337.23㎡
FAX	63-5186		地上3階	330.92㎡
建築面積	6,096.59㎡		地上4階	72.62㎡
延床面積	9,992.92㎡		開館日	平成8年8月30日
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建			
設備概要	さくらホール	固定席1,004席、車椅子席6席、親子席6席		
	つばきホール	固定席400席、車椅子席4席、親子席6席		
	あじさいホール	345.8㎡	和室	28畳
	大会議室	105.4㎡	談話室	70.8㎡
	第一中会議室	53.8㎡	スタジオ	26.0㎡
	第二中会議室	36.4㎡	喫茶室	143.8㎡
	小会議室	37.0㎡	衣裳展示室	
	その他	管理事務室、エントランス、機械室 他		

利用概要

利用時間	午前9時～午後10時
休館日	毎週月曜日（ただし、国民の祝日にあたるときはその翌日） 特別清掃日、年末年始（12月28日～1月4日）
使用申込みの手順	
利用施設の空き状況を電話で確認してください。	
①利用申請…	直接会館で申請書の記入をしていただきます。
②利用申請の審査…	2～3日で申請の内容を審査いたします。
③利用許可書の発行…	お電話で許可の旨ご連絡いたします。
④使用料の納入…	許可書のお受け取り時にお支払いください。
⑤使用の打ち合わせ…	ホール利用の際は必ず打ち合わせを行います。
⑥諸官公署等への届出…	使用内容によって必要な場合があります。
⑦使用（当日）…	責任者が許可書を持って事務所にてご提示ください。

利用料金体系

ホール等施設の利用には、施設使用料（事前に支払う）と設備使用料（当日支払う）の合計額が必要となります。

① 施設使用料（抜粋）

（単位：円）

区分	午前		午後		夜間		全日		
時間区分	9:00～12:00		13:00～17:00		18:00～22:00		9:00～22:00		
利用区分	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	
ホール	さくら	13,000	16,600	17,500	22,000	20,800	25,500	46,200	27,700
	つばき	5,900	7,000	9,500	11,600	11,700	14,300	24,400	29,600
	あじさい	2,800	3,300	3,800	4,400	4,000	4,800	10,600	12,500
大会議室	1,400		1,800		2,100		4,800		
第1中会議室	800		1,000		1,200		2,700		
第2中会議室	500		700		800		1,800		
小会議室	400		600		700		1,500		
和室	800		1,000		1,200		2,700		

〔備考〕 営利宣伝での利用は1.5倍。1,001円～3,000円の入場は1.5倍。3,001円以上の入場は2倍とする。

② 設備使用料（抜粋）

（単位：円）

種類又は品目	単位	さくら	つばき	種類又は品目	単位	さくら	つばき
演台	1台	500	200	ピアノ	1台	5,000	3,000

〔備考〕 午前・午後・夜間それぞれの時間区分ごとの使用料とする。

(2) 図書館

施設概要

施設名称	幸田町立図書館	地下1階	537.38㎡
所在地	幸田町大字大草字丸山8番地	地上1階	1,369.71㎡
建築面積	1,591.88㎡	地上2階	1,063.58㎡
延床面積	2,970.67㎡		
電話	63-0001 (FAX)63-0654	開館日	平成8年1月5日
建築構造	鉄筋コンクリート造、地下1階地上2階建		
設備概要	地下1階	閉架書庫、図書整理作業室、公用車庫 他	
	地上1階	おはなしのへや、児童コーナー、視聴覚コーナー、レストルーム 休憩・雑誌コーナー、ブラウジングコーナー、ギャラリー 事務室、対面朗読室、和室閲覧室、コントロールカウンター 他	
	地上2階	ブラウジングコーナー、サテライトカウンター、一般閲覧室 特別閲覧室、学習閲覧室(ハイビジョンシアター)、会議室 他	
蔵書収容能力：17万冊(開架9万冊、閉架8万冊)			

利用概要

開館時間	午前9時～午後7時		
休館日	毎週月曜日(ただし、国民の祝日にあたるときはその翌日)		
	館内整理日(7、8、9、12月を除く月末平日)		
	特別整理期間(年間15日以内)、年末年始(12月28日～1月4日)		
貸出	個人	幸田町在住・在勤・在学者 岡崎市、蒲郡市、西尾市在住者 図書5冊、視聴覚資料2点以内、期間15日以内	
	団体	館長が認める各種団体：図書100冊以内、期間30日以内	
返却	閉館中の場合、本に限りブックポストの利用も可能		

(3) 町民プール

施設概要

施設名称	幸田町民プール	本体建物	3,064.91㎡
所在地	幸田町大字大草字丸山89番地	機械室	63.52㎡
建築面積	2,806.90㎡	屋外便所	16.74㎡
延床面積	3,328.29㎡	観覧所	40.98㎡
電話	56-8111(FAX)56-8112	売店	28.28㎡
建築構造	鉄骨造2階建(一部平屋建)	休憩所	58.43㎡
開館日	平成10年7月2日	駐輪場	55.44㎡
設備概要	事務管理棟1階	エントランスホール、事務室、更衣室、シャワー室 医務室、監視員室、清掃員室、障害者更衣室及び便所 ラウンジ、採暖室 他	
	事務管理棟2階	トレーニング室、会議室、機械室、便所、観覧所 他	
	屋内温水プール	25m競泳用プール(7コース)、キッズプール リラクゼーションプール 他	
	屋外プール	流水プール(125m)、造波プール、キッズプール ウォータースライダー2基(70m、30m) クジラスライダー1基、飲食販売所 他	
	その他	濾過器置場(3基)、駐車場(50台) 駐輪場(100台) 他	

利用概要

利用時間	日曜日：午前10時～午後6時 土曜日、祝日、夏休みの平日：午前10時～午後9時 平日（夏休み以外）：午後1時～午後9時 屋外プール：午後6時まで、トレーニング室：午前10時～					
利用期間	屋外プール開場期間は6月第4土曜日から9月第1（2）日曜日まで					
休館日	毎週月曜日（ただし、国民の祝日にあたるときはその翌日） 特別清掃日、年末年始（12月28日～1月4日）、夏休み期間中は無休					
使用料金	区 分			個人料金	団体料金	
	一般利用	大人（高校生又は義務教育終了以上の方）		500円	400円	
		小人	小学4年生以上（中学生を含む）		300円	200円
			小学3年生以下（幼児を含む）		200円	100円
	特別利用	高齢者（満65歳以上の方）		200円	100円	
障害者等		大人（高校生又は義務教育終了以上の方）		200円	100円	
		小人（中学生を含む）		100円	50円	

(4) 思索の森、センタープラザ及びその他の屋外施設

施設概要

ハツピネス・ヒル・幸田施設	敷地面積	84,424.3㎡
	玄関ロータリー	モニュメント「しあわせの希求」、タクシー乗り場他
	センタープラザ	屋外ステージ、センターサークル他
	思索の森	約4,120㎡（東屋、池、滝、橋他）
	芝生広場	上面約30m×60m、下面約30m×100m
	こどもひろば	ブランコ、滑り台、スプリング遊具他
	屋外トイレ	3箇所（身障者用2箇所）
	親水ゾーン	約1,220㎡（親水用岩場他）
	展望台	2箇所（図書館事務室横、会館事務室横）
	駐輪場	約200台（図書館、会館、プール）
	調整池	3箇所（雨水排水調整機能）
	駐車場	約650台（図書館、会館、プール、北駐車場他）
	その他	建物やエリアを結ぶカスケード、エントランスコート他

※詳しくは、ホームページでも、ご覧いただけます。

(5) その他

利用料金制度

これまでの施設の利用に伴う使用料などは、指定管理者制度の導入に伴い指定管理者の収入として収納事務等取扱いがされます。

（利用料金の主なもの：プール入場料、町民会館施設使用料、その他実費徴収金など）

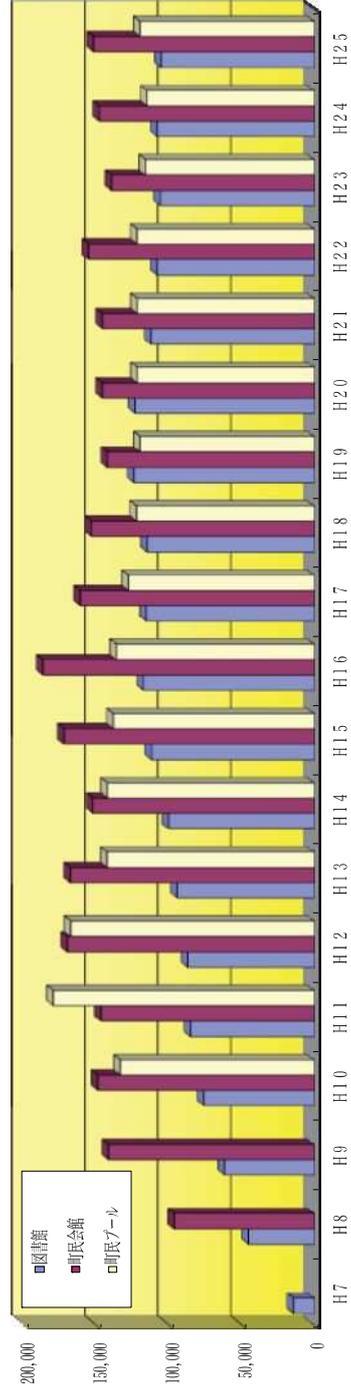
4 平成25年度までの実績

(1) ハッピーネス・ヒル・幸田全体

区分	平成25年度までの実績																									備考
	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度							
図書館	単年度(人)	14,541	45,418	61,933	75,990	85,073	87,112	94,296	100,102	111,820	117,440	114,837	123,929	123,198	112,141	108,065	105,702	108,090	105,322	貸出者数						
	累計(人)	14,541	59,959	121,892	197,882	282,955	370,067	464,363	554,465	644,567	736,387	820,617	905,454	989,210	1,074,047	1,158,188	1,241,890	1,324,980	1,408,070	1,491,390	貸出者数					
町民会館	単年度(人)		96,286	141,354	148,729	146,428	169,579	167,536	151,996	171,719	186,296	153,158	139,166	145,580	142,053	155,114	139,243	147,724	151,664							
	累計(人)		96,286	237,640	386,369	532,797	702,376	869,912	1,021,908	1,193,627	1,379,923	1,540,716	1,693,874	1,833,040	1,978,620	2,120,673	2,275,787	2,415,030	2,562,754	2,714,418						
町民プール	単年度(人)				133,309	179,197	167,215	142,353	142,101	138,133	135,986	127,707	122,153	124,993	121,767	119,752	121,862	116,110	114,949	119,805						
	累計(人)				133,309	312,506	479,721	622,074	764,175	902,308	1,038,294	1,166,001	1,288,154	1,413,047	1,534,814	1,654,566	1,776,428	1,892,538	2,007,487	2,127,292						
計	単年度(人)	14,541	141,704	203,287	358,028	410,698	423,906	404,185	394,199	421,672	439,722	390,148	397,988	390,545	373,946	385,041	361,055	370,763	376,791							
	累計(人)	14,541	156,245	359,532	717,560	1,128,258	1,552,164	1,956,349	2,350,548	2,772,220	3,211,942	3,615,327	4,006,075	4,394,063	4,784,608	5,158,554	5,543,595	5,904,650	6,275,413	6,652,204						
芝生広場等屋外利用者数	単年度(人)						3,705人	5,011人	4,409人	6,120人	6,591人	4,691人	5,100人	5,192人	5,194人	4,363人	4,081人	3,957人	5,074人							
夏まつり、産ままつり来場者数	単年度(人)						35,000人	53,000人	45,000人	38,000人	43,000人	60,000人	60,000人	60,000人	56,000人	55,000人	53,000人	50,800人	53,000人							
参考事項	(開館日)	図書館 H8.1.5~	町民会館 H8.8.30~		町民プール H10.7.2~																					
(種別記念日)	町民プール			007A H08.8.23	007A H10.8.2	007A H12.2.18	207A H06.6.18			1007A H08.10.3										2007A H02.2.16						
図書館				007A H06.4.11																						

※ 上段は、「各年度利用者数」、下段は、「累積利用者数」を表す。芝生広場等屋外利用者数はグラウンド・ゴルフ等の利用申請に基づく利用者数です。平成21年度は、産ままつり来場者のみの開催。

ハッピーネス・ヒル・幸田 3施設利用実績 グラフ



※なお、グラフには併設レストラン、センタープラザ、芝生広場の利用者数は含んでおりません。

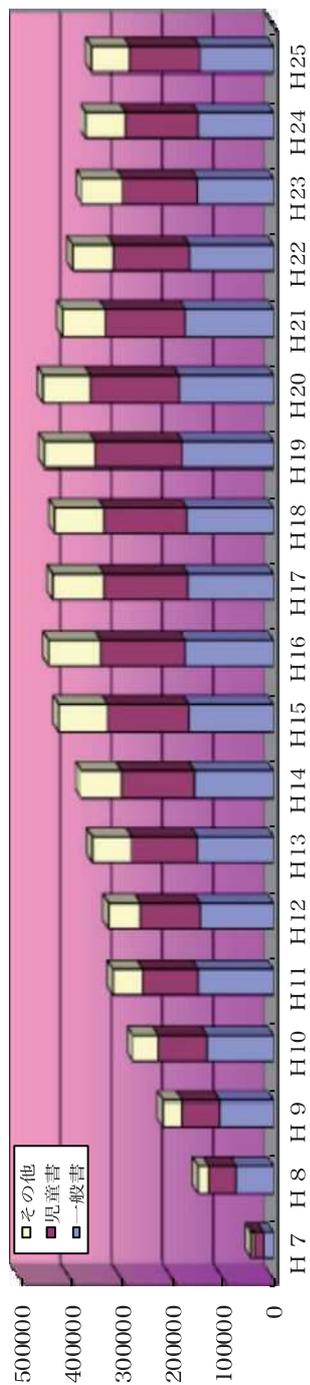
図書館 利用実績比較 グラフ

図書資料貸出冊数

種別\年度	H 7	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25
一般書	20,376	72,999	106,748	130,749	147,662	144,087	149,044	154,612	165,390	172,862	167,048	169,318	179,868	186,963	172,847	163,761	149,297	147,799	144,233
児童書	17,754	54,504	74,856	96,116	108,765	116,786	131,638	145,326	160,667	166,792	165,639	163,891	170,511	172,020	158,053	151,298	148,466	144,966	140,254
その他	5,788	20,171	35,825	50,669	59,387	63,184	74,327	78,713	95,628	101,419	100,631	96,848	99,021	93,043	83,715	80,487	79,252	74,775	72,174
貸出冊数	43,918	147,674	217,429	277,534	315,814	324,057	355,009	378,651	421,685	441,073	433,318	430,057	449,400	452,026	414,615	395,546	377,015	367,540	356,661

(単位：冊)

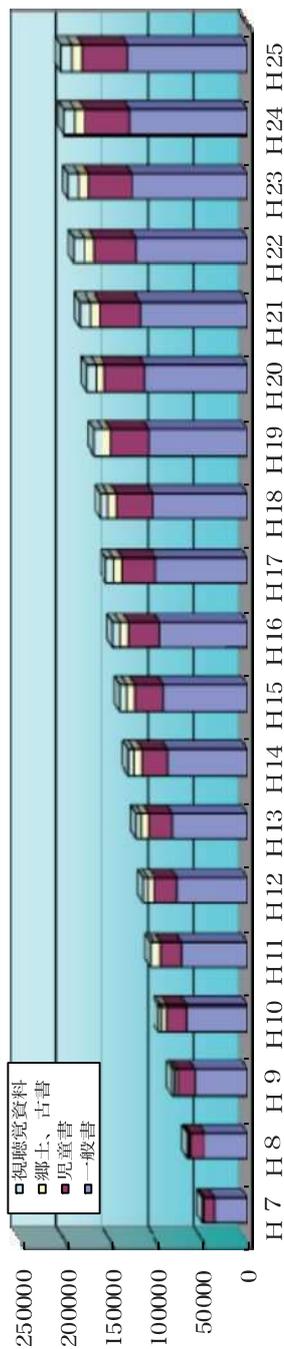
※その他：雑誌、視聴覚資料



図書資料蔵書冊数

種別\年度	H 7	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25
一般書	36,138	48,047	58,591	67,740	72,965	77,999	82,996	87,797	92,451	96,464	101,016	105,148	109,615	114,183	118,783	123,324	127,588	129,914	132,384
児童書	12,593	15,454	18,861	21,309	22,844	24,659	26,773	29,276	32,131	34,898	37,206	39,008	40,970	43,171	45,023	46,619	48,139	49,730	50,086
郷土、古書	835	1,254	2,638	5,465	7,884	8,039	8,134	8,262	8,771	9,130	9,284	9,497	9,519	9,893	9,919	10,160	10,468	10,713	10,823
視聴覚資料	1,274	1,967	2,789	3,489	4,115	4,851	5,389	6,280	7,068	7,788	8,466	9,079	9,682	10,234	10,841	11,063	11,306	11,529	11,819
蔵書総数	50,840	66,722	82,879	98,003	107,808	115,548	123,292	131,615	140,421	148,280	155,972	162,732	169,786	177,481	184,566	191,166	197,501	201,886	205,112

(単位：冊)

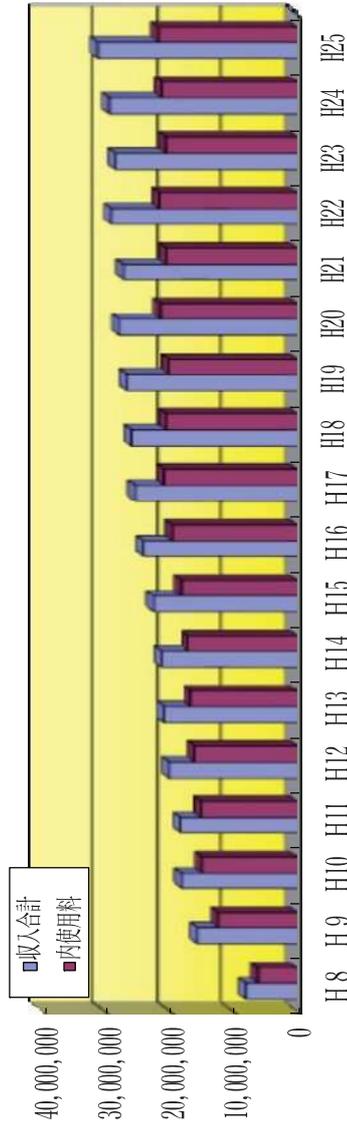


町民会館 利用実績 比較グラフ

収入合計及び使用料比較

年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
収入合計	8,035,394	15,484,921	18,219,558	18,374,177	20,104,358	20,864,620	21,303,530	22,490,506	24,079,603	25,329,607	25,904,374	26,652,544	27,782,564	27,116,383	28,963,821	28,369,747	29,284,286	31,077,858
内使用料	6,171,470	12,253,360	14,726,200	14,849,680	15,892,900	16,578,900	16,986,990	18,252,670	19,653,530	20,915,610	20,600,910	20,175,720	21,443,100	20,595,550	21,645,000	20,650,200	21,267,300	21,783,280

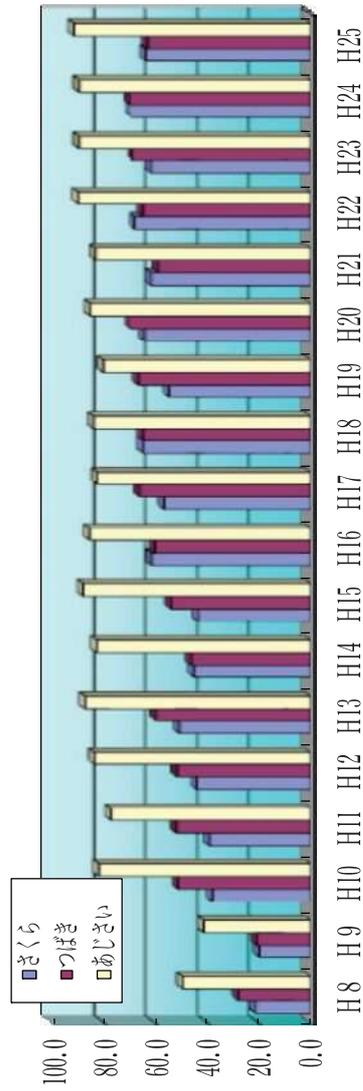
(単位：円)



各ホール稼働率

年度	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
さくら	21.0	19.6	38.2	39.3	44.1	50.7	45.2	43.6	61.2	56.4	64.4	54.6	63.8	61.3	67.8	61.3	69.4	63.4
つばき	28.4	20.3	51.0	51.8	51.6	59.5	46.2	53.8	59.9	65.7	64.4	66.1	69.7	58.7	64.5	68.5	70.1	62.7
あじさい	49.4	41.5	82.0	77.4	83.6	87.2	82.8	87.9	85.5	82.5	84.0	80.3	85.2	83.3	89.8	89.5	89.5	91.4

(単位：%)

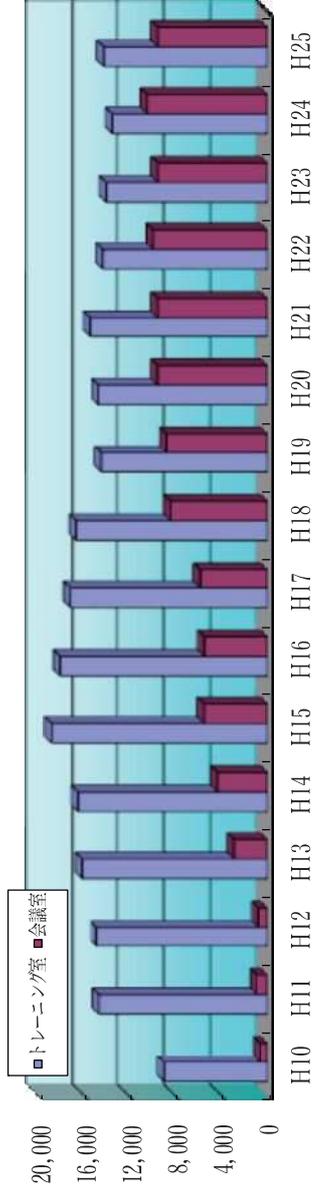


町民プール 利用実績 比較グラフ

トレーニング室、会議室利用者数

年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
トレーニング室	8,957	14,570	14,800	16,187	16,543	18,817	18,082	17,202	16,700	14,362	14,615	15,494	14,237	13,952	13,432	14,172
会議室	633	937	816	2,933	4,370	5,517	5,513	5,861	8,417	8,757	9,534	9,504	9,892	9,502	10,418	9,499

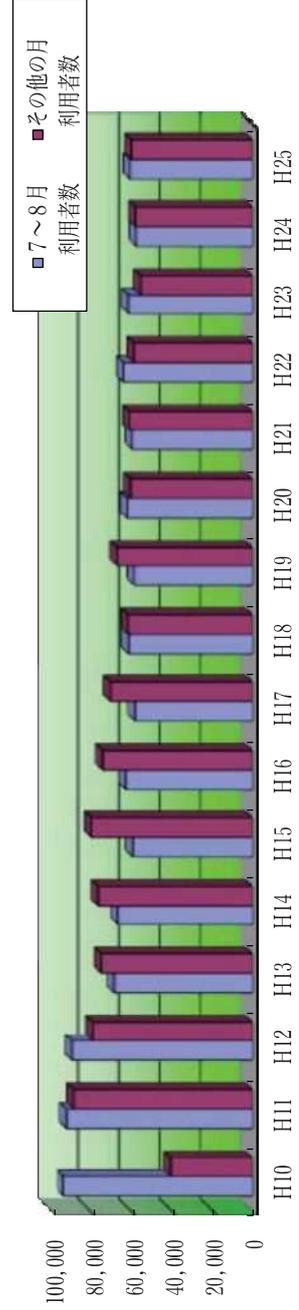
(単位：人)



シーズン別 (7～8月) 利用者数

区分\年度	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
7～8月 利用者数	92,940	91,417	88,726	67,991	66,260	58,948	62,305	57,895	60,922	58,231	61,729	59,238	63,445	61,033	57,241	60,232
その他の月 利用者数	40,369	87,780	78,489	74,362	75,841	79,185	73,681	69,812	61,231	66,662	60,088	60,514	58,417	55,077	57,708	59,573
年度計	133,309	179,197	167,215	142,353	142,101	138,133	135,986	127,707	122,153	124,893	121,767	119,752	121,862	116,110	114,949	119,805
プール入場料 総計 (円)	51,791,300	67,145,900	60,299,200	51,766,200	51,624,500	49,883,600	47,946,800	45,188,900	43,339,750	43,379,200	42,038,000	41,143,700	40,976,900	39,185,900	37,343,700	39,640,900

(単位：人)



(2) 町民会館

平成25年度 町民会館 利用実績表

(単位：人)

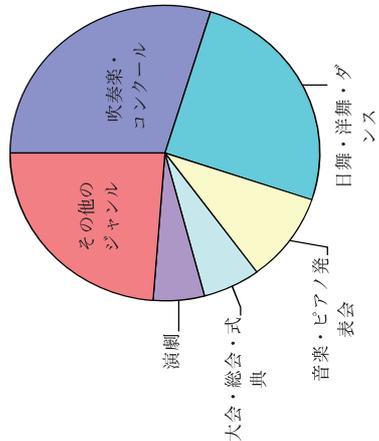
利用状況 開催日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	稼働日数	
	25日	27日	26日	26日	26日	27日	23日	27日	26日	23日	23日	24日	26日	303日	月	日
さくらホール	40回	14回	37回	45回	47回	34回	27回	33回	44回	40回	34回	55回	450回	37.5回	1.5回	192日
	6,110	1,874	7,000	3,514	4,875	7,325	6,130	5,814	6,608	4,407	5,022	8,984	67,663	5,638.6	223.3	63.4%
つばさホール	36回	25回	41回	30回	33回	34回	41回	47回	38回	25回	24回	44回	418回	34.8回	1.4回	190日
	3,029	1,532	3,505	2,991	1,331	2,403	3,432	4,729	2,664	1,705	1,780	3,803	33,024	2,752.0	109.0	62.7%
あじさいホール	56回	47回	59回	44回	68回	42回	66回	38回	50回	41回	48回	58回	637回	53.1回	2.1回	277日
	3,001	2,518	3,828	2,623	3,338	2,247	4,007	3,984	2,608	2,560	3,002	3,270	36,986	3,082.2	122.1	91.4%
リハーサル室	8回	12回	10回	17回	14回	11回	14回	14回	10回	14回	9回	7回	140回	11.7回	0.5回	117日
	126	165	142	221	174	78	146	150	122	115	117	87	1,643	136.9	5.4	38.6%
大会議室	44回	30回	31回	25回	40回	29回	29回	32回	27回	18回	26回	32回	363回	30.3回	1.2回	①稼働率= 稼働日数÷ 開催日数
	548	233	474	425	450	379	367	489	484	178	375	660	5,062	421.8	16.7	
第1中会議室	10回	11回	20回	18回	27回	13回	27回	24回	21回	17回	17回	21回	226回	18.8回	0.7回	②1日は3単 位として集 計。
	78	58	152	147	120	77	124	171	104	94	90	133	1,348	112.3	4.4	
第2中会議室	8回	9回	17回	17回	25回	20回	28回	28回	11回	8回	21回	23回	215回	17.9回	0.7回	
	61	55	93	106	82	75	92	129	50	58	93	97	991	82.6	3.3	
小会議室	19回	10回	21回	20回	37回	27回	34回	32回	21回	14回	19回	18回	272回	22.7回	0.9回	
	130	44	154	87	140	121	155	158	90	77	94	104	1,354	112.8	4.5	
和室	7回	2回	10回	7回	16回	13回	14回	19回	13回	9回	3回	15回	128回	10.7回	0.4回	
	90	15	80	60	67	100	75	198	65	115	5	131	1,001	83.4	3.3	
茶屋	24回	24回	22回	37回	59回	15回	21回	23回	39回	41回	30回	13回	348回	29.0回	1.1回	
	181	169	168	272	277	92	170	235	268	254	217	89	2,392	199.3	7.9	
単独利用	0回	0回	0回	0回	3回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	3回	0.3回	0.0回	
と印刷物は 単独利用	0	0	0	0	200	0	0	0	0	0	0	0	200	16.7	0.7	
(回数) 合計(人数)	252回 13,354	184回 6,723	268回 15,596	260回 10,446	369回 11,114	238回 12,897	301回 14,698	310回 16,057	274回 13,063	227回 9,563	231回 10,795	286回 17,358	3,200回 151,664	266.7回 12,638.7	10.6回 500.5	
実績比較	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均		
(回数) P24	230回 11,695	227回 9,004	238回 12,002	316回 10,671	345回 9,825	272回 11,044	325回 14,031	350回 16,247	218回 12,474	227回 13,503	225回 11,100	296回 16,128	3,269回 147,724	272.4回 12,310.3	10.8回 485.9	
(回数) 差	22回 1,659	-43回 -2,281	30回 3,594	-56回 -225	24回 1,289	-34回 -1,853	-24回 667	-40回 -190	56回 589	0回 -3,940	6回 -305	-10回 1,230	-69回 3,940	上段(利用回数) 328.3	14.6	
前年度 比較(%)	109.6% 114.2	81.1% 74.7	112.6% 129.9	82.3% 97.9	107.0% 113.1	87.5% 116.8	92.6% 104.8	88.6% 98.8	125.7% 104.7	100.0% 70.8	102.7% 97.3	96.6% 107.6	97.9% 102.7	-	-	

ジャンル別 利用実績表

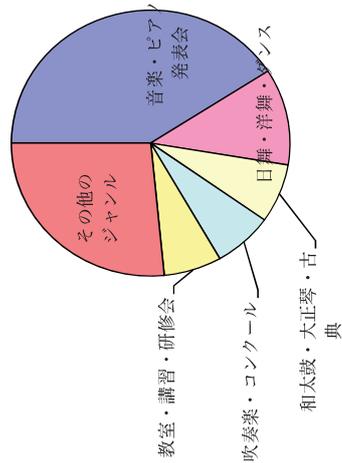
(単位：回数)

ジャンル	月 別												合計 (3ホール)	構成比 (%)	内 訳		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			さくら	つばき	あじさい
ジャンル	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	169	11.2	134	29	6
吹奏楽・コンクール	1	6	7	37	28	5	4	1	21	24	9	26	134	11.2	134	29	6
演劇	0	3	3	3	3	6	0	3	3	0	0	6	30	2.0	24	0	6
音楽・ピアノ発表会	19	18	19	18	31	27	26	18	31	12	33	36	288	19.1	44	171	73
日舞・洋舞・ダンス	52	8	14	15	16	17	13	12	17	14	14	30	222	14.8	114	49	59
大会・総会・式典	9	6	4	5	12	4	20	6	2	12	7	10	97	6.4	27	25	45
展示・即売会	6	2	23	9	12	2	7	16	6	6	5	13	107	7.1	0	0	107
会議・説明会	6	4	6	4	4	4	5	7	4	4	4	4	58	3.9	0	6	52
教室・講習・研修会	2	4	8	4	5	4	9	15	2	2	5	3	63	4.2	16	28	19
和太鼓・大正琴・古典	5	11	6	6	3	9	2	6	11	6	4	1	70	4.7	1	30	39
カラオケ発表会	6	7	12	2	0	7	4	19	0	0	0	0	57	3.8	0	27	30
バーティナー・懇親会	7	5	1	2	3	2	0	6	1	8	0	7	42	2.8	0	0	42
演歌・歌謡・コンサート	6	4	14	4	4	12	9	4	4	9	6	7	83	5.5	22	5	56
講演会	0	0	2	2	2	2	12	2	2	0	4	2	30	2.0	6	14	10
オペラ・声楽	2	0	0	1	0	1	1	3	6	1	0	2	17	1.1	11	2	4
映画	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	4	0.3	0	4	0
結婚式	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0
その他	11	8	17	7	25	7	20	20	22	8	13	10	168	11.2	51	28	89
合計	132	86	137	119	148	110	134	138	132	106	106	157	1,505	100.0	450	418	637

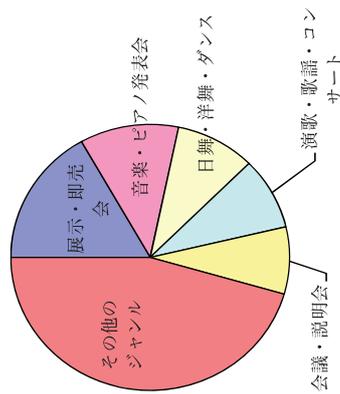
さくらホール



つばきホール



あじさいホール



(3) 図書館

蔵書構成

(単位：冊)

種 別	23年度末 蔵書数	24年度末 蔵書数	25年度末 蔵書数	25年度受入冊数			除籍	全資料 対比(%)
				購入	寄贈他	計		
0 総 記	4,277	4,282	4,332	155	3	158	108	2.1
1 哲 学	4,759	4,965	4,963	167	25	192	194	2.4
2 歴 史	12,002	11,115	11,353	409	8	417	179	5.5
3 社会科学	19,480	20,209	20,541	762	19	781	449	10.0
4 自然科学	10,200	10,628	10,705	410	5	415	338	5.2
5 技 術	12,513	12,825	12,922	524	8	532	435	6.3
6 産 業	5,434	5,621	5,530	202	2	204	295	2.7
7 芸 術	11,065	11,319	11,651	327	10	337	5	5.7
8 言 語	2,299	2,302	2,356	53	1	54	0	1.1
9 文学+小説	32,445	33,235	34,379	1,143	30	1,173	29	16.8
文 庫	13,114	13,413	13,652	225	27	252	13	6.7
一般書 計	127,588	129,914	132,384	4,377	138	4,515	2,045	64.5
0 総 記	662	681	634	39	0	39	86	0.3
1 哲 学	321	348	357	11	0	11	2	0.2
2 歴 史	2,205	2,249	2,277	124	2	126	98	1.1
3 社会科学	1,970	2,060	2,096	105	3	108	72	1.0
4 自然科学	4,347	4,486	4,458	128	2	130	158	2.2
5 技 術	1,443	1,522	1,534	66	6	72	60	0.7
6 産 業	818	857	884	42	3	45	18	0.4
7 芸 術	2,237	2,283	2,266	67	2	69	86	1.1
8 言 語	552	564	585	25	0	25	4	0.3
9 文 学	15,077	15,517	15,337	460	14	474	654	7.5
絵 本	17,055	17,687	18,157	755	23	778	308	8.9
紙 芝 居	1,452	1,476	1,501	26	0	26	1	0.7
児童書 計	48,139	49,730	50,086	1,848	55	1,903	1,547	24.4
点 字	176	213	231	0	18	18	0	0.1
郷土資料	4,312	4,520	4,612	9	85	94	2	2.2
古 書	5,980	5,980	5,980	0	0	0	0	2.9
図書合計	186,195	190,357	193,293	6,234	296	6,530	3,594	94.2
C D	6,000	6,229	6,434	246	0	246	41	3.1
C T	591	604	622	0	18	18	0	0.3
V T	1,730	1,449	1,276	0	0	0	173	0.6
L D	228	228	228	0	0	0	0	0.1
DVD	2,757	3,019	3,259	322	18	340	100	1.6
視聴覚合計	11,306	11,529	11,819	568	36	604	314	5.8
総 計	197,501	201,886	205,112	6,802	332	7,134	3,908	100.0

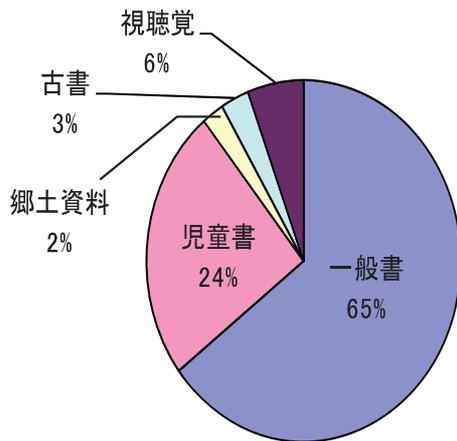
月別利用状況

貸出層数内訳グラフ

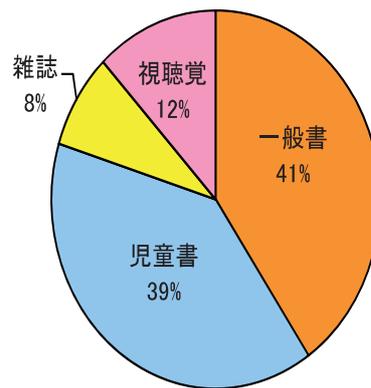
(単位：冊)

月	開館日数	貸出者数	貸 出 冊 数				
			合 計	一般書	児童書	雑誌	視聴覚
4	24	8,194	30,521	13,026	11,307	2,573	3,615
5	26	8,621	30,299	12,917	10,968	2,651	3,763
6	25	9,663	31,643	12,693	12,374	2,754	3,822
7	26	10,732	34,730	12,765	15,567	2,550	3,848
8	27	11,103	35,922	13,422	16,045	2,620	3,835
9	21	7,261	23,961	9,938	9,156	1,966	2,901
10	26	8,418	30,412	12,795	11,544	2,526	3,547
11	25	8,565	29,974	12,121	11,696	2,563	3,594
12	23	7,861	26,389	10,574	10,170	2,171	3,474
1	22	7,628	25,394	10,461	9,777	2,063	3,093
2	23	8,289	27,581	11,397	10,437	2,282	3,465
3	25	8,987	29,835	12,124	11,213	2,570	3,928
合計	293	105,322	356,661	144,233	140,254	29,289	42,885
1日平均		359	1,217	492	479	100	146

蔵書構成グラフ



貸出総数内訳グラフ



校区別利用状況

校区	年代	幼児	小中高生	一 般			合 計
		～6才	7～18才	19～40才	41～60才	61才～	
坂崎小	貸出者数	434	559	1,331	1,130	540	3,994
	〃 冊数	1,949	1,985	4,729	3,626	1,783	14,072
幸田小	貸出者数	2,163	3,590	5,416	3,935	2,801	17,905
	〃 冊数	9,276	12,231	19,608	11,739	7,204	60,058
中央小	貸出者数	1,141	3,272	4,072	4,184	2,943	15,612
	〃 冊数	5,101	11,010	14,128	12,145	8,119	50,503
荻谷小	貸出者数	546	1,263	1,874	2,135	1,188	7,006
	〃 冊数	2,515	4,715	6,223	6,056	3,646	23,155
深溝小	貸出者数	317	828	1,353	1,566	1,280	5,344
	〃 冊数	1,418	2,807	3,968	4,327	3,312	15,832
豊坂小	貸出者数	394	1,452	2,090	1,877	1,117	6,930
	〃 冊数	1,755	5,442	7,153	5,179	3,363	22,892
合 計	貸出者数	4,995	10,964	16,136	14,827	9,869	56,791
	〃 冊数	22,014	38,190	55,809	43,072	27,427	186,512

(4) 町民プール

平成25年度町民プール利用状況調査書

区分	月別利用者数												平均利用者数等			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	日平均	
一般	開館日数	25日	27日	26日	28日	31日	21日	27日	26日	23日	23日	24日	22日	303日	25日	—
	男	1,772	2,029	2,722	6,323	8,420	1,950	1,641	1,498	1,202	1,457	1,615	1,452	32,081	2,673	106
	女	1,141	1,326	1,471	3,533	5,172	1,092	1,253	1,176	763	1,114	1,140	903	20,084	1,674	66
計	2,913	3,355	4,193	9,856	13,592	3,042	2,894	2,817	2,261	2,366	2,555	2,355	52,165	4,347	172	
小 人 (小4年以上)	男	202	449	860	3,346	3,620	161	129	135	90	110	138	181	9,421	785	31
	女	271	535	886	3,043	3,483	198	119	142	89	144	160	111	9,181	765	30
	計	473	984	1,746	6,389	7,103	359	248	277	222	254	298	292	18,602	1,550	61
小 人 (小3年以下)	男	495	647	957	3,544	5,296	475	460	547	329	457	461	354	14,022	1,169	46
	女	987	1,279	1,813	7,214	10,724	905	871	1,061	629	905	922	743	28,053	2,338	93
	計	4,373	5,618	7,752	23,459	31,419	4,306	4,013	4,012	2,773	3,730	3,975	3,390	98,820	8,235	326
特別 使用	男	889	1,049	1,058	1,351	1,568	811	1,020	906	816	938	880	12,221	1,018	40	
	女	409	451	523	695	762	501	499	541	446	444	477	6,224	519	21	
	計	1,298	1,500	1,581	2,046	2,330	1,312	1,519	1,447	1,282	1,382	1,411	1,357	18,445	1,537	61
障害者等 (大人)	男	39	63	74	101	165	63	83	69	61	54	38	39	849	71	3
	女	53	60	99	128	147	76	69	58	50	72	68	78	940	78	3
	計	92	123	173	229	312	139	152	127	111	126	106	99	1,789	149	6
障害者等 (小人)	男	26	24	26	115	125	21	35	21	9	9	7	14	432	36	1
	女	4	6	22	67	71	16	13	3	5	0	4	1	212	18	1
	計	30	30	48	182	196	37	48	24	14	9	11	15	644	54	2
合 計	男	1,420	1,653	1,802	2,457	2,838	1,488	1,719	1,598	1,387	1,517	1,528	1,471	20,878	1,740	69
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団 体 使 用	男	3,420	4,246	5,596	14,906	19,377	3,436	3,319	3,143	2,478	3,036	3,194	2,976	69,127	5,761	228
	女	2,373	3,025	3,958	11,010	14,939	2,358	2,413	2,467	1,682	2,235	2,309	1,909	50,678	4,223	167
	計	5,793	7,271	9,554	25,916	34,316	5,794	5,732	5,610	4,160	5,271	5,503	4,885	119,805	9,984	395
日平均利用者数	232	269	367	926	1,107	276	212	212	216	181	229	229	395	—	—	

(トレーニング室利用状況) * プール利用者の内数である。

利用団体及び	月別利用者数												平均利用者数等			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	日平均	
トレーニング室利用	男	815	877	935	875	814	626	772	773	652	888	899	772	9,680	807	32
	女	386	402	411	445	313	287	379	355	305	445	423	341	4,492	374	15
	計	1,201	1,279	1,346	1,320	1,127	913	1,151	1,130	957	1,313	1,322	1,113	14,172	1,181	47
日平均利用者数	48	47	52	47	36	43	43	43	43	42	57	55	47	—	—	

利用団体及び	月別利用者数												平均利用者数等			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	日平均	
会議室利用状況	男	61	63	60	79	67	50	66	72	47	50	70	47	732	61.0	1回平均
	女	907	906	790	1,031	870	571	980	994	611	565	843	411	9,499	792	13.0
	計	968	969	850	1,110	937	621	1,046	1,066	678	615	813	458	10,231	853	14.0
日平均利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(5) 幸田町文化振興協会

平成25年度 幸田町文化振興協会 自主事業実施一覧表（抜粋）

	事業名	年月日	開演	会場	入場者(人)
町民 会館 自主 事業	音楽宅配事業	随 時	—	各小学校	
	演劇宅配事業	随 時	—	各小学校	
	あじさいコンサート 12回/年	月 1回	19:00～	あじさい	1,778
	ハピネス・ヒル ワンコインコンサート	年 6回	11:30～	つばき	1,785
	うたごえ喫茶 あじさい	月 1回	13:30～	あじさい	2,463
	ベストオブレ・フレールin幸田	5月26日(日)	15:00～	さくら	773
	幸田町第9回若い芽のコンサート	8月25日(日)	14:00～	つばき	218
	島津亜矢コンサート 2013	9月 7日(土)	13:30～ 17:30～	さくら	1,924
	第14回ハピネス・ヒル音楽祭	10月 6日(日)	13:00～	さくら	
	綾戸智恵New Year Concert2014	1月25日(土)	15:00～	さくら	898
合同発表会	2月 2日(日)	13:00～	さくら		
プ ー ル 自 主 事 業	ワンポイント指導	通 年	—	屋内プール	26
	親子水泳講座①	6月 9日(日)	10:30～	屋内プール	40
	25mプールタイム記録会	10月26日(土)	10:00～ 13:00～	屋内プール	52
	体力測定&トレーニングアドバイス	10月27日(日)	10:00～	会議室	20
	健康講座(全8回)	10月～11月	10:00～	会議室	176
	親子水泳講座②	1月19日(日)	10:30～	屋内プール	38
	ひめトレ&骨盤調整	2月 9日(日)	10:30～	会議室	23
アクアビクス無料体験会!	3月 9日(日)	13:00～	屋内プール	25	
図 書 館 自 主 事 業	おはなし会	通 年	—	おはなしのへや	2,014
	アウトリーチおはなし会	通 年	—	館外	288
	小学校図書館利用学習会 (町内小学校3年生)	通 年	—	学習閲覧室	432
	読み聞かせボランティア養成講座	6月、11月	10:30～	学習閲覧室	74
	「すらすら書ける読書感想文」教室	7月26日、27日	10:00～	学習閲覧室	36
	夏休み理科教室「備長炭で電池を作ろう！」	7月30日	10:00～	ギャラリー	24
	福祉ボランティア体験「点字絵本をつくろう！」	8月1日、2日	10:30～	会議室	16
	初級絵手紙教室	10月(4回)	9:30～	会議室	51
	図書館文学講座 「藤原定家と『百人一首』」	11月12、19日	10:00～	学習閲覧室	55
手作り工作教室「クリスマスリース作り」	12月 1日(日)	10:00～	学習閲覧室	18	

※ホームページに、過去事業一覧にて、お知らせしております。

5 指定管理者制度導入への経過

平成15年	9月	2日	地方自治法改正
平成16年	11月	2日	幸田町行財政事務改善委員会 指定管理者制度専門部会会議 第1回
平成17年	2月	3日	幸田町行財政事務改善委員会 指定管理者制度専門部会会議 第2回
	9月	30日	指定管理者関係条例制定及び一部改正
	10月	12日	「ハピネス・ヒル・幸田」関係施設指定管理者 候補者募集要項の送付
	10月	29日	応募者申請
	11月	16日	選定委員会
	11月	17日	応募者選定結果通知
	12月	14日	幸田町議会文教福祉委員会
	12月	26日	平成17年第4回幸田町議会定例会 債務負担行為、指定管理者の指定（議会議決） 指定通知
平成18年	2月	1日	指定管理者制度に基づく基本協定書締結
	3月	27日	予算確定（議会議決）
	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営開始
平成19年	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営2年目開始
平成20年	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営3年目開始
平成21年	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営4年目開始
平成22年	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営5年目開始
	10月	27日	応募者申請
	11月	22日	選定委員会、応募者選定結果通知
	12月	14日	幸田町議会文教福祉委員会
	12月	22日	幸田町議会定例会 債務負担行為、指定管理者の指定（議会議決）
	12月	27日	指定管理者指定通知
平成23年	3月	24日	予算確定（議会議決）
	3月	30日	指定管理者制度に基づく基本協定書締結
	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営開始
平成24年	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営2年目開始
平成25年	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営3年目開始
平成26年	4月	1日	年度協定書の締結 管理・運営4年目開始

幸田町子ども読書活動推進計画(概要)

平成22年3月策定

幸田町教育委員会

1 子ども読書活動の意義(抜粋)

平成13年12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第2条基本理念に「子ども(おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と掲げられています。

子どもは一日一日が成長の過程にあります。そのため、一人ひとりの発達段階にあった読書活動が自由にできるよう、環境の整備や機会を与えることが必要です。

2 基本目標及び重点項目

幸田町では、子どもの読書活動を具体的に推進していくため、以下の基本目標と重点項目を設けました。

基本目標1 家庭・地域・学校における子ども読書活動の推進

重点項目と取り組み

- ①家庭における読書活動の推進…ブックスタートの継続・充実
- ②町立図書館における読書活動の推進…おはなし会の企画
- ③ボランティア団体の協力による推進…出張読み聞かせの充実
- ④児童館・子育て支援センターにおける読書活動の推進…「児童館だより」に絵本を紹介
- ⑤学校・保育園・幼稚園における読書活動の推進…全校一斉の朝読書・貸出絵本の充実

基本目標2 子どもの読書環境の整備・充実

重点項目と取り組み

- ①児童館・子育て支援センターにおける読書環境の充実…図書資料の充実
- ②町立図書館のサービスの充実…子どもが読書を楽しめるようなスペースの整備.
- ③学校図書館の整備・充実…新しい図書を計画的に購入
- ④町立図書館・学校図書館間の連携等の推進…情報交換会の開催

基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

重点項目と取り組み

- ①「子ども読書の日」「子ども読書週間」「秋の読書週間」などにおける啓発事業の実施…啓発リーフレットの作成
- ②情報の収集・提供…「団体貸出制度」の周知
- ③優れた取り組みの奨励・優良な図書の普及…ブックリストの作成

3 計画の期間

平成22年度から概ね5年間

幸田町子どもの権利に関する条例(抜粋)

平成23年4月策定

幸 田 町

(前文抜粋)

子どもは、一人の人として、かけがえのない価値と尊厳をもって、この世に誕生しました。子どもたち一人ひとは、独立した人格を持ち、自らの力で未来を切りひらく主人公です。そのためには、生きる権利、こころと体が大切にされる権利、子どもの意見が尊重される権利、学ぶ権利、差別や貧困から救済される権利等の保障が欠かせません。子どもは、その権利が保障される環境の中で、豊かな子ども時代を過ごすことができるのです。そのためには、家庭や学校・地域・行政がしっかりと手を結び合い、子どもたちのよきサポーターでなければなりません。

子どもは、大人とともに幸田町を創っていく大切なパートナーです。

子どもにやさしいまちは、大人にとっても親しみ深いまちとなるはずです。子どもが夢を育てること、それは、そこに住むすべての人の希望になります。

私たちは、このようなまちづくりを目指し、幸田町が子どもの権利を尊重するまちであることを明らかにし、幸田町子どもの権利に関する条例を制定します

(条例抜粋)

第2章 子どもにとって大切な権利

(安心して生きる権利)

第5条 子どもには、安心して生きる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) 命が守られ、尊い存在として大切にされること。
- (2) 愛情と理解をもって育まれること。
- (3) 年齢や発達にふさわしい環境のもとで生活すること。
- (4) 平和で安全な環境のもとで生活すること。
- (5) 健康を保ち、適切な医療が受けられること。
- (6) 安心できる場所で眠れること。

(自分らしく生きる権利)

第6条 子どもには、自分らしく生きる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1) ありのままの自分が認められること。
- (2) 子どもというだけで、不当に扱われないこと。
- (3) 自分の気持ちや考えを大切にし、表現できること。
- (4) 自分のことを、年齢や発達に応じて自分で決めること。
- (5) こころの安らぐ居場所を持ち、自由な時間を過ごせること。

(学び育つ権利)

第7条 子どもには、学び育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1)必要な知識や情報が得られること。
- (2)教育を受けたり、自ら学んだりする機会が得られること。
- (3)文化、芸術及びスポーツを通じて豊かな人間性を育む経験が得られること。

(遊び育つ権利)

第8条 子どもには、遊び育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1)遊びが大切にされること。
- (2)遊びの場、時間及び仲間が得られること。

(ともに育つ権利)

第9条 子どもには、ともに育つ権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1)保護者とこころあたたまる時間を過ごすこと。
- (2)さまざまな世代の人々と触れ合うこと。
- (3)地域や社会の活動に参加すること。
- (4)異文化と交流し、対話すること。
- (5)自然に親しむこと。

(自分を守り、守られる権利)

第10条 子どもには、自分を守り、守られる権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1)本人の意思や行動が尊重され、見守られること。
- (2)プライバシーが守られること。
- (3)あらゆる差別を受けないこと。
- (4)いじめ、虐待、体罰その他あらゆるこころや体への暴力から守られること。
- (5)薬物濫用、性的搾取、誘拐その他あらゆる危害から守られること。
- (6)自分を守るための適切な情報が得られること。
- (7)困っていることや不安に思っていることを安心して相談できること。

(参加する権利)

第11条 子どもには、参加する権利があります。そのためには、次のことが保障されます。

- (1)参加に必要な情報が得られること。
- (2)参加の場で自分の気持ちや考えを表明することができ、尊重されること。
- (3)年齢や発達にふさわしい活動の機会が得られ、意思決定に参加すること。
- (4)仲間をつくり、集まり、自治的な活動を行うことができ、適切な支援を受けられること。

いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）抜粋

平成25年9月28日施行

（目的）

第一条 この法律は、いじめが、いじめを受けた児童等の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、児童等の尊厳を保持するため、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体等の責務を明らかにし、並びにいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針の策定について定めるとともに、いじめの防止等のための対策の基本となる事項を定めることにより、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする。

（いじめの禁止）

第四条 児童等は、いじめを行ってはならない。

（地方いじめ防止基本方針）

第十二条 地方公共団体は、いじめ防止基本方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体におけるいじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針（以下「地方いじめ防止基本方針」という。）を定めるよう努めるものとする。

（学校いじめ防止基本方針）

第十三条 学校は、いじめ防止基本方針又は地方いじめ防止基本方針を参酌し、その学校の実情に応じ、当該学校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定めるものとする。

（学校におけるいじめの防止等の対策のための組織）

第二十二条 学校は、当該学校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、当該学校の複数の教職員、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者その他の関係者により構成されるいじめの防止等の対策のための組織を置くものとする。